



アメリカ合衆国、ワシントンD.C.の国立美術館の厚意により掲載

「帰ってきた^{ほうとう}放蕩息子」 バルトロメ・エステバン・ムリーリョ画

自分の罪に気づいた放蕩息子は、へりくだった心で父親のもとに帰って言いました。「父よ、わたしは天に対しても、あなたにむかって、罪を犯しました。もうあなたのむすこと呼ばれる資格はありません。」(ルカ15:21) しかし、父親は彼を家

に迎え、喜んで言いました。「このむすこが死んでいたのに生き返り、いなくなっていたのに見つかったのだから。」(24節) 同じように、わたしたちが悔い改めるときに、天において喜びがあります。



メッセージ

- 4 大管長会メッセージ——
あなたがたの喜びは
いかに大きいことか
ヘンリー・B・アイリング管長
- 7 家庭訪問メッセージ——
万物の回復

特集

- 14 救助される者から救助する者へ
ベツツイ・ドーン
わたしの生活は痛みと依存症に
支配されていました。……ある人
からモルモンについて聞いたこと
があるかと尋ねられるまでは。
- 24 みたま御霊の声を聞き分け、
理解することを学ぶ
デビッド・M・マッコンキー
御霊が語るときに耳を傾ける方法

- 28 啓示——一滴ずつ
ある若い男性が啓示を受けること
によって、天にまで達する証^{あかし}を得
ることができました。
- 30 啓示——天から降り注ぐ
準備ができさえすれば、すぐに知
識が注がれます。
- 32 なくしたものをを見つけるたとえ
救助とは何でしょう。それは救^{ゆる}す
こと、手を差し伸べること、戻っ
て来る人を歓迎することです。

シリーズ

- 8 小さな、簡単なこと
- 11 キリストについて語る——
主の恵みは十分である
キンバリー・B・ギャレット
- 12 わたしたちが信じていること——
あがな贖いは悔い改めを可能にする

- 16 わたしたちの家庭、
わたしたちの家族——
子供に安心感を与える
ショーン・エバンズ
- 20 福音クラシック——
あまり教会に来ていない会員を
強める
ボイド・K・パッカー会長
- 38 末日聖徒の声
- 74 教会のニュース
- 79 家庭の夕べのためのアイデア
- 80 また会う日まで——
花婿の婚宴の席
メリッサ・メリル



表紙
表紙——
「失われた羊」
N・C・ワイエス、
コルビー大学芸術学部の
許可を得て複製。
裏表紙——
「失われた硬貨」
J・カーク・リチャーズ



42 ヤングアダルトと家庭の夕べ

数人のヤングアダルトに、家庭の夕べに出席することによってすぐに得られる祝福と、将来得られる祝福について語ってもらいました。

こんげつごうなか
今月号の中に
かく
隠れている
リアホナを
さが
しましょう。
ヒント——止まれ!



46 質疑応答

「わたしは教会でとても孤独だと感じています。どうしたら受け込めるでしょうか。」

48 わたしはこのようにして知りました
—— そのメッセージは
良い味がしました

アンソニー・X・ディアス

51 正直に^{じょうぶん} 什分の一を納め、
大きな祝福を得る

オスカル・アルフレード・ベナビデス
働いて伝道資金をためていました。でも、給料が少なく十分に蓄えられそうにありませんでした。

52 あなたの友人はあなたを
どこに連れて行くのでしょうか

ジョン・バイザウエイ

良い友人はわたしたちをイエス・キリストのもとへ連れて行ってくれます。

54 福音はすべての人のためのもの

カルロス・A・ゴドイ長老

御霊はだれの心にも触れることができます。教会員になる見込みがあるのはこんな人だという理想的な人物像などないのです。

57 ポスター——
永遠を映してみましよう

58 わたしがだれの目にも
映らなくなったとき

匿名

友達の助けが最も必要だったときに、皆から無視されました。



60 よく似た二人のしまい

アダム・C・オルソン

ペルーの二人のしまいは、いちばん大切な点が似ています。

62 あなたをかかえて行くわ!

トーマス・S・モンソン^{たいがんちやう} 大管長

重い^{おも} 病氣^{びやうき}でハイキング^{はい}に行けなくなったジェイミーに、友達^{とも}は何が^{なに}できるのでしょうか。

64 分かち^{わか}合い^あいの時間^{じかん}——

せいぶん^{せいぶん}は 天^{てん}のおん父^{おんちち}の

計画^{けいかく}について 教^{おし}えています

アナ・マリア・コバーン、

クリスティーナ・フランコ

66 わたしたちのページ

68 クモと しずかな^{ほそ} 細い^{こえ}声

ジョシュア・W・ホーキンス

目の前^{めまへ}の クモ^{くも}に 気づ^きいたとき、
ブリトン^{けいこく}は 警告^{ごうこ}の 声^{こえ}に感謝^{かんしゃ}しました。

70 小さな^{ちい} お友^{とも}たちへ



48

54

大管長会: トーマス・S・モンソン, ヘンリー・B・アイリング, ディーター・F・ウーグトル

十二使徒定員会: ボイド・K・パッカー, L・トム・ベリー, ラッセル・M・ネルソン, ダリン・H・オークス, M・ラッセル・バラード, リチャード・G・スコット, ロバート・D・ヘイルズ, ジェフリー・R・ホランド, デビッド・A・ベドナー, クエンティン・L・クック, D・トッド・クリストファーソン, ニール・L・アンダーセン

編集長: ボール・B・パイパー

顧問: スタンレー・G・エリス, クリストフェル・ゴールデン・ジュニア, 菊地良彦

実務運営ディレクター: デビッド・L・フリッシュニク

編集ディレクター: ピンセント・A・ボーン

グラフィックスディレクター: アラン・R・ロイボーク

編集主幹: R・バル・ジョンソン

編集主幹補佐: ジェニファー・L・グリーンウッド, アダム・C・オルソン

共同編集者: ライアン・カー

編集補佐: スーザン・バレット

編集スタッフ: デビッド・A・エドワーズ, マシュー・D・フリットン, ラリー・ポーター, ガント, ラリー・ヒラー, キャリー・カステン, ジェニファー・マティエ, メリッサ・メリル, マイケル・R・モリス, サリー・J・オデカーク, ジョシュア・J・パーキー, チャド・E・ファレス, ジャン・ピンボロー, リチャード・M・ロムニー, ジャネット・トーマス, ボール・バンデンバーク, ジュリー・ワテール

主任秘書: ローレル・トイスチャー

実務運営アートディレクター: J・スコット・クヌーセン

アートディレクター: スコット・バン・カンペン

制作主幹: ジェーン・アン・ピーターズ

主任デザイナー: C・キンボール・ポット, トーマス・S・チャイルド, コリン・ヒンクラー, エリック・P・ジョンソン, スコット・M・ムーイ

制作スタッフ: カリ・R・アロヨ, コレット・ネベカー・オーヌ, ハワード・G・ブラウン, ジュリー・バーデット, レジナルド・J・クリステンセン, キム・フェンスターマカー, キャスリーン・ハワード, デニス・カービー, キニー・J・ニルソン

製版: ジェフ・L・マーティン

印刷ディレクター: クレグ・K・セドウィック

配送ディレクター: エバン・ラーセン

日本語版翻訳課長: ヘンリー・W・サブストローム

●定期購読は、「リアホナ」注文用紙でお申し込みになるか、郵便振替(口座名/末日聖徒イエス・キリスト教会 振込口座番号/00100-6-41512)にて教会管理本部配送センターへご送金いただければ、直接郵送いたします。●「リアホナ」のお申し込み・配送についてのお問い合わせ……〒133-0057 東京都江戸川区西小岩5-8-6/末日聖徒イエス・キリスト教会 管理本部配送センター 電話: 03-5668-3391

発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会

〒106-0047 東京都港区南麻布5-10-30

電話 03-3440-2351

定価 年間予約/海外予約 1,000円 (送料共)

普通号/大会号 150円

「リアホナ」へのご投稿およびご質問は下記の連絡先にお送りください。

Rm. 2420, 50 E. North Temple St.,

Salt Lake City, UT 84150-0024, USA

電子メール: liahona@ldschurch.org

「リアホナ」は、www.liahona.lds.org に様々な言語で掲載されています。「リアホナ」(モルモン書)に出てくる言葉。「羅針盤」または「指示器」の意)は、以下の言語で出版されています。

アルバニア語, アルメニア語, ビスマラ語, ブルガリア語, カンボジア語, セブアノ語, 中国語, クロアチア語, チェコ語, デンマーク語, オランダ語, 英語, エストニア語, フィジー語, フィンランド語, フランス語, ドイツ語, ギリシャ語, ヒンディー語, ハンガリー語, アイスランド語, インドネシア語, イタリア語, 日本語, キリバス語, 韓国語, ラトビア語, リトアニア語, マダガスカル語, マーシャル語, モンゴル語, ノルウェー語, ポーランド語, ポルトガル語, ルーマニア語, ロシア語, サモア語, シンハラ語, スロベニア語, ス페인語, スウェーデン語, タガログ語, タヒチ語, タミル語, テルグ語, タイ語, トンガ語, ウクライナ語, ウルドゥー語, ベトナム語。(発行頻度は言語により異なります。)

©2011 Intellectual Reserve, Inc. 著作権所有。印刷: 日本

「リアホナ」に掲載されている文章や視覚資料は、教会や家庭において一時的に、また非営利目的に使用する場合は複製することができます。視覚資料に関しては、作品の著作権表示に制限が記されている場合に複製できないことがあります。著作権に関するご質問は、Intellectual Property Office, 50 E. North Temple St, Salt Lake City, UT 84150, USA に郵送するか、電子メール — cor-intellectualproperty@ldschurch.org にご連絡ください。

For Readers in the United States and Canada: March 2011 Vol. 35 No. 2. LIAHONA (USPS 311-480) English (ISSN 1080-9554) is published monthly by The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150. USA subscription price is \$10.00 per year; Canada, \$12.00 plus applicable taxes. Periodicals Postage Paid at Salt Lake City, Utah. Sixty days' notice required for change of address. Include address label from a recent issue; old and new address must be included. Send USA and Canadian subscriptions to Salt Lake Distribution Center at address below. Subscription help line: 1-800-537-5971. Credit card orders (Visa, MasterCard, American Express) may be taken by phone. (Canada Post Information: Publication Agreement #40017431) POSTMASTER: Send address changes to Salt Lake Distribution Center, Church Magazines, PO Box 26368, Salt Lake City, UT 84126-0368.

インターネットで得られる追加情報

Liahona.lds.org [英語]



成人

ベツツイ・ドーン姉妹は教会に入る前に薬物とアルコールに依存していました。現在彼女は、教会奉仕宣教師として、教会の「依存症立ち直りプログラム」の12のステップに従おうとしている人々を助けています(14ページ参照)。このプログラムのワークブックは多くの言語に翻訳され、www.recoveryworkbook.lds.org から入手できます。

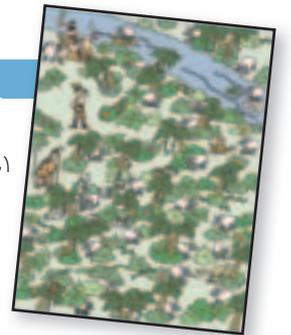
青少年



ホンジュラスの洞くつと滝が、聖霊を通して啓示を受けることについて教えています(28, 30ページ参照)。www.liahona.lds.org でホンジュラスの写真をもっと多く見ることができます。

こども

72ページで おうさまの ヒツジを かぞえてみましょう。それから、www.liahona.lds.orgで おなじような たのしい かつどうを してみましょう。



あなたの言語で

www.languages.lds.orgで、「リアホナ」や教会のその他の資料を多くの言語で入手できます。

今月号に採り上げられているテーマ

数字は記事の最初のページを表します。

活発化, 20, 32, 40	恵み, 11	祈り, 30, 38, 60
逆境, 16	聖霊, 24	扶助協会, 7
こども, 16	ホームティーチング, 40	悔い改め, 11, 12, 14, 48
改宗・改心, 14, 48, 54	イエス・キリスト, 11, 12,	啓示, 24, 28, 30, 40, 68
創造, 73	73	聖文研究, 64, 80
死, 58	指導力, 20	奉仕, 62, 70
家族, 16, 60	伝道活動, 4, 14	什分の一, 41, 51
家庭の夕べ, 42, 79	音楽, 8, 9	訪問教師, 7, 32, 38
親しい交わり, 46	従順, 24, 80	福祉, 10
赦し, 12, 39	親の務め, 16	知恵の言葉, 14
友情, 46, 52, 58	救いの計画, 64	

あなたがたの

喜びは

いかに大きいことか

大管長会第一顧問
ヘンリー・B・
アイリング管長



人が回復されたイエス・キリストの福音を受け入れるのを手伝ったのだという思いほど快く、永続する喜びは、人生においてほとんどありません。教会のすべての会員がそのような喜びを味わう機会を得ています。バプテスマを受けたとき、わたしたちは「神に贖われ、第一の復活にあずかる人々とともに数えられて永遠の命を得られるように、いつでも、どのようなことについても、どのような所においても、死に至るまでも神の証人になる」と約束しました（モーサヤ 18：9）。

教会にはイエス・キリストの福音を世に広める責任がゆだねられており、すべての会員はどこにようと生きているかぎりその責任の一部を引き受けます。このことについて、主ははっきりと次のように述べておられます。「見よ、わたしは、人々に証し警告するためにあなたがたを遣わした。警告を受けた人は皆、その隣人に警告しなければならない。」（教義と聖約 88：81）専任宣教師は、まだ教会員でない人を教える力を持ちます。そして教会員は、宣教師から学ぶように主が備えておられる人を見つける力を持ちます。

わたしたちは、主が教えを聞く人を自分の周りで備えておられるという信仰を働かせる必要があります。主はそれがだれであるか、いつ準備ができるかを御存じであり、聖霊の力によってわたしたちを彼らのもとに導き、福音を学ぶように勧める言葉をわたしたちに授けることができになります。主が1832年に一人の宣教師に与えられた約束は、宣教師から学ぶ準備のできた人を見つけるという責任を受けているわたしたちに対する約束でもあります。「わたしは彼に、真理と彼の行くべき道とを教える慰め主を遣わそう。そし

て、彼が忠実であれば、わたしはそれに応じて彼に数々の束を冠として与えよう。」（教義と聖約 79：2 - 3）

そして忠実な宣教師に約束されている大きな喜びを、わたしたちも伝道活動に心を向ける忠実な会員として得るのです。

「さて、あなたがたがわたしのもとに導いてわたしの父の王国に入れるようにした、一人の人とともに受けるあなたがたの喜びが大きいならば、もし多くの人をわたしのもとに導くとすればその喜びはいかに大きいことか。

見よ、わたしの福音はあなたがたの前にある。わたしの岩、またわたしの救いがある。

与えられると信じて、信仰をもって、わたしの名によって父に求めなさい。そうすれば、あなたがたは人の子らに必要なすべてのことを示す聖霊を受けるであろう。」（教義と聖約 18：16 - 18）

準備のできている人を知り、福音を学ぶように勧めるのを聖霊が助けてくださることに加えて、主はわたしたちを導く指導者を召し、訓練してくださっています。2002年2月28日付けの手紙で、大管長会は伝道活動に関してビショップとワードに以前よりも大きな責任を与えました。¹ ワードや支部の評議会の助けを受けて、神権役員会はユニットの伝道計画を立てます。計画には、宣教師から教えを聞く準備のできている人を会員がどのようにして見つけることができるかについての提案が盛り込まれます。また、ワードや支部の伝道主任として召されている人がいます。伝道主任



は専任宣教師および求道者と密接にかかわります。

宣教師から教えを聞く人を見つけるのを手伝うという、皆さん一人一人に与えられた義務をよりよく果たす方法はたくさんあります。方法は簡単なほどよいでしょう。

聖霊の導きを求めて祈ってください。地元の指導者や宣教師と話し、提案を求め、協力を約束してください。この業とともに携わる人々を励ましてください。そしてイエスがキリストであられ、神が祈りにこたえてくださることについて、言葉と行いによっていつでも証人でいてください。

導きを求めて祈り、働くとき、真理を求める人のもとに聖霊が皆さんを導いてくださることを証します。そしてわたしは経験を通して次のことを知っています。皆さんは、福音を受け入れることを選び信仰をもって堪え忍ぶ人たちとともに、いつまでも続く喜びを味わうことでしょう。■

注

1.「チャーチ・ニュース——ワードおよび支部伝道活動の強化」『リアホナ』2002年8月号、3参照

このメッセージから教える

- 『教師、その大いなる召し』では、学んだ原則を実践できるように生徒を助けるため、目標の設定を勧めるように教えられています（159ページ参照）。家族と一緒に、アイリング管長が述べている伝道活動の祝福を見つけ、促しを受けた場合には、福音を分かち合う目標を設定するよう勧めてください。
- 「方法は簡単なほどよいでしょう」というアイリング管長の助言を心に留めながら、福音を分かち合う方法について家族とブレンストーミングをするとよいでしょう。ブレンストーミングについて、詳しくは『教師、その大いなる召し』160ページを参照してください。

青少年

人生で出会った 大勢の宣教師たち

エリザベス・S・スタイルズ

宣教師と一緒に初めて日曜日に教会に出席したとき、一緒に育ってきた人たちや、近所の知り合いの顔が見えました。学校の親友の一人や、小学校と高校の事務職員の方たち、過去にわたしがあまり親切にしなかった女の子、そしてさらに、かつて思いを寄せていた若い男性までいました。

その一人一人から、わたしは後々まで続く影響を受けました。親友はとても高潔な若い女性で、教会について学び続けることにしたのは彼女がいたからです。学校の事務職員の方たちはわたしのことを覚えていてくれて、自分が大切な存在であることを教えてくれました。過去の親切とは言えない振る舞いにもかかわらずわたしを受け入れてくれた若い女性からは、神のような愛と慈愛について学びました。10代の初めに思いを寄せた相手はとてもすばらしい模範を示してくれたので、わたしはその光を認め、彼の近くにいたいと思いました。

これらの経験によって、わたしは次のことを悟りました。宣教師と出会う前から、天の御父はこの人たちをわたしの周りに置き、彼らを通してわたしに福音を受け入れる備えをさせてくださっていたのです。また、彼らから、わたしたちの行う小さなことが大きな影響を及ぼすことがあることを学びました。そして何より大切なことに、伝道活動は自分から始まることを学びました。



こども

ふくいん——分かち合うためのプレゼント

「ふくいん」とは、イエス・キリストと しゅの よげんしゃが わたしたちに あたえてくださった すべての 教えと ぎしきのことです。ふくいんは、天の お父さまからの プレゼントが いっぱい いった かごの ような もの です。あなたは これらの プレゼントを ほかの 人に あげる 手つだいが できます。ふくいんの プレゼントを、あなたは だれに あげることが できる でしょうか。

ふくいんの プレゼントの 絵に あった せいくを みつけましよう。それぞれの 絵に、それに 合う せいくの ばしょを 書いてください。

1. ヤコブの手紙 5 : 14 - 15
2. モーサヤ 16 : 6 - 7
3. 3 ニーファイ 18 : 1 - 10
4. 教義と聖約 20 : 72 - 73
5. 教義と聖約 33 : 16
6. 教義と聖約 89 : 4, 18 - 21
7. 教義と聖約 132 : 46
8. 教義と聖約 137 : 10
9. 教義と聖約 138 : 32 - 34



左端——絵／ステイナ・クロツフ。左——絵／テイリン・マーンシ



信仰・家族・扶助

万物の回復

この資料を学び、必要に応じて訪問先の姉妹と話し合ってください。質問を使うことによって、訪問先の姉妹を強め、あなた自身の生活の中で扶助協会を生かすようにしてください。

預言者ジョセフ・スミスは、教会にとって欠くことができないものとして扶助協会を組織しました。わたしたちは会長会として、なぜ扶助協会が自分の生活にとって欠くことができないものなのかを皆さんが理解するお手伝いのできればと願っています。

わたしたちは新約聖書の女性たちがイエス・キリストを信じる信仰を示し、主の業に携わったことを知っています。ルカによる福音書第10章39節には、「主の足もとにすわって、御言に聞き入っていた」マリヤについて語られています。ヨハネによる福音書第11章27節では、マルタがキリストについて証を述べています。「マルタはイエスに言った、『主よ、信じます。あなたがこの世にきたるべきキリスト、神の御子であると信じております。』」使徒行伝第9章36節、39節には、「タビタ……という女弟子」について語られています。「〔タビタは〕数々のよい働き……をしていた婦人であった。……やもめたちがみんな……そばに寄ってきて、〔タビタ〕が……つくった下着や上着の数々を……見せるのであった。」ローマ人への手紙第16章1節、2節で述べられているフィベは、「教会の執事」で「多くの人の援助者」でした。

このような信仰と証と奉仕の模範は末日の教会に受け継がれ、それを体現するものとして扶助協会が組織されました。中央扶助協会会長のジュリー・B・ベック姉妹は次のように教えています。「主は新約の時代のマリヤとマルタに御自分の業に携わるように呼びかけられました。同様に主は、この神権時代の女性たちにも、御業に携わるよう正式に呼びかけておられます。……1842年に扶助協会が組織されたことによって、女性たちは力を結集し、主の王国を築くために具体的な役割を担うようになりました。」¹

信仰と個人の義を増し加え、家族と家庭を強め、助けの必要な人を探し出して助けるという扶助協会の目的に専念するときに、わたしたちは自分たちの業を成し遂げるのです。

扶助協会が救いの業を助けるために神によって組織されたことを証します。扶助協会の一人一人の姉妹が、この神聖な業を成し遂げるために果たすべき、欠くことのできない役割を担っています。

中央扶助協会会長第一顧問
シルビア・H・オールレッド

何ができる でしょうか？

1. イエス・キリストの弟子としての信仰を示すために、担当の姉妹たちを今月どのような方法で助けますか。
2. 自分の証を強めるために、今月、回復された福音のどの教えを研究しますか。

詳しくは www.reliefsociety.lds.org [英語]をご覧ください。

わたしたちの歴史から

ジュリー・B・ベック姉妹は次のように教えています。「扶助協会が回復に欠かせない組織であったこと……が、預言者ジョセフ・スミスを通して明らかになっています。」² 回復の過程は1820年の最初の示現に始まり、「教えに教え、訓戒に訓戒」と続きました（教義と聖約98:12）。1842年3月17日に扶助協会が正式に組織されたとき、預言者は女性たちに、回復された教会において彼女たちが欠くことのできない立場にあることについて教え、次のように述べました。「女性たちがこのように組織されるまでは、教会は決して完全に組織されていませんでした。」³

注

1. ジュリー・B・ベック「扶助協会の目的を達成する」『リアホナ』2008年11月号、108
2. ジュリー・B・ベック「扶助協会の目的を達成する」108
3. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』451

聖文から——

ヨエル 2:28 - 29; ルカ 10:38 - 42;
エペソ 1:10



小さな、簡単なこと

「小さな、簡単なことによって大いなることが成し遂げられるのである。」
(アルマ 37:6)

世界各地の教会歴史

ブラジル

1913年、教会員になって5年が経過していたマックス・リヒャルト・ツアップ兄弟はドイツからブラジルに移民し、ブラジルにおける最初の教会員となりました。後に、ブラジルのある家族が教会の本部に資料を請求し、南アメリカ伝道部の会長がブラジルを訪問したのが1927年、宣教師を派遣したのが1928年でした。サンパウロに最初の伝道部が創設されたのは1935年であり、1939年までにはポルトガル語のモルモン書が発行されました。

南アメリカの最初の神殿は1978年にサンパウロに奉献されました。すべてのふさわしい男性に神権が授けられるという啓示のすぐ後のことでした。教会で2番目に大きい宣教師訓練センターがサンパウロで奉献されたのは、1997年です。

ブラジルは（合衆国とメキシコに次いで）3番目に会員数100万人に達した国です。

ブラジルの教会

会員数	1,102,428
伝道部数	27
ステーク数	230
ワード/支部数	1,884
儀式が行われている神殿数	7（すでに建設計画が発表されたあるいは建設中のブラジル・マナウス神殿およびブラジル・フォルタレザ神殿を含む）



歌う理由

賛美歌を歌うと教会の集会やわたしたちの家庭、日々の生活に御霊を招くことができます。J・ルーベン・クラーク・ジュニア管長（1871－1961年）はこのように教えました。「祈りを除けば、ほかのいかなる方法にも増して、音楽を通してわたしたちは主に近づくことができます。」¹

教会は賛美歌のウェブサイトを提供しています（英語、フランス語、ポルトガル語、スペイン語で利用ができます）。ウェブサイト Music.Ids.org には、指揮、鍵盤楽器での演奏、^{せいさん}聖餐会における賛美歌の選択についての指示も掲載されています。

このウェブサイトでは、楽譜と歌詞を見たり、ダウンロードしたり、

演奏したりすることができます。ピアノなどの鍵盤楽器を持っていない会員にとって、特に助けになります。

音楽は教会だけでなく家庭にも取り入れることができます。大管長会は次のように勧告しています。「子供たちに賛美歌を愛するように教えてください。安息日や家庭の夕べ、また聖文を学ぶときや祈りのときにも歌うようにしてください。そして、働くときにも、遊ぶときにも、家族で旅行をするときにも歌ってください。」² 賛美歌は家庭に愛と一致の精神をもたらしてくれます。

注

1. J・ルーベン・クラーク・ジュニア, Conference Report, 1936年10月, 111
2. 『賛美歌』10

賛美歌により強められる



わたしは南アフリカの西ケープ州で行われるマラソン大会に職場の同僚と出ることになりました。レースに向けて一生懸命トレーニングをしました。

マラソンの当日、目覚めてから聖文を読み、祈りました。緊張していましたが、主を信頼しなければと思いましたが、もし主を信頼すれば、主が支えてくださることを知っていました。

40キロ(25マイル)のコースを歩くか、走らなければなりません。午前8時にスタートしました。涼しく、少し雨が降っていました。それで最初は楽しみながら快調に歩きました。

でも、ゴールの10キロ手前で、わたしにとって過酷なレースになりました。片方の足の筋肉を痛め、水ぶくれも幾つかできていました。リタイアしたいと思いました。それからわたしは賛美歌を歌い始めました。

恐るな、われは汝が神
常に汝と共にあり
助け与え、強くして
わが正しき力をもて 汝れを支え、
励まさん

(「主のみ言葉は」『賛美歌』46番)

頭の中で賛美歌の歌詞が何度もこだまし、足が自然に上がり、ついにわ

たしは、主の賛美歌の力に支えられて完走したのです。

この経験がわたしに教えてくれたこと、それは、イエス・キリストの福音とは堪え忍ぶことだということです。マラソンで歩いたり走ったりするのに似ています。疲れたときには、休み、再び歩きます。天の御父はわたしたちが何回転んでも、お見捨てになりません。御父にとって大切なのは、わたしたちが何度立ち上がってまた歩き出すかということです。御父の福音は、最後までやり抜くことなのです。

ケティウェ・ラツォマ(南アフリカ)

教会指導者の言葉

貧しい人の世話をする



「主はいつの時代も、貧しい人をどれほど助けたかで社会や個人を計られました。主は言われました。

『地は満ちており、十分にあり余っているからである。まことに、わたしはすべてのものを備え、人の子らが自ら選択し行動する者となるようにした。』

それゆえ、わたしの造った豊かなものの中から取りながら、わたしの福音の律法に従って貧しい者や乏しい者に物を分け与えることをしない者は、悪人とともに、地獄で苦しみながら見上げるであろう。(教義と聖約 104 : 17 - 18。

教義と聖約 56 : 16 - 17 も参照)

さらに次のようにも言っておられます。『現世のものについて、あなたがたは平等でなければならない。しかもそれが不承不承であってはならない。そうでなければ、豊かな御霊の現れは与えられないであろう。』(教義と聖約 70 : 14。教義と聖約 49 : 20 ; 78 : 5 - 7 も参照)

わたしたちは自分の資産や所有物をどう扱うかを自分で決めますが、この世のものをどのように管理したかを神に報告します。断食献金や人道支援プロジェクトを通して惜しみなく援助する皆さんの



姿をとともうれしく思います。長年にわたる聖徒の皆さんの寛大な援助によって何百万という人の苦しみが和らぎ、そのほか数え切れないほどの人が自立できるようになりました。それでも、シオンの大義を求めらるのであれば、貧しい人、助けの必要な人のために自分が行うべきことを行い、主の求められることをすべて行っているかどうか、一人一人が祈りをもって検討する必要があります。』

十二使徒定員会 D・トッド・クリストファーソン長老
「シオンに来たれよ」『リアホナ』2008年11月号, 39

未日聖徒イエス・キリスト教会の人道支援プログラムは、食糧、浄水、視力支援、車いす、予防接種、緊急支援をすることを通じて、助けを必要としている人々の生活が向上するよう努力しています。最初は小さなものでしたが、長い年月を通じて、世界中の何百万もの人々を助けるほどの大きなプログラムになりました。

1920年代後半: 福祉農場が設立される。収穫物は倉庫に蓄えられる。



1932年: 缶詰工場の創設。

1936年: 中央教会福祉委員会が作られる。世界中の福祉活動を運営するために14の福祉地域が創設される。



1936年: 公式の職業センターが創設される。

1936 - 1940年: 生産事業が始まる。製材所、皮なめし工場、製麺工場、サーモン缶詰工場、ピーナツバター缶詰工場、石鹸工場、牛乳の瓶詰工場など。

1937年: 地域倉庫が初めてソルトレーク・シティに建設される。

1938年: 大穀物倉庫と中央倉庫を備えたウェルフェアスクウェアの建設が始まる。



1938年: 中古品を扱うデゼルト産業の第1号店がソルトレーク・シティで開店する。

1940年: ウェルフェアスクウェアの建設が完了する。



1945年: 第二次世界大戦後の困窮したヨーロッパの会員に向けて、大量の食糧、衣服、その他の物資を送る。

1960年: ウェルフェアスクウェアに缶詰工場と牛乳加工工場が新たに完成する。

1970年代: 教会の福祉事業と生産事業がメキシコ、イングランド、太平洋諸島まで拡張する。

1973年: LDS福祉活動部（現在のLDSファミリーサービス）が教会の法人として公式に創設される。

1976年: カナダと合州国各地に教会の倉庫を拡張し始める。缶詰工場と生産施設の拡張も発表される。

1982年: ロナルド・レーガン合衆国大統領がウェルフェアスクウェアを視察する。



1985年: アフリカで浄水井戸の提供を開始し、教会の全世界への人道支援活動の先駆けとなる。



1990年代: 末日聖徒人道支援センターが設立される。ここでは、貧困や災害に苦しむ世界の各地に送るために、余剰衣類や医薬品その他の仕分け作業を行う。

2002年: 末日聖徒慈善事業団が、車いす、浄水、新生児蘇生といった運動を展開する。

2003年: 末日聖徒慈善事業団が世界はしか撲滅運動に参加し、運動を支援するために毎年100万米ドルを寄付することを約束する。世界視力支援運動も始まる。



2010年: 末日聖徒慈善事業団が、世界の最も貧しい国々の食糧生産と栄養状態を改善する運動を開始する。ソルトレーク・シティで新しい60万平方フィート（5万6,000平方メートル）の中央ビショップの倉庫の搬入れ式が行われる。

主の恵みは**十分**である

キンバリー・B・ギャレット

多くの人のように、自分には価値があるという自覚を持つことが、わたしは長い間なかなかできませんでした。長年、体重を減らそうと苦心してきたので、劣等感を抱くようになっていたのです。今では体重も減り、健康的な生活を送っていますが、それでもなお時々、そうした消極的な思いや感情を振り払おうと努力している自分に気づくことがあります。

ある朝、わたしは特に気持ちが落ち込んで、状況を改善するにはどうしたらよいか考えていました。そこでお祈りを始め、このような劣等感を乗り越えられるよう天の御父に助けを求めました。祈っていると、次のような聖句が心に浮かんできました。「もしあなたがたに希望がなければ、あなたがたは必ず絶望を味わうであろう。絶望は罪悪のために生じる。」(モロナイ 10:22)

罪悪はあまりにも深刻な響きを持つ言葉に思えました。最初はそこまで深く考えなくてもよいと思いました。ひどく悪いことをした覚えは何もなかったからです。けれども、その考えは消えませんでした。そこで、モロナイも教えているように、強くなれるようにわたしの弱さを示してくださいよう天の御父に祈りました(エテル 12:27 参照)。

すると、それまでの2日間に子供たちに忍耐を示さなかった出来事を

3つ思い出しました。子供たちの必要よりも自分の必要や気分にかきまわされ、子供たちの気持ちを思いやるのができませんでした。すまないことをしたと思い、行動を改めよう^{ゆる}と決心しました。子供たちに謝り、赦しを祈り求めました。そう祈るや否や、劣等感



使徒パウロのように、「**キリストの力がわたしに宿るように**」悔い改めて戒めを守ることに**最善を尽くします**。

が薄らぎ、それまでにない平安な気持ちを感じることができました。

わたしの心の中にある光のスイッチが入ったかのように、なぜか長年見失っていた単純な考えをやっと理解することができました。自分の生活の中に未解決の罪があると、たとえ小さな罪であっても、わたしに影響力を及ぼす力をサタンに与えることになるのです。サタンはわたしの弱点を知っており、どのような言葉がわたしを「あおり立てて」、「滅びに導く」かを知っています(教義と聖約 10:22 参照)。実際には、わたしは自分を憎むことはしませんが、サタンはわたしを憎み、ありとあらゆる戦術を用いて光に背を向けさせようとするのです。

しかし、悔い改めると、イエス・キリストの力に頼ることができます。主は弱点を持つわたしを救う方法を完全に御存じだからです(アルマ 7:11-12 参照)。主の力はわたしを引き上げ、自分の力ではできない方法で強くしてくださるのです。

福音を**宣**べ伝えることに非常に勇敢であった使徒パウロでさえ、自分の弱さに苦しみ、その影響に悩みました。しかし、その弱さが取り除かれるように祈ると、主はこうおこたえになりました。「わたしの恵みはあなたに対して**十分**である。わたしの力は弱いところに**完全**にあらわれる。」パウロは声を大にして言いました。「それだから、キリストの力がわたしに宿るように、むしろ、喜んで自分の弱さを誇ろう。」(2 コリント 12:9)

わたしも「キリストの力がわたしに宿るように」悔い改めて戒めを守ることに最善を尽くします。そうすれば平安と愛に満たされるようになるのです。■

あがな

贖いは

悔い改めを可能にする

わ たしたちは成長し進歩するために地上にやって来ます。罪を犯すと進歩は遅くなります。完全な生活を送られたイエス・キリストを除き、地上で生活する人は皆、罪を犯します(伝道7:20;ローマ3:23;1ヨハネ1:8参照)。

罪を犯すとは神の戒めを破ることです。時々わたしたちは間違っていると知っていることを行って罪を犯します。また時には、正しいと知っていることを行わないで罪を犯すこともあります(ヤコブの手紙4:17参照)。

神が与えてくださった戒めはすべて、それに従うならば、わたしたちを祝福してくれます(教義と聖約130:20-21参照)。しかし、従わないなら、罰が伴います(アルマ42:22参照)。このように祝福や罰を与えることを、正義と呼んでいます。

天の御父はわたしたちを愛しておられるので、悔い改める機会を与えてくださいました。悔い改めとは罪を告白して捨て、それによって罪がもたらす影響を克服することです。御父はわたしたちの罪のために苦しむよう独り子イエス・キリストを送ってくださ

いました。つまり、イエスはわたしたちが神の戒めを破ったことに対して、正義の律法により求められる代価を支払ってくださったのです。救い主がわたしたちの罪のために苦しまれたおかげで、わたしたちは悔い改めるならば、罪に対する罰をすべて受ける必要はなくなるのです(教義と聖約19:16参照)。主の贖いは「正義の要求を満た」しながらも、天の御父が^{あわ}憐れみをもってわたしたちを^{ゆる}赦し、罰を差し控えることを可能にするのです(モーサヤ15:9)。

悔い改めは神がわたしたちに与えてくださった^{たまもの}賜物です。この世で幸福な生活を送るために不可欠なものです。悔い改めを通してわたしたちは再び清くなり、天の御父のもとへ帰ることができるようになるのです(モ一セ6:57参照)。

悔い改めの過程には以下の事柄が含まれます。

天の御父とイエス・キリストを信じる信仰を持つ(アルマ34:17参照)。



「自分の罪を悔い改めた者は^{ゆる}赦され、主なるわたしはもうそれを思い起こさない。

人が罪を悔い改めたかどうかは、これによって分かる。すなわち、見よ、彼はそれを告白し、そしてそれを捨てる。」(教義と聖約58:42-43)

自分の罪を認め、悲しむ(ルカ 16:15; アルマ 42:29 - 30 参照)。



自分の罪を天の御父に告白し、必要な場合、ビショップまたは支部会長に告白する(教義と聖約 61:2 参照)。



自分の罪を捨てる(教義と聖約 58:43 参照)。



可能な場合、罪を償う(エゼキエル 33:15 - 16 参照)。



自分に対して罪を犯した人を赦す(教義と聖約 64:9; 3 ニーファイ 13:14 - 15 参照)。



義にかなった生活をする(教義と聖約 1:32 参照)。

イエス・キリストはゲツセマネの園と十字架上で、わたしたちの罪の代価を払ってくださいました。その苦しみについてこう言われました。「その苦しみは、神であって、しかもすべての中で最も大いなる者であるわたし自身が、苦痛のためにおののき、あらゆる毛穴から血を流し、体と霊の両方に苦しみを受けたほどのものであった。」(教義と聖約 19:18)

さらに詳しくは、『福音の原則』「悔い改め」の章、107 - 113、および『真理を守る — 福音の参考資料』「イエス・キリストの贖い」の項、14 - 21; 「正義」の項、123; 「憐れみ」の項、8 - 9; 「悔い改め」の項、63 - 67; 「罪」の項、150 を参照。



救助される者から 救助する者へ

わたしの悩みを解決する方法があると主張する人に出会うまで、わたしの人生は悪くなる一方でした。

ベッツィ・ドーン

1978年のある日の夕方でした。わたしはアメリカ合衆国マサチューセッツ州ボストンのローガン空港で友人の到着を待っていました。すると、ある男性に話しかけられ、互いの生活について少し話しました。わたしは3か月前に中央アメリカへの旅行から戻って来たと言いました。

厳しい現実の生活から逃避していたのだと話したのです。9年前に兄が亡くなり、翌年には両親が自動車事故で亡くなりました。その日から1年後には祖母が他界しました。短い間に人生で最も大切な人たちを何人も亡くしてしまったのです。わたしは打ちひしがれてしまいました。

両親が亡くなって、多額の遺産を受け継ぎましたが、そのお金を悲しみから逃れるために使いました。高価な服や車、薬物、遠方への旅行などです。

つい最近の旅行では、グアテマラのティカルにあるピラミッドに登りました。そこではわたしの体は高い所

にありましたが、心はそれまでずっと陥っていた落胆のどん底にいるような感じがしました。もうそれ以上そんなふうにして生きていくことはできませんでした。わたしは神様に呼びかけました。「もし神様がおられるなら、神様、どうかわたしの人生を変えてください。」数分間その場に立ったまま、現実におられるかどうかよく分からない御方からの助けを静かに懇願しました。ピラミッドを下りたとき、平安を感じました。わたしの生活は何も変わりませんでした。なぜか物事はうまくいくと感じました。

そのようなことがあってから3か月後に、空港であの男性にこのいきさつをすべて話したのです。彼はわたしの話を辛抱強く聞いてくれてから、イエス・キリストがアメリカ大陸に現れたことを知っているかと尋ねました。

そのときわたしは神様について、まだあまり良い思いを抱いていませんでした。わたしの家族を取り去るなんて一体どういう神様なのでしょう。そ

の男性にそう言うと、彼はこう答えました。「わたしが信じている神様はあなたが家族と再び会える道を備えておられます。」まさにその時彼の言葉に引き付けられました。

「どういう意味ですか」とわたしは尋ねました。

「モルモンについて聞いたことがありますか」という質問が返ってきました。わたしはあまりよく知りませんでした。その人は続けて救いの計画を説明してくれました。すると、最初のうちは信じられないという気持ちでしたが、彼の話は真実ではないかと心に響くものがありました。

新たに知り合いとなったその人と電話番号を教え合い、その後数か月、数回会い、福音についても話しました。その人がくれたモルモン書やほかの聖典について電話で何時間も話し合いました。イエス・キリストの教会を回復したジョセフ・スミスについて話してくれました。希望と成長の驚くべき時を過ごしたのです。



わたしたちの連絡の頻度は少し減りましたが、数週間後、彼はわたしと話す友達を紹介したいと言いました。その友達とは、もちろん宣教師でした。専任宣教師の長老たちと一緒に、後にわたしの夫となったステーキ宣教師のブルース・ドーンが来ました。

宣教師は数週間、正式なレッスンをした後、バプテスマを受けたいと思いますかと尋ねました。わたしはもちろんと答えました。すると、バプテスマを受ける前に「知恵の言葉」を守る必要があると言われました。

そのときは以前ほどお酒を飲んだり薬物を乱用したりしていませんでした。わたしの生活は変わり始めていました。長いこと絶望していた以前の生活よりも希望が持てるようになりました。でも、そうした習慣を完全にやめることはとうてい不可能に思われました。それに、福音を生活に取り入れるために、すでに多くのことをあきらめていました。その中には、モルモン教会に関心を持つなんて気が狂ったのでは

ないかと考えた友人たちも入っていました。でもわたしは福音が真実だと感じていたので、友人たちの反対にもくじけませんでした。でも、長い間の習慣を完全に捨てることはできるでしょうか。

宣教師は助けとなるよう神権の祝福を申し出てくれました。祝福を受けるとすぐに、わたしはすべての薬物とアルコール飲料を捨てました。その晩、「知恵の言葉」に反するものを取りたいという願望は消え去りました。ほんとうに奇跡でした。

わたしは1978年6月にバプテスマを受けました。それから1年少したった後、ブルースとわたしはワシントン D.C. 神殿で結婚しました。

福音は文字どおり、わたしを絶望から救ってくれました。以前は、まさしく絶望の極みにあったのです。両親と兄と祖母が亡くなり、自分自身も死んでしまったかのように感じていました。家族の死後、もはや自分がだれであるか分からなくなっていたのです。でも

今、自分が何者であるか分かりました。自分は神の子であり、神はわたしを御存じで、愛してくださっていることを知りました。両親と祖母と兄に結び固められ、わたしの悲しみは喜びに変わりました。家族と永遠に一緒にいられるという確信を得たからです。

またイエス・キリストの福音はわたしを依存症から救ってくれました。この数年間、わたしたち夫婦は宣教師としてLDSファミリーサービスの依存症立ち直りプログラムを支援し、いろいろな種類の依存症に苦しみながらも克服しようと闘っているステーキの会員たちと一緒に働いてきました。こうした兄弟姉妹を助けることができることに感謝しています。わたしたちは皆、福音によって救われ得ることを理解できるように助けるために、自分の経験談を分かち合えることを祝福だと感じています。■

子供に 安心感 を与える

ショーン・エバンズ

LDS ファミリーサービス,
有資格臨床ソーシャルワーカー

わたしたちは、家庭の安心感を脅かす、離婚、病気、死、事故、天災、戦争、失業といった難しい問題を抱えた時代に生きています。しかし、このような混乱を引き起こす影響の中にあっても、子供が精神的に安定し、安心して平穏でいられるよう、親にはいろいろできることがあります。

子供の反応

子供が深く傷つくような状況に対処できるよう助けるには、まず、子供がそのようなことにどう反応するか理解しなければなりません。子供の反応の仕方は、家族がどれだけ安定しているかということや、子供の年齢と情緒の成熟度に左右されます。

誕生から6歳まで

不安を感じる時、乳児はむずかる、泣く、抱っこされたがるという方法で不快感を表します。多くの場合、赤ん坊は親に抱っこしてもらったり、おっぱいをもらうだけで満足します。幼児は赤ん坊より成熟しています。しかし、慣れ親しんだ日課が乱れると、6歳児はどうしたらよいか分からなくなってしまいます。例えば、天災や離婚で親と引き離されると子供は非常



子供が
深く傷つくような体験に
どのように反応するか
理解することで、
親は子供が困難な時期を
乗り越えられるよう
助けることができます。

に強い不安を感じる場合があります。離婚後数か月も同じです。そのような状況の幼児を助けるには、普段の日課をできるだけ続けさせることが大切になります。家族の祈り、家族の食事など、状況の変わる前の日課を続けることです。このように継続することが、子供に安心感を与え、自信と安定をもたらすのです。

7歳から10歳

引っ越しや親の死などによって物や人を永久的に失うと、年長の子供はそれを理解することができます。その結果、そのことで頭がいっぱいになってしまうことがあります。彼らのそれまでの人生感が大きな衝撃を受けます。問題の対処法を理解しようとして、その衝撃的な出来事を何度も繰り返し話すことがあるかもしれません。経験したことの意味を理解したり、気持ちを表現したりするのに助けが必要になるかもしれません。覚えておいてほしいのは、彼らの推論能力がまだ大人の域には達していないということです。例えば親の離婚を自分のせいだと思ってしまうのは珍しいことではありません。親は、子供が何を考え、感じているかを知り、誤った思い込みを正してやることで子供

「ぼくの生活はずいぶん変わりました。変わらなかったのは、家族の聖文学習と祈りです。聖文が大好きなので、自分でも毎日読むようにしています。聖文を読むときに感じる平安が好きです。」

マイケル・H、両親が離婚し、後に母親が再婚。

を助けることができます。

11歳から18歳

11歳から18歳の子供は、住んでいる地域や国あるいは外国で起きている出来事に興味を持つことがあります。10代後半の子供は、家族と一緒にの生活から、荒れ狂う世の中に独りで立ち向かわなければならぬ時期が近づいていることに気づき始めます。激しい感情に圧倒されたり、それについてどう話したらよいか分からなかったりするかもしれません。

親は、夕食作り、ボードゲーム、スポーツなど、子供の好きな活動を一緒にすることで思春期の子供を助けることができます。また、自分が思春期のときに経験した難しい問題などについて話すのもよいでしょう。親が考えや気持ちを分かち合うことで、子供も自分の考えや気持ちを話しやすくなります。そうすることで感情的な親密度が増します。思春期の子供は大して興味を示さないように見えるかもしれませんが、耳を傾けているものなのです。

親ができること

親はまず、子供が悩んでいるという事実を認識することが大切です。¹ 悲しみやいらだちが長く続く、食欲がない、過食、不眠、集中力の欠如、学業不振など、普段と違う行動が見られるかもしれません。年上の子供は、無謀な行為、薬物の濫用、性行為に走る、家族や友人や社交を避けるなど、リスクの高い行動を取る恐れもあります。

子供一人一人をどのように養い育てるべきか知ることにより、助けることができます。例を挙げると、特に小さいときに、自分の感情を表す言葉を子供に教えるとよいでしょう。例えば、悲しい、怒っている、いらいらする、怖い、心配だ、緊張するなどといった言葉です。



写真：アダム・C・オルソン

「天のお父様は目には見えないけど信頼することができますと、母が聖文から教えてくれました。地震の後、母が見つからなかったときも、神が導いてくださると知っていました。そのとおりになりました。妹は死んでしまったけれども、また会えると知っています。」

アニー・A、2007年にペルーで起きたマグニチュード8の地震の数か月後。



「大人が人生の嫌なことについて話してくれるのは、わたしに警告し、わたしが物事を理解できるようにするためだということは分かっています。でも、世の中や大人の生活の良いことについても話してもらえたら助かると思います。人生には良いこともたくさんあると思いで出させてくれますから。」

エリカ・M, この1年半に5人の家族と友人を亡くした。

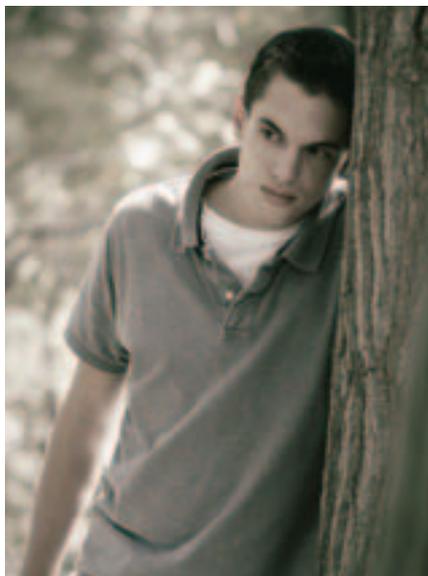


傷ついた体験をした後に無謀な行動を始めた10代の子供に対しては、子供の言葉に注意深く耳を傾け、よく観察して感情を推し量るようにしましょう。幼い子供と同様、自分の感情を正しく認識できるように10代の子供を助けてください。そして、深く傷ついた体験が無謀な行動の引き金になっている可能性を認識したうえで、理解を示しましょう。

子供とこのような会話を始めるときに極力避けなければならないのは、説教する、怒る、批判する、そして皮肉を言うことです。子供の心にどんな傷や痛みがあるのかを見極め、思いやりを示してください。次のように言って話を始めるとよいでしょう。「友達が亡くなって、あなたが悲しいのは分かるわ。どれほどつらいか、想像することしかできないけれども、その苦しみをアルコールで紛らわそうとしていることが心配なの。」とげとげしい態度で会話を始めても良い結果は得られません。

思いやりをもって耳を傾ける

動揺している子供と話すのを避けたいことがあるかもしれませんが。しかし、多くの場合、助けがなければ、子供は不穏な気持ちと向き合う



「父は家族と一緒に過ごす時間を作ってくれます。一緒に奉仕することが家族の時間になるときがよくあります。人生全般について時間を割いて話してくれます。話していると、心に平安を感じます。」

ライアン・P, 父親が1年近く失業していた。

ことができません。子供が心にかかっていることを話す間、思いやりをもって耳を傾ければ、子供は愛されていると感じ、安心するでしょう。

思いやりをもって耳を傾ける良い方法は、子供の気持ちを親が自分の言葉で言い直すことによって、正しく理解しているかどうか確認することです。子供が自分の気持ちを認識できるよう助ける必要があるかもしれません。次のように言うといいでしょう。「あの子の両親は離婚したけれど、あの子のことをあなたに尋ねると、あなたは悲しそうだし、緊張するよう見えるね。」ここで答えを待ちましょう。それから子供に会話を続けさせてください。自分が会話の主導権を握っていると感じれば、子供は話しやすいものです。

感情を処理できるよう子供を助ける

子供が不快な感情を処理できるよう助けることにより、子供は自分自身をコントロールできているという感覚を強めることができます。思いやりをもって耳を傾けているうちに、こうした不快な感情の原因が何なのか親も子も分かるようになることがよくあります。こう質問したらどうでしょうか。「そんなふうを感じるのはなぜだと思

「世の中には怖い人や悪い人がいます。でも、父はわたしの気持ちを楽ししてくれます。日中も電話をしてくれ、愛していると言ってくれます。」

アリー・V、父親は警察官。



う？」答えを待ち、それから注意深く耳を傾けましょう。すぐには答えないかもしれません。

時には、意見を出し合い、いろいろな解決策を探す必要があるかもしれません。子供が考えている解決策がかかわりのある人々にどのような影響を与えるか尋ねてみることもよいでしょう。その解決策が家族や友人を尊重するものかどうか尋ねてみてください。現実的な解決策でしょうか。それを実行に移したら、子供自身はどう感じるでしょうか。子供は解決策をすぐには選べないかもしれません。あなたが愛していることと、すぐに決められなくても大丈夫だと伝え、子供を安心させてください。

信仰をもって対応する

親が子供の異常な行動パターンを見つけ、子供が自分の考えや感情を言葉にすることで理解できるように愛ある環境の中で助けるとき、子供は安心感を覚えます。

家庭でこの安心感を養うために最も大切なのは、イエス・キリストの福音の原則を基とすることです。断食、祈り、聖文の探求、神殿参入によって、どのように子供を助けたらよいか靈感を求めることができます。神権指導者に話すこともできます。また、問題の深刻さによっては専門家の助けを借りることも考慮するとよいでしょう。

天の御父と御子を信じる信仰をもって行動するとき、祝福として慰めと助けを受けることができます。親と子が預言者の言葉を守って生活し、家族と個人の祈り、聖文学習、神殿参入など、家庭に平安をもたらす習慣を続けるとき、子供はよりいっそう安心感を覚え、精神的に安定するのです。■

注

1. ジョン・ゴットマン、ジョーン・デクレア共著、*The Heart of Parenting: Raising an Emotionally Intelligent Child* (1997年) 参照



平安の基^{もとい}

「試練の多い、混乱の時代に育つ子供たちの生活に平安をもたらすにはどうしたらよいでしょうか。……そのための最良かつ最も重要な手段は、忠実で献身的な両親と協力的なきょうだいたちが互いに愛し合い、神から受け継いだ徳質を教え合う家庭の中にあるのです。」

十二使徒定員会 M・ラッセル・バラード長老、
“Great Shall Be the Peace of Thy Children”
Ensign, 1994年4月号, 60

あまり教会に来ていない 会員を強める

ワードやステークの
指導者であるわたしたちは皆、
迷い出た羊に門戸を開き、
彼らが中に入れるように、
わきによけなければなりません。

十二使徒定員会会長
ポイド・K・パッカー会長



と書いていいほど、ステーク会長会、高等評議員、ビショップリック、祝福師、補助組織の指導者といった活発な会員に割り当てられているのが現状です。実際、霊的に飢えた人たちに機会を与えず、わざわざよそから話者や参加者を招くことさえあります。

最近訪問したワードの聖餐会で、一人の姉妹が歌を歌うよう依頼されていました。彼女の夫は熱心な会員ではなかったのですが、その日は集会に出席していました。ビショップはせっかくの機会なのでほんとうにすばらしいプログラムにしたいと思いました。ビショップは始めに「開会の祈りは、ビショップリック第一顧問の〇〇兄弟です」と発表し、第二顧問が閉会の祈りをしました。

何と残念なことだ、とわたしは思いました。ビショップリックの3人の兄弟は、霊的に病んでいる人々のことを非常に心配していたにもかかわらず、教会活動に参加する機会という彼らを癒す薬を奪い、その目の前で飲んでしまったのですから！

中にはこう言う人たちもいるでしょう。「弱い人たちには注意深く接すべきです。祈りや証をお願いするのはやめた方がいいです。怖がって嫌になり、教会に来なくなってしまいますからです。」これは根拠のない話です！通説になってはいますが、根拠のないことに変わりはありません！そのような説が正しいと証明できる事例が個人的な経験の中で

.....

教 会に活発に参加すること、すなわち奉仕し、証する機会を持つというのは薬のようなものです。霊的に病んでいる人を癒します。霊的に弱い人を強めます。それは迷い出た羊の救いに欠かすことのできない要素です。しかし、そのような霊的な成長の機会、ともすればすでに過剰なほど参加の機会を与えられた人たちにだけ提供される傾向があり、それはまるでシステム化されていると思えるほどです。ステークやワードでよく見られるこのような傾向が、迷い出た羊が囲いに戻れない原因になっているかもしれません。

ホームティーチャーが迷い出た羊を集会に連れて来るとき、それは羊が見つげ出される過程の第一段階にすぎません。この迷い出た羊が霊的に強められるには、彼らにどんな所で奉仕してもらったらよいでしょうか。実際のところ、ふさわしくなろうと努力している人が奉仕できる場所はあまり多くはありません。残念なことに、祈る、簡単に意見を述べる、証をするなど、彼らにもできる数少ない機会が、必ず



あったかどうか、数百人のピシヨップに尋ねました。あったという答えはほとんどありませんでした。尋ねた中でわずか1、2例でした。ですからリスクは非常に低い一方、参加するよう招くことで迷い出た羊が囲いに戻ることになるかもしれないのです。

数年前、わたしは飛び抜けて有能なステーキ会長が管理するステーキを訪問しました。ステーキ大会は事細かく計画されていました。よくあるように、祈りはステーキ会長会、高等評議員、ピシヨップ、ステーキ祝福師など、立派な会員に割り当てられていました。兄弟たちにはまだその割り当てが伝えられていなかったの、わたしたちはその割り当てを、そのような榮譽を受けるにふさわしい人々から、そのような経験が必要としている、心底必要としている人々に変えることにしました。

ステーキ会長は一般部会用に詳細なスケジュールを作っていました、ある部会に20分だけ予定が組まれていない時間があると仰いました。わたしは、ステーキ大会で話す機会がめったに与えられない人で強められる経験が必要としている人を何人か指名して、話してもらったかどうかと言いました。それに対して会長は、有能で著名な指導者を数人選び、話の割り当てがあるかもしれないので準備するように言っておきましょうかと提案しました。「会員でない人たちも大勢出席しますから」と彼は言いました。「わたしたちは、よく準備されたレベルの高い大会に慣れていません。ステーキには非

常に有能な人材がいますから、すばらしい印象を残してくれるはずです。」

打ち合わせの間、ステーキ会長はさらに2回、部会のスケジュールの話を持ち出し、ステーキで「最高の話者」に話の割り当てをするよう強く求めました。「この時間は、それを最も必要としている人々のために取っておくことにしましょう」とわたしは言いました。それに対して、彼はがっかりした表情で、「中央幹部のあなたがそうおっしゃるのですしたら」と答えました。

日曜の朝早く、ステーキ会長はもう一度、だれかに話を頼んで最高の印象を残したいならまだ間に合いますよと指摘してくれました。

午前の部会は会長の洗練された感動的な説教で始まりました。次に、わたしたちは第二顧問の兄弟に話すよう求めました。彼は傍目^{はため}にも分かるほど動揺しました。……（顧問の兄弟たちには恐らく午後の部会で話してもらうことになるだろうと前に言ってあったのです。わたしたちは彼の家で昼食を取ることになっていました。第二顧問はメモを見直す時間があると思ひ、メモを家に置いてきてしまったのです。）

メモがない彼は証に切り替え、その週に経験した、神権の祝福にまつわる靈感あふれる話をしてくれました。医師に見放されたある兄弟が、神権の力によって死の淵^{ふち}から呼び戻されたという話でした。彼がどんなメモを用意していたかは知りませんが、靈感において、彼の述べた証とは比較にならなかったはずです。

いちばん前の列に年配の女性が座っていました。彼女は、人生の風雨に堪えてきた年若い男性と手を取り合っていました。流行の装いの会衆の中では、どちらかといえば地味な服装の彼女は少し場違いに見えました。大会で話すべきことがありそうに見えたので、その機会を提供すると、彼女は伝道の報告してくれました。52年前に伝道を終えて戻って以来、一度も教会で話すように求められてこなかったのです。彼女の証は感動的で、心を打つものでした。

ほかにも数人が招かれて話しました。集会在終わりに近づき、ステーキ会長が残りの時間にわたしが話したらどうかと提案しました。わた

しは「何か靈感を受けましたか」と尋ねました。すると彼は、市長のことが頭から離れないと言いました。（その大都市では教会員が市長に選出されていて、その日彼は大会に来ていたのです。）市長に一言あいさつしてもらったらどうかと言うと、会長は小さな声で、市長は教会に来ていないのだと言いました。それでも話してもらうよう提案すると、市長はその集会で話すにはふさわしくない人物だと彼は断言し、反対しました。しかし結局、わたしの強い勧めに応じてその兄弟を壇上に招いたのでした。

市長の父親はその地域の教会の開拓者でした。過去に、あるワードのビショップを務めていて、息子の一人、確か市長の双子の兄弟だったと思いますが、彼が次のビショップの召しを受けました。市長は迷い出た羊でした。彼は演壇にやって来ると、驚いたことに、辛辣^{しんらっ}で敵意に満ちた様子で話し始めました。まず次のように言いました。「あなたたちがどのようなつもりでわたしの名前を呼んだのか分かりません。自分が今日なぜ教会にいるのかも分かりません。教会にはわたしの居場所などありません。教会に溶け込めたことなど一度もありませんでした。教会のやり方はわたしには合いません。」

実のところ、わたしは少し心配になりました。その時、彼は口をつぐみ、演壇に視線を落としました。それから話し終えるまで、目を上げようとはしませんでした。ためらってから、言葉が続けました。「どうせだから話しますが、わたしは6週間前にたばこをやめました。」それから、会衆に向かってこぶしを頭上高く振り上げて言いました。「そんなこと簡単だと思う人がいたら、それはこの数週間わたしが味わった地獄を知らないからです。」

それから態度を急に和らげて、こう言いました。「福音が真実だと知っています。ずっと知っていました。子供のときに、母から学んだのです。」

「教会が間違っていないことは分かっています」と彼は告白しました。「間違っているのはわたしです。そのこともずっと分かっていました。」

それから彼は、すべての迷い出た羊の気持ちを代弁するかのよう^かに懇願しました。「間違っているのは自分の方だということは分かっ



入り口をふさがないようにしなければなりません。
その道は狭いからです。わたしたちは
自らふさいでいる入り口から彼らを通そうとして、
不毛な努力を必死に続けることがあります。

ています。教会に戻りたいと思っています。
ずっと戻ろうとしてきたのに、皆さんは入れてく
れませんでした!」

もちろん、わたしたちは彼に戻って来てもら
いたいと思っているのですが、どういうわけか、
そのことを彼に伝えるのを怠っていたのです。
集会が終わると、会衆はわたしたちのところでは
なく、彼のところに殺到して言いました。
「お帰りなさい」と。

大会の後、空港へ向かう車の中で、ステーク
会長はわたしにこう言いました。「今日わたし
は大事なことを学びました。」

わたしは確認のつもりでこう言いました。

「あなたが最初に望んでいたようにしていたら、
きっと彼の父親か、ビショップである彼の兄弟
に話を依頼していたでしょうね。」

彼はうなずいて言いました。「二人とも5分
前に知らされていたら15分か20分の感動的
な説教をし、出席者全員の賛同を得たと思
います。でも、迷い出た羊が囲いに戻ること
はなかったでしょう。」

ワードやステークの指導者であるわたした
ちは皆、迷い出た羊に門戸を開き、彼らの中
に入れるように、わきによけなければなり
ません。入り口をふさがないようにしなけ
ればなりません。その道は狭いからです。
わたしたちは自らふさいでいる入り口
から彼らを通そうとして、不毛な努力を
必死に続けることがあります。彼ら
を高めたいと望み、彼らが前進できる
ように背中を押ししたいと望み、彼ら
が向上するのを見たいと望むときに
のみ、わたしたちは証を生み出す御
霊^{みたま}を受けることができるのです。

主が「丈夫な人には医者はいらない。いる
のは病人である」(マタイ9:12)と言
われたのは、そういう意味だったのでは
ないでしょうか。

わたしは水準を下げるように求めている
のではありません。逆です。迷い出た
羊の多くは、低い水準より高い水準に
素早く反応します。霊的な訓練には癒
しの効果があるのです。

訓練は愛の一つの形であり、愛の表現
です。それは人々の生活に必要であり、
強い力を持っています。

よちよち歩きの子供が道端で遊んで
いるとき、車で通りかかった人はその
子^こを注意深くよけて通ります。車を
止めてその子を安全な場所に連れて
行き、必要なら懲らしめようと思
う人はあまりいないでしょう。た
だし、自分の子供や孫でなければ
という話ですが、その子を十分に
愛していたら、そうするはず
です。霊的成長に役立つと知
っていながら訓練を控える
のは、愛と気遣いに欠けている証
拠^{しるし}なのです。

霊的な訓練は、愛に裏打ちされ、証
によって確認されたうえで行われ
るとき、魂を救う助けになる
のです。■

1969年2月19日、神権指導者の集会における説教より抜粋。
全文(英語)は、ボイド・K・バッカー著、Let Not Your Heart
Be Troubled (1991年)の12-21ページに収録されています。
原文(英語)においては、句読点、大文字は標準用法に修正。



中央日曜学校会長会
第一顧問
デビッド・M・マッコンキー

御^み霊^{たま}の^ま声^まを聞き分け、 理解することを学ぶ

わたしたちにできる最も重要な事柄の一つは、
御霊の促しを聞き分け、それに従えるようになることです。

わたしの父はユタ州のモンティセロという小さな町で育ちました。7歳のころ、家で飼っていた牛を牧場から連れて帰るのが父の日課の一つでした。父は宝物のポケットナイフをいつも肌身離さず持っていました。ある日、馬に乗って牛を連れて帰ろうとしていた時のことです。ポケットに手を入れてみると、そこにあるはずのナイフがありません。道のどこかでなくしてしまったことに気づいて愕然とし、ひどくがっかりしました。しかし父は、神は祈りを聞き、こたえてくださるという両親の教えを信じていました。

父は馬を止め、鞍の着いていない背中を伝って地面に降りると、ひざまずいてポケットナイフが見つかるよう

に天の御父に願い求めました。そして再び馬にまたがって向きを変え、もと来た道に戻りました。しばらく行ったところで馬が止まりました。父は馬から下り、道に厚く積もった土ほこりに手を入れてみると、そこには土ほこりに埋まった宝物のポケットナイフがあったのです。父には主が祈りを聞き、こたえてくださったことが分かりました。

御霊のささやきに耳を傾け、それに従って行動することを学んだおかげで、父はその後の人生でも多くの機会に主の御手を目にする祝福にあずかり、数々の奇跡を見ました。家族を集めて福音を伝えてくれたときにも、モンティセロの土ほこりの道で主が「そばかす顔の7歳の少年」の祈りを

聞き、こたえてくださったときの経験についてよく語り聞かせてくれたものです。

後年、父は幼いころのこの経験から学んだ別のことについても話してくれました。父は愉快そうに目を輝かせてこう言いました。「神様が馬に語りかけることもおできになるってことも分かったよ。」

父にとって、幼いころの経験は消えることのない印象となって心に残りました。個人的に霊的な学びを始めたからです。そのとき父は、神が祈りを聞いてくださることを自分自身で学んだのです。預言者ジョセフ・スミスが語ったように、このとき父は神の御霊を経験し始めたのでした。¹



聖霊の賜物

救い主は使徒たちに、御自分が去られた後、彼らは聖霊の賜物を享受するだろうと約束されました。主はこのように言われました。「助け主、すなわち、父がわたしの名によってつかわされる聖霊は、あなたがたにすべてのことを教え、またわたしが話しておいたことを、ことごとく思い起させるであろう。」(ヨハネ 14:26) この約束は五旬節の日に成就しました。

末日聖徒イエス・キリスト教会の会員は、キリストが使徒たちに約束されたのと同じ賜物を受ける特権を与えられています。バプテスマを受けた後、福音の儀式を執行する権能を持つ人の按手によって、聖霊の賜物が授けられます。この賜物は、わたした

ちがふさわしくあるとき、神会の第三の御方である聖霊を常に伴侶とすることができるといふ権利です。

聖霊を伴侶とすることは、この世で享受できる最も大きな祝福の一つです。十二使徒定員会のブルース・R・マックコンキー長老（1915 - 1985 年）は次のように語りました。

「人は、この世のあらゆるものに勝って、聖霊の導きを求めなければならない。聖霊を伴侶とすることほど重要なことはない。……

聖霊の賜物を受け、それを享受するためなら、どんなに高い代価も、大変な労力も、つらい努力も、大きな犠牲も惜しくはないのである。」²

預言者ジョセフ・スミスは、人は神の御霊を経験できることについて、次

のように教えました。「神の御霊を経験し、理解することによって、啓示の原則が身に付いていき、ついにはキリスト・イエスにあって完全な者となるでしょう。」³

わたしたちにできる最も重要な事柄の一つは、神の御霊を経験する——つまり御霊の促しを聞き分け、それに従えるようになることです。わたしたちがそれを望み、ふさわしくあるなら、主は啓示の原則にかなって教え導いてくださるでしょう。

耳を傾け、行動することを学ぶ

神の御霊を経験するには、心から耳を傾けることを学ばなければなりません。十二使徒定員会のボイド・K・パッカー会長は次のように語って



タイヤを確認しなさい

アンドリュー・M・ライト

わたしが15歳のとき、わたしたち家族はアリゾナ州の家を離れ、休暇を過ごすために合衆国中部に向かいました。カンザス州をはじめテキサス州、アーカンソー州、ミズーリ州、イリノイ州など多くの州を車で移動しました。

休暇は楽しく過ぎていきました。長い間車に揺られてあちらこちらを巡るうちに、それぞれが家族と一緒に過ごすを楽しむようになりました。

ある晩、レストランに入るために車を止めました。皆、おなががすいていました。そのとき突然、わたしは車の後ろのタイヤを見るようにという静かな、しかし強い促しを感じました。レストランに向かって歩き始めましたが、その気持ち

をぬぐい去ることはできませんでした。振り向いて立ち止まると、「後ろのタイヤを確認しなさい」という促しを感じました。それがあまりに強かったので、無視することはできませんでした。

わたしが車の後方に近づくと、シューツという音が聞こえてきました。見てみると確かに、右側の後部タイヤに穴が開いていて、どんどん空気が抜けていたのです。わたしは急いで走って行って、すでにほかのみんなとレストランに入っていた父を呼んできました。

父はガソリンスタンドを目指して車を走らせ、タイヤが完全にパンクしてしまう前にたどり着くことができました。タイヤを傷めずに済んだので、修理も早く終わり、費用も安く済みました。また、

ガソリンスタンドが閉まるほんの数分前にパンクしたタイヤを修理することができたのです。わたしがあの促しを無視していたらどうなっていたか分かりません。ただ明らかなのは、促しに従ったおかげで、無事に快適な旅を続けることができたということです。

この出来事以来、わたしはいつも聖霊の力に確信を持つようになりました。また、教会員として特別なコミュニケーションの方法を持っていることがどれほど大きな祝福かを実感するようになりました。わたしはこの経験に感謝しています。この経験はいつまでもわたしの心に残り、天の御父が御自分の子供たちすべてを愛し、気にかけて見守ってくださることを永遠に思い起こさせてくれるでしょう。

います。「御霊の声は静かで細く、聞くというより感じるものです。それは、心に浮かぶ思いと同じように、精神に感じる霊的な声なのです。」⁴

パッカー会長は次のようにも教えています。「啓示は穏やかな環境の中ではいっそう容易に与えられます。聖典には、静かなや、平和、慰め、という言葉が随所に見られます。『静まって、わたしこそ神であることを知れ。』(詩篇46:10、強調付加) また、次のような約束が記されています。『あなたは、わたしの御霊、聖霊、すなわち慰め主を受けるであろう。その慰め主は、王国にかかわる平和をもたらす事柄をあなたに教えるであろう。』(教義と聖約36:2、強調付加)

パッカー会長はこのように付け加えています。「このような啓示は、わたしたちが招くことのできるものであつ

て、決して強要できるものではありません。無理やり得ようとする、ほんとうに求めるものとは違うものを得ることになりかねません。」⁵

学ぶ過程で最も重要なのは、わたしたちには、聖霊から受けた促しに従ってすぐに行動する責任があるということです。トーマス・S・モンソン大管長はこのように述べています。「わたしたちは心を澄ませて待ちます。あの静かな細い声に耳を傾けるのです。御霊が語られるとき、賢い人は従います。御霊のささやきに従うのを後回しにしてはいけません。」⁶

御霊の声を聞き、理解できるようになるには、段階を経て継続的に学んでいく必要があります。救い主は言われました。「光を受け、神のうちにいつもいる者は、さらに光を受ける。そして、その光はますます輝きを増してついに

は真昼となる。』(教義と聖約50:24) 「わたしは受け入れる者にさらに多く与え[る]。』(2ニーファイ28:30)

キリストが「最初から完全は受けず、恵みに恵みを加えられた」(教義と聖約93:12)ように、わたしたちも主の戒めを守るときに、「恵みに恵みを加えられ」(教義と聖約93:20; ヨハネ1:16も参照)、「教えに教え、訓戒に訓戒を加え」られるでしょう(2ニーファイ28:30)。多くの場合、学びのプロセスは天から露が降りるようにゆっくりと進行するのです(教義と聖約121:45; 128:19参照)。

十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老は教えました。「御霊の声に導かれるための能力を即座に習得できる簡単な方法やテクニックなどない」のです。むしろ「御父は、[わたしたちが] 御父とその聖なる御子イ



エス・キリストを信じる信仰を行使することによって神聖な助けを得ることを望んでおられます。」

スコット長老は続けて語りました。「初めは気の遠くなる難題に見えますが、御霊の促しを認識してそれに従うよう努力し続けるなら、だんだん容易にできるようになります。また、聖霊を通して受ける導きへの信頼も強くなります。」さらに「見たり聞いたりできる事柄よりも、心に浮かぶ考えへの確信が増していく」と述べています。⁷

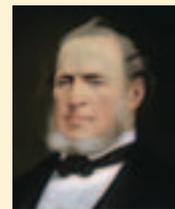
わたしたちが段階を経て学んでいく中で、自分自身やほかの人が、生活の中で御霊から受ける促しに従って行動することにより、どのような結果が得られるかを理解できるよう主は助けてくださるでしょう。これらの経験によってわたしたちの信仰は強められ、将来、促しに従って行動する勇氣

がさらに増すでしょう。

御霊の声を聞き分け、理解することを学ぶには、かなりの努力が必要です。しかし、主は忠実な者たちは「啓示の上に啓示を、知識の上に知識を受けて、数々の奥義と平和をもたらす事柄、すなわち喜びをもたらす永遠の命をもたらすものを知ることができるようになるであろう」と約束されています（教義と聖約 42：61）。■

注

1. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』132 参照
2. ブルース・R・マッコンキー, *A New Witness for the Articles of Faith* (1985 年), 253
3. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』132
4. ボイド・K・パッカー「炎のように分かれた舌」『リアホナ』2000 年 7 月号, 10
5. ボイド・K・パッカー「啓示をもたらす敬虔さ」『聖徒の道』1992 年 1 月号, 23
6. トーマス・S・モンソン「霊は人を生かす」『聖徒の道』1997 年 6 月号, 4
7. リチャード・G・スコット「霊的な導きを得るために」『リアホナ』2009 年 11 月号, 6-7



特権と義務

「もし神の思いと御心みこころを知りたければ……、それを得なさい。あなたにはほかのすべての教

会員、神の王国の一員と同様にその特権があります。主の言葉が語られるとき、主の御心が明らかにされるときに、それと気づくことができるように生活する特権と義務があなたにあります。わたしは、これらすべてのことを知り、理解できるように生活する義務があなたにあると申し上げます。」

ブリガム・ヤング大管長（1801 - 1877 年）、
『歴代大管長の教え——ブリガム・ヤング』74

啓示

一滴ずつ

ルイス・アンドレス・バレラは、ホンジュラスのタウラベ洞くつの中で鍾乳石の先に、水が一滴たまる様子をじっと見詰めています。これまでたまった滴が作り上げてきたものに、一滴一滴が加わって鍾乳石は少しずつ大きくなっていきます。

しかし、ルイスはただ鍾乳石を見ているのではなく、自分自身について一つの教訓を学んでいるのです。

「鍾乳石は一滴ずつ大きくなっていきます」と彼は言います。「わたしたちの証も同じように成長します。聖霊はわたしたちに少しずつ教えてくださいます。聖霊の教えの一つ一つが福音の知識を増し加え、わたしたちを成長させてくれるのです(2ニーファイ28:30 参照)。

ルイスは、彼の人生で起こったそのような出来事を覚えています。ある日、家族で聖文を読んでいたとき、今読ん

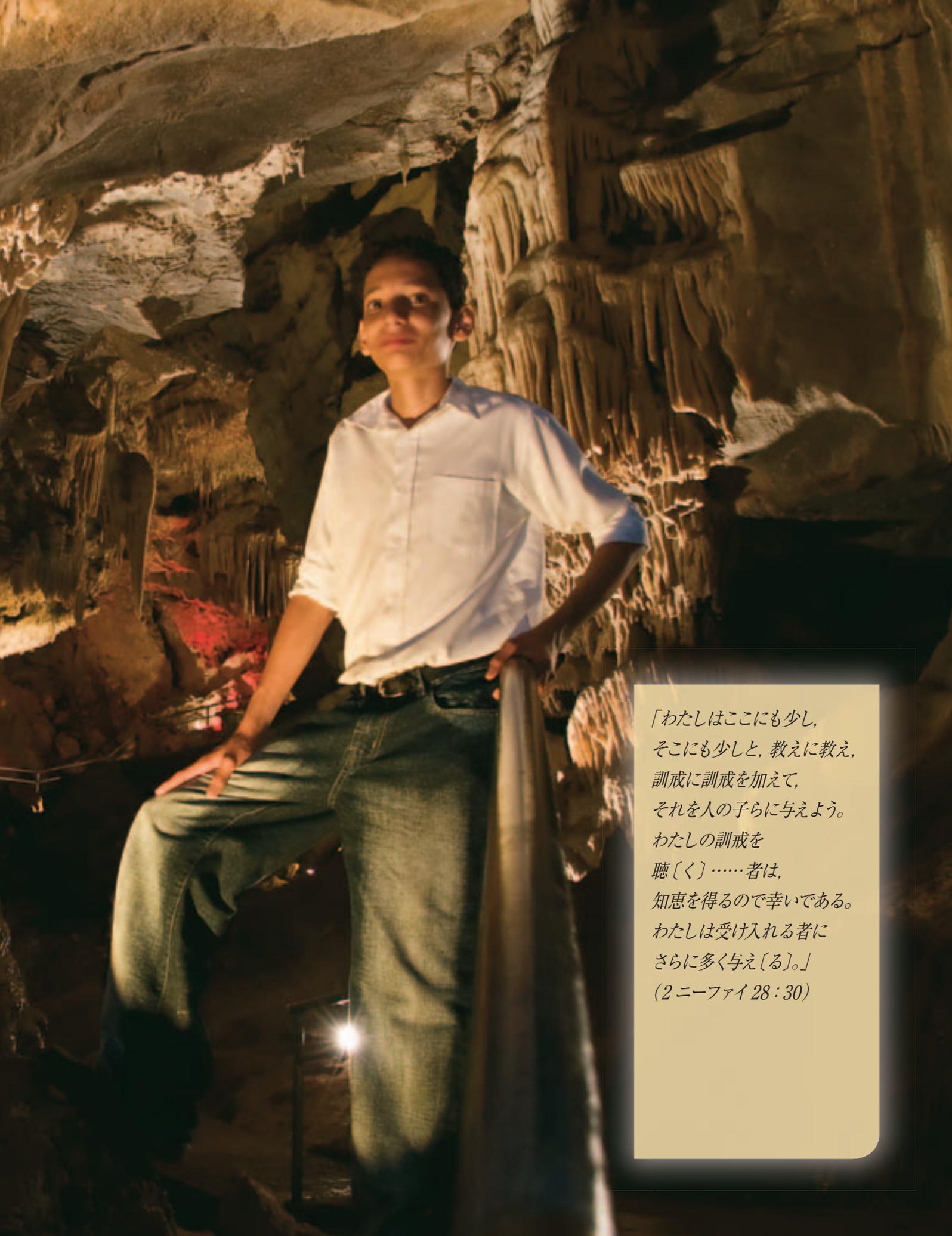
でいることは真実であるという穏やかな気持ちを感じ、確信を得ました。

「わたしはまだ14歳ですが、自分が啓示を受けたことを知っています。なぜなら、聖霊がわたしに、教会は真実であり、ジョセフ・スミスは預言者であると告げてくださるのを感じたからです」と彼は言います。「わたしが受けた啓示は少しだけなので、まだとても小さな鍾乳石にすぎないかもしれませんが、自分がなすべきことをするなら、啓示を受けることができ、わたしの知識と証は成長し続けるでしょう。」

ルイスは、教会に行き、セミナーに出席し、聖文を研究し、断食し、祈ることにより、「啓示の上に啓示を」受ける備えができると語ります(教義と聖約42:61)。

「これらのことをするなら、わたしの信仰も、あの鍾乳石のように、ここから天に伸びていくことができます。」■

写真 © Photonstop/SuperStock 右—写真アダム・C・カニン



「わたしはここにも少し、
そこにも少しと、教えに教え、
訓戒に訓戒を加えて、
それを人の子らに与えよう。
わたしの訓戒を
聴〔く〕……者は、
知恵を得るので幸いである。
わたしは受け入れる者に
さらに多く与え〔る〕。」
(2ニーファイ 28:30)

啓示

天から降り注ぐ

ホンジュラスのプルハパンザクの滝は、近づきすぎるとものすごい水しぶきで体がずぶぬれになります。しかし、ホセ・サンチアゴ・カスティージョは気にしません。流れ落ちる水は、ホセにとって、ある約束の象徴だからです。その約束は、福音についての祈りに天の御父が初めてこたえてくださって以来、ずっと大きな意味を持ってきました。

「知恵が欲しければ、求めればいいのです」とホセは言います（ヤコブの手紙 1:5 参照）。「人は滝の水を止めることができません。同様に主は、聖徒のうえにあふれるばかりの知識を注ぐと約束しておられます。」（教義と聖約 121:33 参照）

ホセは教会での経験を通して、証は教えに^{あかし}加えて成長していくものではあるけれども、必ずしも時間がかかるというわけではないことが分かってきました。一度に大量の啓示を受けることもできるのです。

預言者ジョセフ・スミスはこう教えています。

「神はジョセフに明らかにしてこられたすべてのことを、十二使徒にもお知らせになるでしょう。聖徒のうちの最も小さい者でさえも、堪えることのできる程度に応じてすべてのことを知るでしょう。」¹

現在長老定員会の会長を務めているホセはこう語ります。「わたしはバプテスマを受ける前に、主がわたしに示してくださったことの確証を求めて天の御父に祈りました。つまり、モルモン書、知恵の言葉、^{しゅうぶん}什分の一が真実だということが知りたかったのです。答えが欲しければ、御父に尋ねることです。」（モーセ 1:18 参照）

ただし、啓示を受けるためには備えが必要です。「ぬれるためには水に入らなければなりません。啓示が欲しいならば、啓示が下る場所に行かなければならないのです。いるべきところにいて、行うべきことを行っていないければなりません。一生懸命に努力すれば、多くのことが分かってきます」とホセは言います（1 ニーファイ 15:8 - 11 参照）。■

注

1. 「歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス」 268

写真：アダム・C・オルソン



「全能者が末日聖徒の^{こうべ}頭に
天から知識を注ぐのを
人が妨げようとするのは、
人がそのか弱い腕を伸べて、
定められた水路を流れる
ミズーリ川を
とどめようとするようなもの、
あるいは逆流させようと
するようなものである。」
(教義と聖約 121:33)

救い主の下で働く羊飼いでして、
わたしたちには「道を迷い出た人々に
手を差し伸べ、……彼らを救い出す」
責任があります。

なくした
ものを
見つける

たとえ

ルカによる福音書の第
15章で、救い主は人
の貴さを教えるために
3つのたとえを用い、いなくなった
人を見つけて信仰の群れや家族に
戻す方法を教えておられます。

たとえには、迷い出た羊やなくした銀貨、放埒な生活に身を持ち崩して親から譲り受けた財産を使い果たしてしまった放蕩息子が出てきます。そして、羊飼いは荒れ野を捜し、銀貨をなくした女性は家中を掃き、寛大な父親は、息子が戻って来たら抱き締めて、温かく迎えようと思いつつ息子の帰りを待っています。

この救い主のたとえと、次に掲載する3人の教会の指導者の話は、救い主の下で働く羊飼いでして、わたしたちには「道を迷い出た人々に手を差し伸べ、大切な彼らを救い出すことができ、一人も失われることが〔ないようにする〕」責任があることを思い起こさせます。¹

注

1. トーマス・S・モンソン「任命された職にしっかりと立つ」『リアホナ』2003年5月号, 57



迷い出た羊を救う

地域七十人、ユタ州北地域
ドナルド・J・キース長老



何年も前の早春のことです。

妻とわたしはアメリカ合衆国ワイオミング州スターバレーを

車で巡る機会がありました。すばらしい春の朝、景色はまさに壮観でした。

スターバレーに入ると、車から時々羊の群れが見え、ジャッキーとわたしの心を和ませてくれました。群れのあちこちには、子羊が何十匹もいました。幼い羊ほどかわいいものはありません。車の多い道を行くと、小さな羊が道端に近い柵の外に出てしまっているのが目に入りました。必死で走り、柵に向かって行ったり来たりしています。群れに戻ろうとしていたのです。体が小さかったために柵の間からすりりと外に出たものの、戻れなくなってしまったようでした。

ここで車を止めて助けなければ、この子羊はすぐ近くの道路に入り込んでけがをするか死んでしまいます。そう確信したわたしは車を止め、ジャッキーと、後部座席にいた同行者に言いました。「ここで待っていて。すぐ終わるから。」

子羊の世話をした経験が皆無だったわたしは、おびえている羊はわたしを見て当然喜ぶだろうと思っていました。とにかく善意で助けようとしていたのです。羊の命を救おうとして車を降りたのですから。

しかし、残念なことに子羊は怖がり、助けようとするわたしの努力をありがたいたとはみじんも思っていませんでした。近づこうとすると、柵に沿って全速力で逃げて行きます。わたしが手を焼いているのを見て、ジャッキーが車から降りて加勢してくれました。しかし、二人がかりでも、このすばしい子羊を取り押さえることはできませんでした。

すると、後部座席でわたしたちの追いかけてこをずっと笑って見ていた夫婦が、車から降りてこの救出作戦に加わってくれました。全員で追いかけて回した末、わたしたちはついにおびえる子羊を柵に追い詰めることができました。ところが、しゃがんで子羊を抱き上げようと手を伸ばしたとき、旅行用の清潔な服を着ていたわたしは、明らかな動物臭に気づいてはっとしました。そして、こうまでして助ける価値があるのかと疑問を感じ始めたのです。

わたしたちは子羊を抱き上げ、柵の中の安全な場所に入れてやりました。子羊は体勢を整えると思いつき地面をけって走って行きましたが、間もなく母親を見つけ、そのわき腹に体をぴったりと押し付けて安心したようでした。わたしたちは服装が多少乱れたものの大満足で、自分たちの選択は間違っていなかったと安堵してドライブに戻りました。

わたしは以後、この経験を何度か思い返しました。わたしたちは教会から足が遠のいている隣人を救うために、感謝されることもなくこのような努力をするのでしょうか。してほしいと思います。「人は羊よりも、はるかにすぐ



れているのではないかと救い主は言われました(マタイ 12:12)。どの支部やワード、ステークにも、迷い出て危険にさらされている羊がいます。

賛美歌「今日われ善きことせしか」の歌詞の、業という言葉に救済に置き換えて、迷い出た子羊を救うことに当てはめて考えてみてください。

なすべき救助ここにあり

その時は今あり

「いつかなす」と言いつつ時を過ぎさず、今日なせ¹

隣人は救助されることに対して感謝していないように見えることもあれば、恐れを感じているように、また、関心がないように見えることもあるかもしれません。それに、救助するには時間と労力、エネルギー、ほかの人の支えと助けが必要になるかもしれません。しかし、こうした努力には、永遠の祝福という報いが与えられます。主は次のように約束しておられます。「一人でも〔主の〕もとに導くならば、〔わたしたちの〕父の王国で彼とともに受ける〔わたしたちの〕喜びはいかに大きいことか。」(教義と聖約 18:15)

注

1.「今日われ善きことせしか」(『賛美歌』137番)



彼女はわたしを 見捨てようとはしません でした

ソニヤ・コンスタンス

1990年に教会に入ったとき、わたしはすばらしい家族に仲良くしてもらい、召しを受け、帰属意識を感じていました。しかし、1年後に新しいワードに移ってからは、あまり教会に行かなくなりました。集会に出るのをやめ、教会員ではない男性とつきあい始めました。

教会が真実だとは信じていましたが、もう自分には教会に行く資格はないと思っていました。キャシーがわたしの訪問教師に割り当てられたのはそんなときでした。

キャシーは最初の数か月は毎月電話をかけてきて、会う約束を作ろうとしました。しかし、わたしがいつも彼女の訪問を避けていたので、代わりに「家庭訪問メッセージ」を郵送してくるようになりました。判で押したように毎月、メッセージが届きました。これは4年間、わたしがボーイフレンドと結婚して2児の親になってからも続きました。

メッセージを読まないまま捨ててし

思いやりを示す

十二使徒定員会

ロバート・D・ヘイルズ長老



迷い出た羊のたとえでは、羊飼いはなくなった羊を懸命になって捜し、見つけ出しました。そして家に帰って大

いに喜びました（ルカ15：4-7参照）。

なくした銀貨のたとえでは、やもめはろうそくをともし、家の隅々まで掃いて捜し、銀貨をついに見つけて大いに喜びました（ルカ15：8-10参照）。

まった月もありましたし、読むと捨ててしまった月もありました。そしてある日、夫はわたしを置いて出て行きました。よちよち歩きの子供と乳飲み子を独りで育てなければならなくなったのです。突然、どうすればいいのか決める必要に迫られました。毎月の「家庭訪問メッセージ」がまた届いたとき、わたしは、実に久しぶりに教会に行くことにしたのです。

とてもばつが悪く、これまで犯してきた罪が全部顔に書いてあるかのように感じました。ヤングシングルアダルトのプログラムで知っていた姉妹が歓迎してくれて、一緒に腰かけてくれました。そこに突然キャッシュが来ました。わたしは視線をそらしました。親切な手紙に一度も返事を出していなかったのに、気まずかったです。キャッシュはわたしにほほえみかけると、わたしの隣の姉妹と少し話してから、ご主人と並んで腰かけました。

翌日仕事から帰ると、キャッシュからのメッセージが留守番電話に入っていました。わたしは折り返し電話することができませんでした。キャッシュは二度と教会に来てはいけないと言おうとしていたに決まっています。わたしが犯してきた罪はあまりに大きかったですから。

どちらのたとえも、見つけ出すために起こす行動の例です。暗闇に火をともし、なくした貴重品が見つかるまで掃き、いなくなった動物が見つかるまで捜し、家に戻って大いに喜びます。

この思いやりと奉仕の精神を発揮した良い例が、ドン・サマーズとマリアン・サマーズ夫妻です。二人は、イングランドのロンドン伝道部での伝道期間中、最後の6か月をスウィンドン支部で会員の活発化のために働くように要請されました。スウィンドン支部は80年もの間、忠実な教会員はごくわずか、教会から足が遠のいてしまっている立派な会員が数多くいる

キャッシュにそんなことを言わせなければならぬことを申し訳なく思いましたが、そう言おうとしていたに違いありません。義人の中にわたしの居場所はないのです。わたしは電話しませんでした。翌日の夜、キャッシュの方から再度電話がありました。

「謝りたいの」と彼女が言いました。

どうしてキャッシュがわたしに謝らなければならないのでしょうか。

「日曜日に会ったとき、あなただと分からなかったの」と言います。「聖餐会が終わってから、隣に座っていた姉妹にあなたのことを聞いたのよ。そのときにはもう、あなたはいなかったの。会えてほんとうによかったわ。」

わたしは返す言葉がありませんでした。

キャッシュは付け加えて、「今度教会に来たときには一緒に座れるといいのだけど」と言ってくれました。

「ぜひ一緒に」とわたしは言う、突然、熱いものが込み上げてきました。

次の日曜日、わたしたちは一緒に座りました。そして、それ以来、日曜日には何度も一緒に座りました。キャッシュはわたしに良い母親、良い教会員、良い訪問教師になりたいという気持ちを起こさせ

支部でした。

ドンとマリアンは当時を振り返りながら、手紙にこう書いてくれました。「スウィンドン支部に初めて訪問して、底冷えのする賃貸のホールで聖徒たちと会ったときは、少々がっかりしてしまいました。出席者が全部で17人でした。それも、ヘイルズ支部会長夫妻と4人の宣教師を含めてです。みんな冬のコートを着たまま、火力の弱い小さなストーブの周りに集まって日曜学校のレッスンを聞きました。」

手紙は続きます。「ある日一人の会員がわたしのところに来てこう言いました。『サマーズ長老、少し忠告させ



てくれました。批判せずに、わたしの話をいつもじっくりと聞いてくれました。救い主もこんなふう聞いてくださるのだろうと感じたものです。

キャッシュはわたしがエンダウメントを受けた日も、わたしが新しい夫と神殿で結婚した日にも、隣に座ってくれました。その地域からわたしたちが引っ越すまで、彼女はずっとわたしの訪問教師でした。彼女の奉仕のおかげでわたしの家族は祝福されました。彼女には思いも寄らないことですが、そうした祝福が与えられたのはすべて、彼女がわたしを見捨てないでいてくれたおかげなのです。



救うべき人

「皆さんの人生の旅路で、同じように旅をしている人に目を留めてください。皆さんの助けを必要としている人々があります。皆さんの確信、助け、励まし、靈感を必要としている人がいます。皆さんが救うべき人がいるのです。」

トーマス・S・モンソン大管長

「堅固な土台」

『リアホナ』および *Ensign*, 2006年11月号, 68



てもらいたいんですが。』彼はこう続けました。『スウィンドンの会員たちに**什分**の^{じゅうぶん}の^{こと}を話さないようにしてください。だれも什分の一の教えを信じていません。話したら怒らせるだけですから。』

サマーズ兄弟は語ります。「そうです。わたしたちは什分の一のこともほかの福音の原則とともに教えました。支部会長の模範と励ましによって、教会員の気持ちに変化が起きました。そして、信仰と行いが増し加えられていったのです。わたしたちはすべての会員の家庭を訪問し、会員記録の情報を最新の状態にしました。指導者が思いやりを示すようになると、会員が反応するようになりました。そして、まったく新しい熱意が支部にみなぎるようになったのです。こうして会員たちは、福音に対する積極性を取り戻し、助け合うようになりました。

習慣やマナーや服装が違うので、なかなか皆に溶け込めないうる若い夫婦がいました。そして、生活習慣を変えるようにとの教会の指導に傷つき、教会の記録から自分たちの名前を抹消するよう2度ほどビショップに（当時はワードになっていました）手紙で求めてきたのです。最後の手紙には、教会員の訪問はだれであっても断ると書いてありました。そこでマ

リアンとわたしは花屋で美しい菊の花を買い、簡単なメモを添えて配達してもらいました。メモにはこう書きました。『お二人を愛しています。お二人がいないと、とても寂しく思います。わたしたちには、お二人が必要です。どうか戻って来てください。スウィンドンワード』

次の日曜日は、断食証会で、わたしたちにとってスウィンドンでの最後の日曜日でした。6か月前の17人に比べて、今回は103人が出席していました。その若い夫婦も出席し、ご主人の方は証とともに、スウィンドンワードの人々が自分たちを見離さなかったことに対して礼を述べたのです。」

わたしたち一人一人が自分のワードや支部で同じような経験をすることができます。教会から足が遠のいている人々に働きかけ、愛することによってです。自分がどのような存在なのかを見だし、教会に戻りたいと願う人々に思いやりを示し、援助の手を差し伸べることは、何という喜びでしょうか（ユダ1:22参照）。

「疑いをいだく人々があれば、彼らをあわれみ……」
『聖徒の道』1987年7月号、86-87から。原文
〔英語〕においては現行の標準的な表記に変更。

ほうとう 放蕩息子を 迎え入れる



スペンサー・J・
コンディー長老

1989年から2010年
まで七十人として奉仕

放蕩息子のたとえは人間が持つ様々な性質をくつきりと描写しています。最初に登場するのは、自己中心的な放蕩息子です。自分のことしか考えず、ほかの人やほかのものがど

うなろうとお構いなしです。しかし悲しいことに、**放**蕩な生活を送った後で「罪悪は決して幸福を生じたことがない」ことに気づき〔アルマ41:10〕、「本心に立ちかえ〔り〕」ます（ルカ15:17）。結局、自分がだれの息子なのかを自覚するに至り、父親のもとに帰りたくてたまらなくなりました。

傲慢で利己的な性質は謙遜な性質に変わり、打ち砕かれた心と悔いる霊をもって父親にこう告白します。「わたしは天に対しても、あなたにむかって、罪を犯しました。もうあなたのむすこと呼ばれる資格はありません。」（ルカ15:21）思春期の反抗や大人げないわがまま、飽くなき快楽の追求は跡形もなく、代わりに、絶えず善を行う望みが芽生えたのです。さて、わたしたちは自分に対して完全に正直になってみると、だれしもこの放蕩息子のような性癖を少なからず持っている、または持っていたことがあると告白することになるのではないのでしょうか。

次に父親が登場します。「あなたの財産のうちでわたしがいただく分をください」という年若い息子の要求をのんでしまったのですから（ルカ15:12）、甘やかしすぎだと批判する人もいるかもしれませんが。このたとえに出てくる父親は、明らかに選択の自由という原則を十分に意識していました。この原則を巡って、前世では天上の戦いが起こったのです。この父親は、従順になることを息子に強制しようとはしませんでした。

しかし、この愛情深い父親は不従順な息子を決して見捨てることなく、その帰りをずっと待っていました。このことは、息子が「まだ遠く離れていたのに……哀れに思って走り寄り、その首をだいて接吻した」という胸



群れを養う

「わたしたちには群れを養う責任が与えられています。大切な羊や小さな子羊はどこにでもいます。自分の家族や親戚、そして教会の召しを通してかかわり合いを持つ人々がわたしたちを待っています。主イエスがわたしたちの模範です。主は言われました。『わたしはよい羊飼であって、わたしの羊を知〔る。〕』（ヨハネ10：14）わたしたちには人々を導く責任があるのです。一人一人が自発的に奉仕できますように。」

トーマス・S・モンソン大管長
「天の家——永遠の家族」
『リアホナ』2006年6月号, 70;
Ensign, 2006年6月号, 102

を打つ描写から明らかです（ルカ15：20）。息子に対する愛情を人目もはばからずに全身で示しただけでなく、父親は僕たちに命じ、息子に着物を着せ、履物を足に履かせ、指輪を手にはめさせ、肥えた子牛をほふらせました。そして、うれしそうに言いました。「このむすこが死んでいたのに生き返り、いなくなっていたのに見つかったのだから。」（ルカ15：24）

この父親は長年にわたってこのような思いやりと赦しの心、愛情に満ち

た性格をはぐくんできていましたから、愛し赦すこと以外はできませんでした。このたとえば世界中のあらゆる人に愛されています。それは、放蕩息子が家に帰って来るのを今か今かと待っている親がいるように、だれの行く手にも、愛にあふれる天の御父が立っておられるという希望をこのたとえば与えてくれるからでしょう。

そして次に登場するのは、年上の従順な息子です。弟を赦す父親に抗議しました。「わたしは何か年もあなたに仕えて、一度でもあなたの言いつけにそむいたことはなかったのに、友だちと楽しむために子やぎ一匹も下さったことはありません。」

それなのに、遊女しんたいとも一緒になって、あなたの身代を食いつぶしたこのあなたの子が帰ってくると、そのために肥えた子牛をほふりなさいました。」（ルカ15：29 - 30）

放蕩息子の要素はだれもが持っているのかもしれませんが、それと同様に、この兄のような性質をだれもが持っていることもまた事実なのかもしれません。使徒パウロは御霊みたまの実は「愛、喜び、平和、寛容、慈愛、善意、忠実、柔和、自制」だと説明しています（ガラテヤ5：22 - 23）。兄は確かに父親に従順だったかもしれませんが、従順さの裏で独善が渦巻いており、批判的で強欲な気性で、哀れみなどかけらもありませんでした。この息子の生活は御霊の実を映してはいませんでした。なぜなら、弟の扱いを不公平だと感じて心穏やかでなかったばかりか、ひどくいらだっていたからです。■

2010年2月9日のブリガム・ヤング大学ディボーションナルでの説教より。原文〔英語〕においては、句読点は標準的なものに変更してあります。説教の全文（英文）は speeches.byu.edu をご覧ください。

どうかだれかを送ってください

2 番目の子供の妊娠中は大変で、流産を抑える薬を飲む必要がありました。薬のせいで疲労感と吐き気がひどくなりました。

さらに悪いことに、夫は新しく始めた事業の成功で、対応に忙しく、毎日15時間働きずくめでした。知らない町に引っ越して来たばかりで、両親はるか640キロ離れた所に住んでいました。わたしは知り合いもなく、寝たきりの状態で、歩き始めたばかりの子の世話をしなければなりません。

恐くて孤独でした。

そのような中で、わたしは決して裏切らない御方、天の御父に頼りました。ベッドのわきにひざまずいて次のように祈りました。「天のお父様、わたしはここ何年も教会に戻ると言ってきましたが、準備ができたと思います。でも、独りで実行する勇気がありません。教会に誘ってくれる人をだれか送っていただけませんか。」

翌日、玄関の呼び鈴が鳴りました。わたしはパジャマ姿のまま、散らかっ

た居間のソファに横になっており、吐き気を感じていたので玄関には出て行きませんでした。数分して、わたしはハッとしました。さっきの呼び鈴が祈りの答えで、だれかが教会に誘いに来てくれていたとしたらどうしよう。

わたしは自分の部屋に戻り、もう一度ひざまずいて祈りました。「天のお父様、玄関に出ず、ほんとうに申し訳ありませんでした。もしお父様がだれかをわたしと話すためにお送りくださったのなら、明日もう一度お送りくださいれば、準備をしておきます。」

翌日、わたしは起きて、シャワーを

夫は毎日15時間働きずくめでした。

両親ははるか離れた所に住んでいました。

わたしは知り合いもなく、寝たきりの状態で、歩き始めたばかりの子の世話をしなければなりません。

恐くて孤独でした。

浴び、来客があっても恥ずかしくない服に着替え、一日中部屋の掃除をしました。それから玄関の呼び鈴がもう一度鳴るのを辛抱強く待ちました。はたして玄関の呼び鈴は鳴りました。ドアを開けると、二人の女性が玄関の踏み段に立っていました。

「わたしたちはあなたの訪問教師です」と二人は言いました。「訪問教師って何だか分かりますか。」

「ええ、分かります。」 そうわたしは答え、もう一度訪問してくれたことを喜びました。「入ってください。」

訪問教師の一人は、初等協会の会長でしたが、わたしの無事を確かめるために、定期的に立ち寄ってくれるようになりました。歩き始めたばかりのわたしの子供を教会へ連れて行ってくれたり、専任宣教師の訪問を手配してくれたりしました。宣教師の訪問によってわたしは証^{あかし}を強め、教会に戻る勇気を得ました。

自分が何年もの長い間、天の御父に祈ることなく、また、その守りと導きを受けることなく生活したことが信じられません。救い主の愛と憐れみ^{あわれみ}を受け、自らの重荷を背負う助けを頂けることはほんとうに大きな祝福です。わたしは救い主の愛のゆえにより良い人間になりました。そして教会に通っていた若いころの自分を取り戻しつつあると感じるようになりました。

天の御父は「神にはできないことはない」ということを証明してくださいました。天の御父がわたしたちに求めておられるのは、祈りにこたえてくださる御父の力を信じることだけなのです。■

ウェンディー・ワルコビアック
(アメリカ合衆国、ユタ州)

友人に傷つけられて

□ シアの教会の同じ支部内に友人がいて、教会の活動ではいつも一緒にいました。共通点がたくさんあり、彼と過ごす時間はとても楽しいものでした。そのようなすばらしい友人がいることに、わたしは感謝していました。

ところがその後、奇妙なことが起こりました。なぜそうなったのかは分かりませんが、彼がわたしをひどく傷つけたのです。赦し^{ゆる}を求めてくることもありませんでした。彼とのつきあいはなくなり、日曜日にもあいさつすらなくなりました。そのような状態が2か月続きました。わたしは心を痛め悲しみましたが、彼は何も言いませんでした。

そのうちに彼が引っ越すことを知りました。わたしはそんな関係のままで別れるべきではない、仲直りするべきだと思いました。ちょうどそのころ、モルモン書のある聖句が思い浮かびました。「あなたの兄弟のところに行って、まずその兄弟と和解し、それから十分に固い決意をもってわたしのもとに来なさい。そうすれば、わたしはあなたを受け入れよう。」(3ニーファイ 12:24)

謙遜^{けんそん}になって最初の一步を踏み出すのは容易ではありませんでしたが、祈ってから電話をかけました。彼がどのような反応を示すか、わたしには分かりませんでした。最悪の事態を覚悟しました。ところが、耳にした言葉にわたしは驚きました。

彼は真心から赦しを求めてきました。彼の声を聞いて、彼がわたしと同様、自分の行為にとっても苦しんできたこと

が分かりました。とりわけ、彼が3度繰り返した次の言葉は忘れません。「ナターリヤ、電話してくれてありがとう!」

わたしはうれしくてたまりませんでした! 間もなく彼は引っ越しましたが、最高の友人として別れることができました。

互いに愛し合い、赦し合えるようになること、それは最も難しい課題の一つです。特に、自分に落ち度がないと思うときに相手を赦すには、謙遜になり、高慢を克服する必要があります。赦し、仲直りする最初の一步を踏み出すことには、それだけの価値があるということをわたしは学びました。■

ナターリヤ・フォードロブナ・フロロバ
(オランダ)



あなたと知り合いになんかなりたくありません!

14歳の同僚を連れ、心の中で真剣に祈り、わたしはアンディーの家のドアをたたきました。新しいホームティーチャーとして初めての訪問でした。気難しいというわさにもかかわらず、彼を訪問する責任を引き受けたばかりでした。ドアが開きました。日本の着物を着た彼が立っていました。

「何ですか。」

「こんにちは、わたしはアービン、こちらは同僚です。あなたのホームティーチャーで、お話をしたいと思ってやって来ました。」

後ろのテーブルには、同じような格好をした奥さんが座っていました。二人は日本式の夕食を取っているところでした。

「ご覧のように今は夕食中で、お相手する時間はありません」と彼は言い

ました。

「いつかまた伺ってもいいですか」とわたしは尋ねました。

「どうしてですか」という質問が返ってきました。

「知り合いになれたらと思って」とわたしは答えました。

「どうして知り合いになりたいのですか?」と彼は尋ねました。「わたしはあなたと知り合いになんかなりたくありません!」

その時点でこの家族のホームティーチャーの責任を断念してもよかったのですが、わたしたちは続けました。翌月もう一度訪問したとき、アンディーは家に入れてくれました。わたしたちが座ると、正面の壁には、空のビール瓶がクラシックカーの形に並んでいました。アンディーと話した時間は短かったのですが、彼が退役した空軍大佐であることが分かりました。その後の訪問も短く、大した結果は得られませんでした。

ある夜、教会の集会を終えて帰ろうとしていたときのことで、心の中にアンディーを訪問するよという声が聞こえました。「いいえ、できません」「今晚はだめです」と心の中で思いました。

赤信号で待っているとき、アンディーを訪問するよという促しをもう一度感じました。そして思いました。「お願いします。今晚はアンディーに会いたい気分ではありません。」

けれども、家に帰る最後の角を曲がったとき、3度目の促しを感じ、何をやる必要があるのか、はっきりと分かりました。

わたしは彼の家に行って車を止め、導きを求めて祈りました。それからド

アに近づき、ノックしました。アンディーが中に入れてくれたとき、テーブルの上にモルモン書と系図のつづりが置いてあるのに気づきました。それまでになかった御霊^{みたま}を彼の家に感じました。アンディーの雰囲気もどこかしら違っていました。アンディーはその系図を整理した母親と妹への愛を穏やかに語ってくれました。

彼は初めて率直に話してくれました。ずっと背中^{せなか}の痛み^{いたみ}に苦しんでいて、カリフォルニア州リバーサイド近くにあるマーチ空軍基地病院に翌日行く予定だと言いました。わたしは神権の祝福を受けたいかどうか尋ねました。何のためらいもなく彼は静かな声でこう答えました。「受けます。」わたしは長老定員会会長を呼び、祝福を施す手助けをしてもらいました。

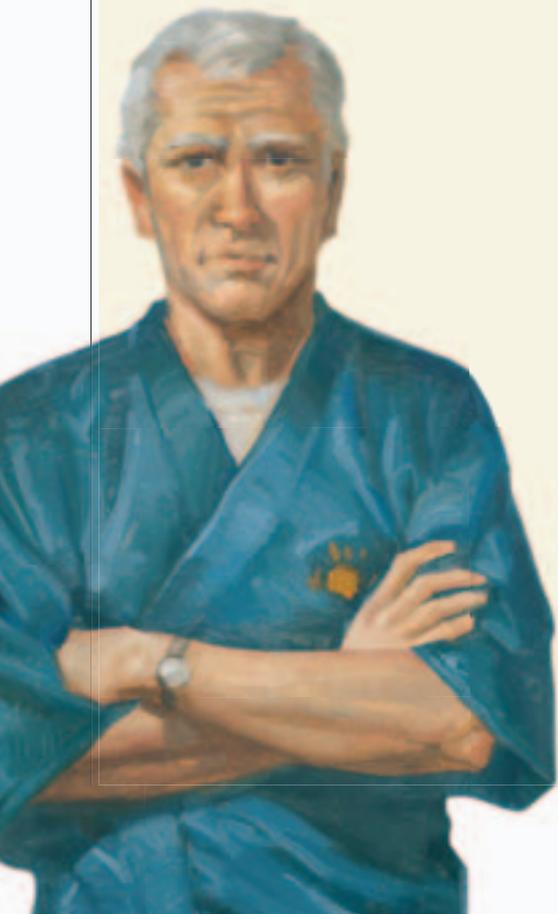
翌日、アンディーは手術のできない肺^{がん}癌^{がん}に侵されていると医者から告げられました。その知らせを聞くと、彼はビショップに会いに行きました。数か月もしないうちに、ベッドから動けなくなりました。

ある夜のこと、また家を訪ねると、奥さんが彼の部屋に通してくれました。彼は弱々しい姿で横になっていました。わたしはベッドの傍らにひざまずき、彼を両手で優しく抱いてささやきました。「愛しているよ、アンディー。」彼は持つる力のすべてを使って腕をわたしの肩に置き、やっとのことでこう言いました。「わたしもあなたを愛しているよ。」それから2日後に彼は亡くなりました。

奥さんがわたしを葬儀に招待してくれました。4人の家族以外で出席したのはわたしだけでした。

あの日、御霊の促しに耳を傾け、アンディーを訪問してほんとうによかったと思います。■

アービン・フェイガー (アメリカ合衆国、ユタ州)



じゅうぶん 什分の一は 後に回せない

10代の後半、専任宣教師とともに時間を過ごすようになり、近い将来自分が宣教師になったときに宣教師として教える原則に対する証あかしを持つことが、どんなに欠かせないことか気づきました。自分が理解を深めるべき原則は什分の一だと思いました。

多くの場合、什分の一の証を得るのは財政的な苦境に陥っているときです。しかし、子供のころから、わたしはいつも十分すぎるほど恵まれていました。経済的に困ったときには、両親が助けてくれました。そのことに感謝しています。しかし、両親が伝道費用を出すとは知っていながらも、費用の半分は自分で教師のアルバイトをして賄いたいと思いました。

ほぼ時を同じくして、わたしは前回の給料の中から完全に什分の一を納めていないことに気づきました。次の給料で差額を清算し、什分の一を完全に納めようと思いました。

しかし、翌月にもらった給料は、期待していたほどの額ではありませんでした。わたしの勤務はやや不規則で、月によって給料の額が変わりました。その月の給料で出費を賄うことはできない、しかも、前回完全に納められなかった什分の一の差額を納めることもできないということがすぐ分かりました。

わたしはどのような選択肢があるかよく考え、こう思いました。「来月こそは什分の一を完納しよう。」しかしそのときです。インスティテュートで学んだ什分の一のレッスンを思い出しました。特に、旧約聖書で主が言っ

ておられることを思い出したのです。「これをもってわたしを試み〔なさい。〕」(マラキ3:10) このときこそ、什分の一の原則を試し、やがては自分が人に教えることになる事柄に、より強い証を得る絶好の機会だったのです。

什分の一を納め、不足分もきちんと支払えたことに満足感を覚えました。しかし、主を「試みる」機会、ほかでもない翌日にやって来ました。まったく想像もしなかったほど早くまた驚くべき方法でした。幼稚園で常勤教師として働くよう誘われたのです。伝道に出る直前まで働けるし、その給料は、必要としていた伝道費用の半分を超えるものだったのです。この祝福を通して、什分の一に対するわたしの証は劇的に強くなりました。そ

の証は、その後2年にわたってドイツ・ミュンヘン/オーストリア伝道部で宣教師として働き、人々に分かち合う度にますます強くなりました。

わたしは什分の一の原則が真実であり、主が確かに「天の窓を開いて」くださること、そして「あふるる」ほどの祝福を注いでくださることを知っています(マラキ3:10)。■

デビッド・アーランド・イサクセン
(ノルウェー)

その月の給料で
出費を賄うことは
できない、しかも、前回
完全に納められなかった
什分の一の差額を
納めることもできない
ということが
すぐ分かりました。

ヤングアダルトと 家庭の夕べ

世界中の教会員は月曜の夜に時間を取って家庭の夕べを行います。現代の預言者が教えているように、家庭の夕べは「皆で活動し、計画し、愛を示し合い、証^{あかし}を述べ、福音の原則を学び、家族の娯楽やレクリエーションを行い、そして何よりも家族の一致と団結を図る」時間です。¹

家庭の夕べを最優先しているヤングアダルトがいます。全員が家族やきょうだいと同居しているわけではありません。ある人はルームメイトやワードの会員、インスティテュートで知り合った友人と一緒に家庭の夕べをします。また個人的な礼拝に時間を取る人もいます。しかし、どの人も家庭の夕べに参加するようにという預言者の勧告に従うことで、今も将来も祝福がもたらされると実感しています。

生活のあらゆる面での祝福

改宗者であり、家族で唯一の教会員であるわたしは、町のヤングアダルトセンターの家庭の夕べに出席しています。家庭の夕べに参加することは、ずっとわたしには重要な意味



がありました。家庭の夕べで、少人数にレッスンを教える方法を学んだり、求道者のときに教わった福音の原則をよりよく理解する機会を得たり、人が教えたり証を述べたりするときに成長するのを見たりしたからです。

これらは将来重要なスキルとなることを知っています。自分の家族を持

つとき、これまで見てきた良い模範のおかげで力強い、楽しい家庭の夕べを計画する方法が分かります。

しかし、家庭の夕べは人生の今の時期においても大切です。時々、月曜の夜は家にいる方が楽なことがあります。天気が悪かったり、勉強することがたくさんあったりするときは特にそうです。しかし、そのようなジレンマがあるときもだいたい家庭の夕べに行きます。ほかのヤングシングルアダルトと福音について話したり、楽しいひとときを過ごしたりすることが大切であることを知っているからです。出席者が





少なくとも、素晴らしい経験となります。

ヤングアダルトセンターで家庭の夕べを開くことの利点は、勉強したり、ピアノを練習したり、ゲームをしたり、ただゆっくりするために早く来ても、遅くまで残ってもいいところです。必ず何かしらすることがあります。

従順になり、家庭の夕べに参加しなさいという預言者の勧告に従うとき、わたしはいつも祝福を受けています。それは、勉強や仕事の中に表れていますし、家庭の夕べに参加した後の1週間の活力や、普段の気持ちが高められていることから明らかです。

レネケ・ローデルモント (オランダ)

証を築くための土台

わ たしは定期的に家庭の夕べを開く家族の下で育ちました。子供のころ、家庭の夕べは生活の大切な行事の一つだったので、月曜の朝は期待に胸を躍らせながら起きて、その日の夜は家庭の夕べだと両親に念を押ししました。ヤングアダルトになった今も、両親と同じ家に住み、毎週この特別な時間を家族とずっと過ごしています。

幼いときから継続的に家庭の夕べを開いていたので、その大切さを常々理解してきました。韓国では、多くの親子が多忙な日々を送り、家族の時間が少ないので、家庭の夕べは家族

が集まって強め合うための素晴らしい機会となっています。

両親の努力がもたらしたもう一つの祝福は、イエス・キリストの証



を築く確固とした土台を得たことです。教会でも福音を学んでいましたが、福音の原則をほんとうに理解し始めたのは家庭の夕べのレッスンを通してでした。その結果、わたしは教会に出席し、両親ではなく自分の信仰に基づいて福音の中で成長できたのです。
李 惠史 (韓国)

信仰を伝える機会

わ たしは24歳の男性です。家庭の夕べを開くように勧める預言者の勧告に従ったおかげでイエス・キリストの福音への強い証を得ました。わたしは家族の中では唯一の教会員ですが、バプテスマを受けた後、家庭の夕べによって家族が強められると分かり、自分の家で始めることにしました。

今では家族全員が、月曜日は家族で集まって福音の真理を学ぶ特別な日であることを知っています。家族の問題を解決するときもあれば、家族の一人が持っている難題や必要、興味について話し合うときもあります。わたしは天の御父とほんとうに交わる方法や、愛をもって家族と話し合う方法を学びました。結果として、わたしたちはさらに一致できるようになり、それは大きな祝福となっています。

さらに、家庭の夕べによってイエス・キリストの福音の確固とした土台を築いたわたしの家族は、今は求道者として学んでいます。それで、時々専



家庭の夕べはあらゆる人のため

「〔家庭の夕べは〕両親と子供がいる家族、独り親の家族、また子供たちを育て終えた両親のためにあります。シングルアダルトのグループや、独りで住んでいる人、ルームメイトと暮らしている人々のためでもあるのです。……家庭の夕べに定期的に参加するならば、自分を含む家族一人一人を大切に思う気持ちが増し、家族の一致と隣人への愛、天の御父への信頼が培われるでしょう。」

スペンサー・W・キンボール大管長（1895 - 1985年）、N・エルドン・タナー管長（1898 - 1982年）、マリオン・G・ロムニー管長（1897 - 1988年）、*Family Home Evening: Happiness through Faith in Jesus Christ*（1976年）3

任宣教師が我が家の家庭の夕べに参加しています。

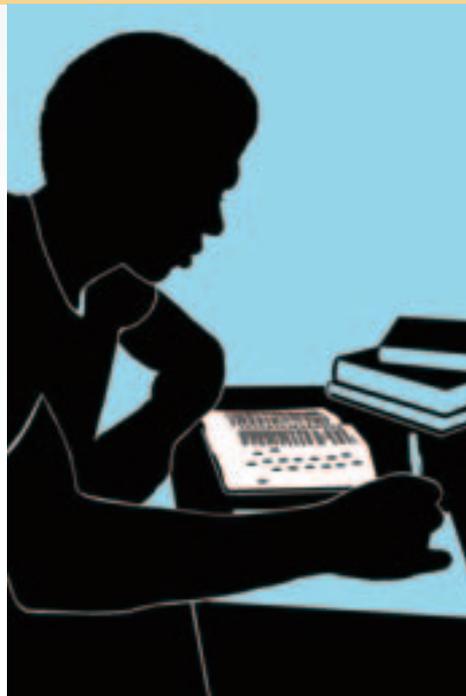
いつか結婚したとき、わたしの家族は家庭の夕べによって祝福を受けることでしょう。しかし、家庭の夕べを現在の生活でも大切にできることに感謝しています。末日聖徒イエス・キリスト教会が真実であり、家庭の夕べが神の靈感によって与えられていることを知っています。

レバニ・ブタウォ（ジンバブエ）

確立された優先事項

わたしは家庭の夕べを第一に優先する家族の下で育ちました。毎週月曜日、時間までに帰宅するために、わたしもきょうだいたちも友達と遊ぶ約束を作らずに学校からまっすぐ帰宅しました。宿題など個人で取り組むことは家庭の夕べの後に終わらせました。家族が一緒に過ごす、この特別な時間よりも優先されることは実際のところ何もありませんでした。

家族が家庭の夕べにつけた優先順位だけでなく、それを実現するために



皆で力を合わせたことで、家庭の夕べは子供時代のわたしたちに良い影響を与えてくれました。わたしたちはレッスンやリフレッシュメント、開会と閉会の祈りなどを交代で担当しました。レッスンを聞くだけでなく、教える機会もありました。そのおかげでわたしは祝福されて、福音の知識と証を

得、家族のきずなを強めることができました。

家庭の夕べはわたしの生活の習慣となったので、わたしは自分の家族を持ったときに家庭の夕べがもたらしてくれる祝福を楽しみにしています。

小部千枝子（日本）

ホームシック解消法

わたしは、兄と弟と姉とともに、両親のすばらしい模範を見ながら育ちました。両親の努力のおかげでわたしたち家族は多くの祝福を受けてきました。例えば、わたしたちは助けの必要なときや試練のときに互いに頼る仲むつまじい家族となりました。家族の中にはあまり教会に来ていない者もいますが、家庭の夕べは今でも皆が参加します。

わたしはしばらくオーストラリアのシドニーに住んでいて、アイルランドから遠く離れて暮らしていたのでホームシックになりました。幸いなことに、教会の集会所の近くに住んでいて、そこでほかのヤングアダルトと一緒に家庭の夕べに出席することができました。これは大きな祝福となりました。出席したときはホームシックの気持ちを忘れることができました。くつろいだ雰囲気と御霊がある中で会員と交流するのは最高でした。

リンダ・ライアン（アイルランド）

決して後悔しないもの

わたしは2009年5月に教会に入りました。以来、家庭の夕べに出席し続けることで得られる祝福を実感しています。ヤングシングルアダルトワードの皆と地元の集会所のホールで室内サッカーの一種「チェアサッカー」をしていたときのことをよく覚えています。このゲームは、自分のいすを守りながら、ほかの人のいすをゴムボールで攻撃します。わたしは2人の人と手を組みました。わたしたち3人が最後まで残ったため、わたしたちは即座に互いを攻め始めました。このことに腹を立てるところか、わたしたちは笑い転げました。あれほど楽しかったことは久しぶりでした。教会以外の場所であるような経験はできないと思います。ゲームに勝たなくてもだれもが楽しんでいましたが、この日が特別な経験となった理由はただ楽しかったからではありません

せん。ほんとうに忘れられない活動となったのは、友情の精神を感じたからでした。

このような時間は大学院に通っていて感じる大きなストレスを軽減する



すべての人が優先すべきこと

月曜の夜を過ごす方法は、大学のサークルや、そのほかのスポーツや娯楽活動など、いろいろあります。しかし、わたしの学生寮の住人たちは全員が末日聖徒で、家庭の夕べを開くことが大切だと考えて、第一に優先するようにしています。人生の中で、福音に添って生活することが困難に思える時期に互いを強め合うために、家庭の夕べを優先することを皆で選びました。互いに証や経験を分かち合うことで、ヤングアダルトの会員そして友達としてさらに親しくなれました。

家庭の夕べは1週間の中で、霊的な養いを必ず得られる時間です。何かについて疑問を抱きながら家庭の夕べに行き、その日のレッスンや霊的な話の中から答えを見いだしたことが何度もありました。個人的に成長するための目標を定め、目標を振り返る時間にもなっています。

家庭の夕べを継続的に開くと決意しているのに、犠牲を払っているとは思いません。自分がそこにいるべきだということ、そしてそこにいたいと思っていることを自覚しています。■

ルーク・ラスムッセン(ウエールズ)

注

1. ジョセフ・フィールディング・スミス、ハロルド・B・リー、N・エルドン・タナー、*Family Home Evenings, 1970 - 71* (1970年)、v

助けとなっています。その1週間がどのようなものであっても、家庭の夕べに行けばいつも元気が出ます。家庭の夕べの活動をいつも楽しいと感じるとは限りませんし、家庭の夕べのために時間を取りたいといつも思うわけではありません。でも、行ったことを後悔することは決してありません。

マット・アダムズ(合衆国、ネブラスカ州)



「わたしは教会でとても孤独だと感じています。どうしたら溶け込めるでしょうか。」

祈

りの気持ちをもってこの質問の答えを見つけようとするとき、次の聖句が何を教えているのか思い出してください。教会員になると、わたしたちは「もはや異国人でも宿り人でもなく、聖徒たちと同じ国籍の者」です(エペソ2:19)。これは、教会ではすべての人と親しく接するべきであることを意味しています。わたしたちは皆、愛と一致の精神で神を礼拝しようとしている神の子供なのです。

溶け込む方法を二つ紹介します。

あらゆる年代の人と知り合いになりましょう。例えば聖餐会^{せいさん}で、幼い子供を独りで育てているお母さんの隣に座ってみてはどうでしょう。そのお母さんはあなたの助けに感謝することでしょう。あるいは、ワードや支部に新しく来た会員を歓迎して、その人たちのことをよく知るようにすることもできます。12歳の子たちが若い男性や若い女性に入ってきたら、そばに座りましょう。同年代の友達がいることは楽しいことですし、さらに年代や興味の異なる人たちと知り合えば、友情を培う機会は広がります。

ワードや支部の活動に参加しましょう。一人で行くのは難しくても、参加することによって友達ができます。一人である人と一緒に座りましょう。「こんにちは」「やあ」と声をかけて、どんなことに興味を持っているのか聞いてみてください。すばらしい友情の始まりとなるかもしれません。

参加する



数か月前に自分の国を出て、姉と姉のボーイフレンドしか知っている人のいない国にきました。教会ではよそ者のように感じました。2、3か月たっても寂しい気持ちは変わりませんでした。そこで、人にほほえみかけて「元気ですか」と言おうと決心しました。毎週日曜日に実行するうちに、「元気です」以上の言葉が返ってくるようになったのです。それが弾みとなって、わたしはセミナーとミューチャルに参加し、ほかの若い女性と一緒に「成長するわたし」プログラムに取り組むようになりました。今は、教会でも家にいるのと同じように楽しく過ごしています。

バネッサ・B, 17歳 (ドミニカ共和国, ラベガ)

ほかの人たちと知り合う

数年前、わたしも同じ問題を抱えていました。そこでわたしは、皆の仲間になってほんとうの自分を見せる努力をしようと決心しました。わたしが心を開くとすぐに相手も打ち解けてくれるようになり、定員会の全員と強い友情を築くことができました。

マッコイ・S, 17歳 (アメリカ合衆国, ユタ州)

人々を助ける



あらゆる人が天の御父の子供であることを忘れないでください。だれにでもほほえみかけ、親切にするよう努力しましょう。助けましょう。同じように寂しい思いをしている人に手を差し伸べてください。人のために奉仕しているとき、寂しさではなく喜びを感じます。また、セミナーやインスティテュートに出席することは絶対に必要です。温かさや優しさを感じます。怖がらずに自分の問題や心配事を話しましょう。わたしたちは皆兄弟姉妹です。だれもが同じような問題を抱えているのです。

イゴール・P, 19歳 (ウクライナ, キエフ)

年代の違う人たちと友達になる



わたしは同年代より年下の人たちや指導者と親しくなりました。あなたも教会でそのような人たちと友達になる日が来るでしょう。たとえそうでなくても大丈夫です。いずれにせよ、あなたは教会のことを学んでいるのですから。

スザンナ・Z, 18歳 (アメリカ合衆国, カリフォルニア州)

自分から会話を始める



2年前、わたしたち家族が引っ越して最初の数週間は、教会でもミューチャルでも一人ぼっちだと感じました。

でも、新しい友達ができるように、そして新しいワードの一員だと感じることができるよう毎日祈りました。少しずつ、このワードが好きになり、良さが分かってきました。まずわたしから進んで友達を作るようにしました。会話の口火を切るのはわたしでした。クラスでは積極的に発言して、人の発言に耳を傾けました。天の御父の助けがあって、友達になるとは思わなかった人たちとも今は親しい友人です。

リア・V, 16歳 (アメリカ合衆国, コロラド州)

指導者と友達になる



わたしは何か月も教会で孤独を感じていました。集会や活動は楽しかったのですが、ほかの女の子たちとは波長が合わないように感じていたのです。そこで、それまで以上に指導者と話をするようになりました。わたしの指導者は楽しい人たちです。指導者と話すようになると、プログラムにより深くかかわっているように感じ始め、ミューチャルで友達ことができました。

キンバリー・G, 14歳 (アメリカ合衆国, アリゾナ州)

良い友達ができるように祈る

教会で活動があったときいつも「どうして友達ができないのだろうか」と自分に問いかけていました。悲しくて寂しくて、神に祈って良い友達を送っ

てくださいと願いました。簡単ではありませんでしたが、やがてたくさんのすばらしい友達ことができました。もう、女の子たちと話したり、付き合ったりすることは怖くありません。天のお父様がわたしの祈りにこたえてくださったので、一人ぼっちでないことがわかりました。

ダイアナ・I, 16歳 (アルゼンチン, コリエンテス)

親しく交わることを求める



若い女性に入った最初のころ、友達はまだ勇者のクラスにいたので、一人ぼっちだと感じました。でも、若い女性を助けよう

と頑張ると、皆もわたしを助けてくれました。新しい友達もできてつきあうことができるようになりました。もう一人で寂しいと感じなくなりうれしく思いました。今わたしはビーハイブの会長です。新しく入って来て居心地の悪そうな様子の姉妹を見かけたら、クラスで何をするのか説明し、若

い女性の一員であると感じてもらえるようにしています。

グレディ・G, 14歳 (ペルー, リマ)



愛と奉仕の精神で与える

「神の王国において、孤独感、本人が自分自身に課したものである場合がよくあります。

わたしたちは、皆さん一人一人が『ワードという家族』あるいは『支部という家族』の中に溶け込み、それぞれの賜物や才能を生かして、すべての兄弟姉妹の生活に良い影響を及ぼす必要があるということを感じるように願っています。もしわたしたちに、愛と奉仕の精神をもって自分自身をささげる気持ちがあるなら、ワードや支部の中で愛を示したり、温かな手を差し伸べたりする機会は数限りなくあります。」

十二使徒定員会 ロバート・D・ヘイルズ長老
「ワードという家族の一員となる」
「リアホナ」1999年3月号, 12参照

次回の質問

「わたしの両親は離婚しました。時々、二人からそれぞれ相反する助言を受けることがあるのですが、どうしたらよいでしょうか。」

あなたの意見を聞かせてください。2011年3月15日必着で下記まで郵送か電子メールでお送りください。

あて先——
Liahona, Questions & Answers 3/11
50 E. North Temple St., Rm. 2420
Salt Lake City, UT 84150-0024, USA
電子メールアドレス—— liahona@ldschurch.org

掲載される際、誌面の都合上、あるいは明瞭な表現にするために編集されることがあります。

電子メールまたは手紙には、次の情報と同意文を必ず同封してください。(1)氏名、(2)生年月日、(3)ワードまたは支部、(4)ステークまたは地方部、(5)意見と写真の掲載を許可する、あなたの署名(18歳未満の場合は保護者の署名も必要です)。同意文はメールでも受け付けます。

そのメッセージは良い味が しました

特に神を探し求めていたわけではありませんでしたが、二人の若い男性にメッセージを伝えたいと言われ、話を聞くことにしました。

アンソニー・X・ディアス

わたしはある教会で幼児洗礼を受けましたが、子供時代は別の教会に行ったり行かなかったりで、宗教が大切な存在であったことは一度もありませんでした。大きくなるにつれて何度も引っ越しを繰り返すうちに、わたしたち家族は礼拝行事に行かなくなっていました。神を信じていましたが、神や宗教についてあまり考えることはありませんでした。

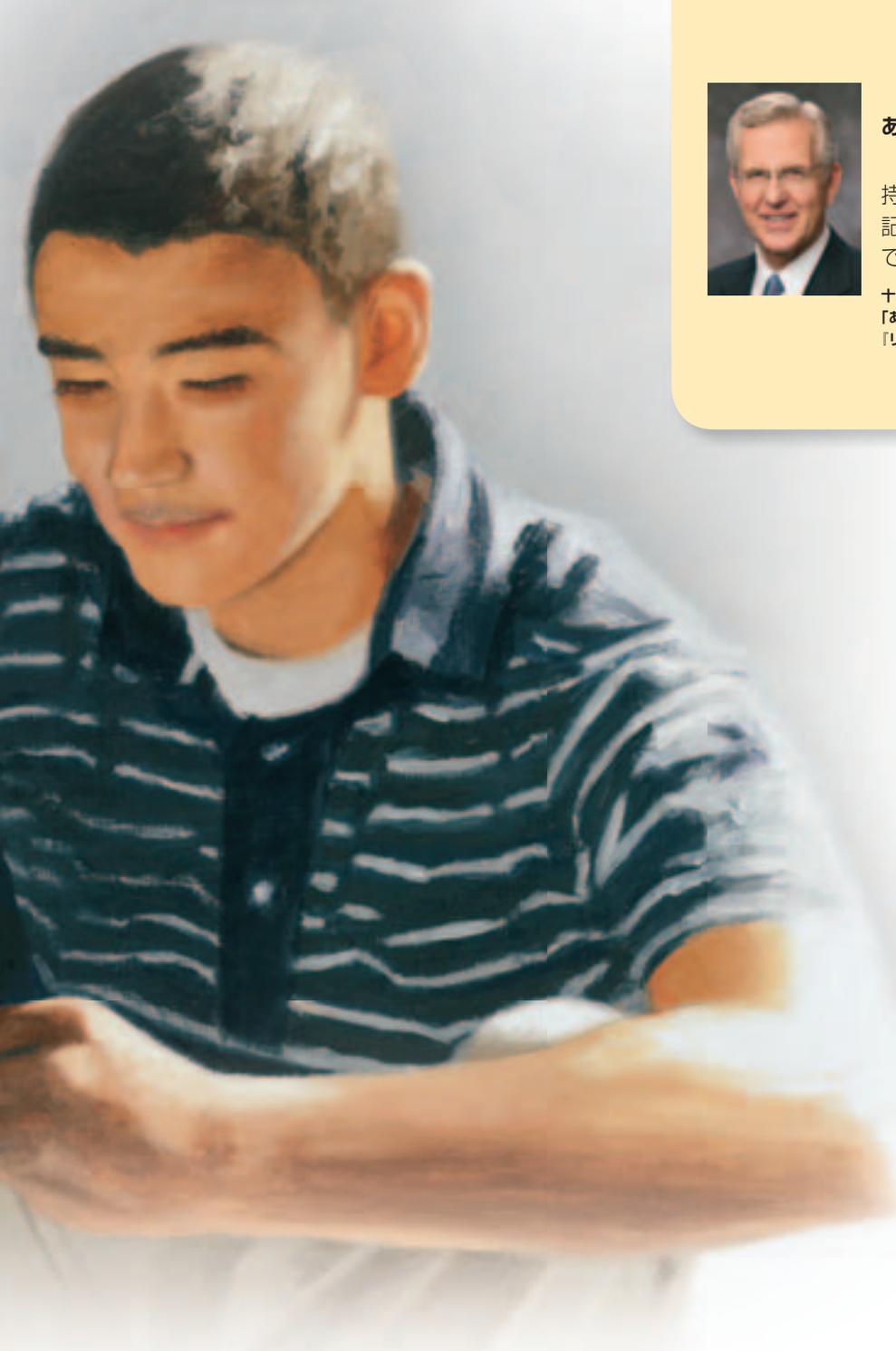
すべてが変わったのは2006年、14歳のときです。おじのビリーが亡くなったのです。まだ30代半ばでした。おじの早すぎる死に、自分がどれほどおじを愛していたかを知り、心に疑問がわいてくるようになりました。おじは死んでどこへ行ったのだろうか。おじはこれからも生き続け、将来があるのだろうか。後に残された子供たちや家族はどうなるのだろうか。おじの人生の意味は何だったのだろうか。わたしの人生の意味は何だろうか。

数か月間、そのようなことをずっと考えていました。2007年9月のある日の夕方、故郷のアメリカ合衆国マサチューセッツ州ハイバーヒルで、母と3人の弟妹た

アルマ書第32章から、信仰の種が育って良い味がすることについて読んだときのことを覚えています(28節参照)。その描写は、わたしにとってモルモン書がどのようなものであるかを的確に言い表していました。

ちと総菜店を出ようとしていたときです。ベンチに腰を下ろそうと足を止めたとき、黒いスーツにワイシャツを着てネクタイをつけた二人の若い男性がわたしたちに近づき、一人が言いました。「知り合いでもない二人と話をするのは少し気まずいかもしれませんが、メッセージをお伝えしてもよろしいでしょうか。」

わたしたちは申し出を受け入れました。二人が宗教について話そうとしていることは分かりました。わたしが感銘を受けたのは、彼らがただカードかパンフレットを手渡してそのまま立ち去るのではなく、純粹にわたしたちに関心を持ち、自分たちのメッセージに胸を弾ませている様子だったことです。話し終わると彼らは、わたしたち



あなたの改心

「古今の主の預言者の言葉から心に良い気持ちを感じるにつれて、福音が皆さんの心に記され、心が改まっていることが実感できるでしょう。」

十二使徒定員会 D・トッド・クリストファーソン長老
「あなたが改心したときには」
『リアホナ』2004年5月号, 11

人生の目的に関する質問への答えでした。長老たちはモルモン書も伝えてくれました。アルマ書第32章から、信仰の種が育って良い味がすることについて読んだときのことを覚えています(28節参照)。その描写は、わたしにとってモルモン書がどのようなものであるかを的確に言い表していました。わたしがそのとき読んでいたことと宣教師が教えていることが真実であると分かり、正しいと感じ、良い気持ちになりました。

自分の部屋にこもって何時間もモルモン書を読んでいたころのわたしを、母は「ヤドカリさん」と言ってからかいました。わたしが感じていたものが聖霊であることはそのときは分かりませんが、これが正しい道であると感じていました。

宣教師はわたしにバプテスマを受けるよう勧め、その決意について祈るように勧めました。末日聖徒イエスキリスト教会に入ることが自分のすべきことかどうかを知るために祈ったとき、衝撃を感じるほどとてもはっきりした答えを受けました。受けた指示は「迷わずバプテスマを受けなさい」という明白なものでした。

バプテスマを受けた日のことを鮮明に覚えています。2007年12月15日でした。ケルセー長老と冷たい水の中に立ち、長老が腕を直角に上げると、わたしは御霊に満たされました。

家族を訪ねてもいいかと聞きました。母は承諾し日時を決めました。そのことでわたしの人生に大きな変化が起きたのですから、母には感謝しています。

わたしたちは福音を学び始めました。しばらくすると母は別のことで忙しくなり、宣教師の話が続けて聞くことができなくなりましたが、わたしは続けました。

ケルセー長老とハンコック長老とはすぐに打ち解けました。二人がわたしよりそれほど年上でなかったことが理由の一つでしょう。わたしは二人に対して愛を感じ、また彼らからも大きな愛を感じました。間もなく、同じ愛をワードの会員からもステークの青少年からも感じました。

宣教師はわたしに救いの計画を教えました。それはおじやわたし自身の

全身が御霊に乗っ取られてしまったようでした。満面の笑みと言ってもいいくらいでしたが、それぐらいではわたしの気持ちを言い表すことはとてもできません。

バプテスマの後もずっと御霊を感じていました。清められたと感じ、罪が赦されたことを知りました。確かにこれがわたしの取るべき道であったという、天の御父の承認を受けたと感じました。

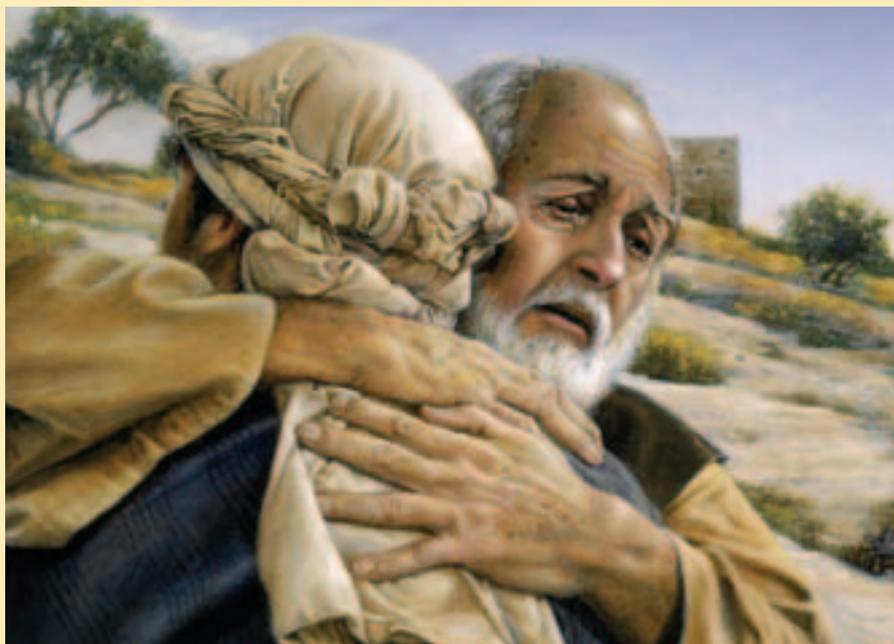
時折小さな疑問が頭をよぎりますが、そのようなときにはバプテスマのときの気持ちを思い出すようにしています。どのような疑いが生じたとしても、そのときの気持ちを思い出すことで追い払うことができます。

もう一度バプテスマの水に入って、そのときと同じ強い気持ちを感じることはだれにもできませんが、悔い改めと聖餐を通して聖約を新たにすると、その気持ちを思い出すことができます。悔い改める度にわたしは清められ、愛されているという気持ちを取り戻すことができます。

その愛を感じると、「神の愛に満たされた人は、自分の家族に祝福を与えるだけでは満足せず、全人類に祝福を与えたいと望み、全世界を巡ります」¹と教えたジョセフ・スミスと同じ思いになります。人の価値を知っているため、わたしが住んでいるこの地区で宣教師と伝道する機会に心が躍ります。そして、いつの日か専任宣教師となって、イエス・キリストの福音のおかげでわたしがどんなに幸せになったかを話す日が来るのを楽しみにしています。■

注

1.『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』330



福音に従って生活し続ける

アンソニーは教会員になったときの力強い霊的な経験に感謝していますが、一つの大きな経験がもたらした光に頼り続けることはできないことを知っています。「証を燃やし続けなければなりません。そして、わたしたちはその方法を知っています。聖文を読む、教会に行く、そういったことです」と彼は言います。

アンソニーは、これらのことを絶えず行っているときとそうでないときに違いを感じると言います。そして、いつも「新鮮」な気持ちで福音に生きるための規範を見つけました。

「放蕩息子^{ほうとうしこ}の話^{わたりごころ}を福音の原則クラスで学んだときのことを思い出します（ルカ 15：11－32 参照）。父親のもとを去った若い息子について読んでみると、『あの息子はわたしのことだったかもしれない』と思いました。わたしもあの息子のように天の御父のみもとに帰ることができると、御霊^{みたま}がわたしに強く証してくれました。天の御父が『あなたを愛していますよ』とくださっているようで、バプテスマの日に感じた力強い気持ちがしました。」

アンソニーはまた、祈っているときや聖文を研究するときに自分の心に問うことの大切さを知りました。彼は言います。「聖文を読んでいるとき、そのとき考えていることや疑問に思っていること^{こと}の答えを探します。読んでいる聖文から何を学んでほしいと思っておられるかを天の御父に尋ねるのです。教会に行ったときも同じことをしています。」

自分が行うべき具体的なことや、学んでいる事柄にどのような意味があるのだろうかと問うとき、もっと容易に聖霊の導きを感じることができ、わたしは天の御父がそばにいてくださり、いつもわたしたちに答えてくださることを知っています。」

正直に

じゅうぶん

什分の一を納め、 大きな祝福を 得る

オスカル・アルフレード・ベナビデス

もうすぐ17歳になろうというころ、末日聖徒イエス・キリスト教会のバプテスマを受けたわたしは、伝道に出て主に仕えたいと思っていました。数年後に届いた伝道の召しは、ペルーを離れて、回復された福音を宣べ伝えるためにソルトレーク・シティーに行くようにというものでした。

しかし、宣教師に与えられるすばらしい祝福について考えているときでさえ、いろいろな書類、パスポート、ビザ、着る物、そしてもちろんお金など、これから必要になる多くのことが心にのしかかっていました。働いてはいましたが収入は十分ではなく、絶望的な気持ちでした。伝道に出るまであと1か月半しかなかったのです。必要な額には程遠い金額しか手もとにないことが分かりました。ただ主に祈ることしかできませんでした。

わたしは収入が低いため、毎月納めていた什分の一もほんのわずかでした。しかし、主が気かけられるのは金額が多いか少ないかではなく、わたしたちが主のお求めになる10パーセントを納めることであるとすぐに理解できました。続けて什分の一を納めていれば、主は必要なものを備えてくださると確信して、安心できました。

すべてがうまくいき始めました。新たに二つの仕事が見つかり、必要な書類も整いました。ワードのたくさんの会員、特に扶助協会の姉妹たちが必要なものを用意するのを手伝ってくれました。ステーキの会員も援助を申し出てくれました。必要なものを持ってわたしは伝道に行きました。

専任宣教師としてわたしは、什分の一の律法と約束(マラキ3:10 参照)を感謝の気持ちと証を込めて教えました。■



「あなたがたの天の父は、これらのものが、ことごとくあなたがたに必要であることをご存じである。まず神の国と神の義とを求めなさい。そうすれば、これらのものは、すべて添えて与えられるであろう。」(マタイ6:32-33)

あなたの友人は あなたをどこに 連れて行くでしょうか

ジョン・バイザウエイ

次のような経験をしたことがありますか。教会で座って話者の話を聞いていると、突然、天井から大きな物音が聞こえてきます。そして驚いたことに、天井が外されてまぶしい青空が現れ、4人の男性が下にいる会衆をじっと見詰めています。その後、彼らは別の男性を載せた担架を礼拝堂の床に降ろしてきます。

そのような場面に遭遇したことがありますか。恐らくないでしょう。でも、救い主が教え導いておられたとき、似たような出来事があったのです。

奇跡的な癒し

「ある人々が、ひとりの中風をわずらっている人を床にのせたまま連れてきて」と、物語はルカによる福音書第5章18節で始まります。彼らは友人を「家の中に運び入れ、イエスの前に置こうと」しました。ただ一つ困ったことに、家は人でいっぱい、病気の友人を運び入れることができません。戸口も群衆にふさがれて、中に入りようがありませんでした。

この時点で、友人たちはあきらめて

家に帰ることもできたでしょう。でも彼らはあきらめませんでした。このような会話が聞こえてきそうです。「どうでしょうか」と一人が言うと、「いい考えがある」と別の一人が言います。「建物に上って、屋根に穴を開け、彼を床に降ろそう。」この尋常ではない計画を聞いて、病気の男性がこう言うのも聞こえてきそうです。「え、何をするって?」

物語は続きます。

「[[彼らは]屋根にのほり、瓦をはいで、病人を床ごと群衆のまん中につりおろして、イエスの前においた。

イエスは彼らの信仰を見て、『人よ、あなたの罪はゆるされた』と言われた。』(ルカ5:19-20)

律法学者とパリサイ人たちは、これは神への冒瀆だと思いました。そこでイエスは言われました。

「『あなたの罪はゆるされたと言うのと、起きて歩けと言うのと、どちらがたやすいか。

しかし、人の子は地上で罪をゆるす権威を持っていることが、あなたがたにわかるために』と彼らに対して言い、中風の者にむかって、『あなたに命



人をキリストのもとに連れて行く
ような友人になりましょう。

じる。起きよ、床を取り上げて家に帰れ』と言われた。」(ルカ5:23-24)

そして物語はすばらしい結末で終わります。

「すると病人は即座にみんなの前で起きあがり、寝ていた床を取りあげて、

「屋根がらつり降ろしてイエスの前に置かれた、中風を患った人、フランク・アダムス画、教団歴史博物館の厚意により掲載



は肉体的ではなく霊的に弱っているとします。そのようなあなたを友人たちはどこに連れて行くでしょうか。恐らく、パーティーや映画や、そのほかの活動があるでしょうが、あなたにはほとんど決定権がないとしたら、彼らはあなたをどこに連れて行くでしょうか。この物語はすばらしい教訓を与えてくれています。つまり、この先わたしたちは、本来の強さを発揮できない時が来るかもしれません。そのとき、どのような友人を選んでいるかがきわめて重要になるということです。ですから、あなたをキリストのもとに連れて行ってくれる友人を選んでください。いつもあなたを高いところに連れて行ってくれる友人がいることは、計り知れない祝福です。

あなたはどんな友人でしょうか

この聖文にはもう一つの見方があります。自分を友人たちの立場に置き換えてみましょう。あなたはどんな友人でしょうか。男性を癒し、救されたのは救い主^{ゆる}でした。しかし、友人たちもまた称賛に値する人々です。彼らは自分の友人を愛し、助けたいと思いました。難しい状況でもあきらめず、そのまま家に帰るようなことはしませんでした。男性が床を取り上げて歩くのを天井の穴から見たときに友人たちが感じた喜びを想像してみてください。それがもう一つの教訓です。すなわち、人をキリストのもとに連れて行くような友人になるということです。この友人たちは勇敢で、粘り強く、独創的でさえありました。あなたはすべての言葉、すべての行い、すべての選択によって、肉体的にも霊的にも癒すことのおできになる救い主のもとに人を導くことができるのです。■

神をあがめながら家に帰って行った。

みんなの者は驚嘆してしまった。そして神をあがめ、おそれに満たされて、『きょうは驚くべきことを見た』と言った。』(ルカ 5:25 - 26)

霊的に弱っているとき

恐らくこのような出来事を目撃したことはないでしょうが、この物語は様々な形であなたの生活に当てはめることができます。自分をあの病気の男性だと考えてみてください。あなた



七十人
カルロス・A・
ゴドイ長老



福音は すべての人のためのもの

真の幸福はどこから来るのだろうかをよく考えていました。
その答えは「大きな箱」の中にありました。

ブラジルのポルトアレグレに住んでいた16歳のころ、兄の友人がよく家にやって来ました。ある日この友人が、ある教会と出会ったことと、その教会の会員たちの生き方に好感を抱いていることを話してくれました。

彼は末日聖徒イエス・キリスト教会に入った経験について少し話してくれましたが、兄とわたしが「教会に向いている」かは分からないと思っていたようです。教会の標準は高すぎて兄とわたしには受け入れられないだろうと考えていたようです。

妹は善良で親切な女性でした。そのような特質の持ち主であったため、妹なら末日聖徒が守っている事柄に興味を持つかもしれないと思い、友人は妹と一緒に教会の活動に出席してもよいかと母に尋ねました。

母は兄かわたしも行くという条件付きで同意しました。「ぼくは行かないよ」と兄に先に言われてしまい、わたしが妹と一緒に活動に行くことになりました。

わたしは別にかまいませんでした。学校の向かいにある大きな四角い教会堂を初めて見たときから、教会に興味を持っていたのです。よく教会に人々が入り出しているのを見ていましたし、男性はワイシャツを着て、ネクタイを締めて



兄の友人は兄とわたし(上)が「教会に向いている」かは分からないと思っていました。でもわたしは興味を持っていました。

いることにも気づいていました。当時は「大きな箱」と思っていたその建物の中で、一体どんなことが行われているのだろうと思っていました。

初めての活動

妹とわたしは友人と一緒に教会に着きました。中に入ると、大きなホールの真ん中に何人かの人がありました。2人の姉妹宣教師と、そのほかに恐らく6人くらいです。簡単なゲームをし、ポップコーンを食べ、ジュースを飲んでいました。みんな笑っていて、楽しい時間を過ごしていました。

「この人たちはだれなのだろう」とわたしは思いました。「どうしてこんなに幸せそうなのだろう。」それが彼らのしているゲームや物理的環境と一緒に食べているおやつのためでないことは分かりました。どれも非常に簡素なものだったからです。その幸福は彼らの内側からもたらされているようでした。

それまでも、真の幸福はどこからやって来て、それを見いだすために何ができるだろうかと思うことがよくありました。きっと胸が躍るような活動をしたり、外国で休暇を過ごしたり、この世で手にできるあらゆるものを追い求めることに

よって、得られるのだらうと思っていました。ところがこの集会所に来てみると、この人たちはわたしが追い求めていたようなものは何一つ持っていないけれどもとても幸せそうなのです。わたしは深い感銘を受けました。

活動の後、宣教師たちが出口に立って全員と握手しました。妹がドアの所に来ると、宣教師たちは教会についてもっと知りたくないかと妹に尋ねました。妹は「いいえ、けっこうです」と答えました。でもわたしは依然として興味がありました。「信じようとする望み」を感じたので(アルマ 32:27)、福音についてもっと学ぶように宣教師から勧められたとき、「はい」と言いました。

両親は宣教師の話にも、家で話してもらうことにも興味がなかったので、わたしは集会所で話を聞くことにしました。それから1か月間、わたしは回復されたイエス・キリストの福音について、すなわち、あのホールにいた人たちをあれほど幸福にしていたものについて学びました。幸福は主の御心みこころを行うことによってもたらされること、心の内からもたらされること、そして周りで何が起こっようと幸福でいられることを学びました。その教義は「わたしに良い気持ちを与えて」くれました(アルマ 32:28)。わたしはそのような教えに従って生活したいと思いました。

あの初めての活動から1か月後、わたしは教会に入る決意をしました。そして数年後には、両親も教会に入りました。

バプテスマ後の試練

バプテスマを受けた後、幾つもの困難に直面しました。生活を大きく変える必要がありました。それに加えて、教会に友達がいなくて感じて、以前の友達のところに戻りたいと思うことができました。



1982年にブラジルで宣教師として働いていた当時のゴドイ長老。

自分自身やほかの人々が改宗したときの経験を通して、御霊はどこにいるだれの心にでも触れることができるのだということ学びました。教会員になる見込みがあるのはこんな人だという理想的な人物像などないことを学びました。だれもがイエス・キリストの福音を必要としています。



福音の喜びを伝える勧め

「アロン神権の若い男性の皆さんと長老になる若い男性の皆さんに、預言者たちが長年教えてきたことを繰り返します。ふさわしく、能力があるすべての若い男性は伝道に出る準備をするべきです。宣教師として奉仕することは神権の義務です。非常に多くのものを受けているわたしたちに、主が望んでおられる務めなのです。」

トーマス・S・モンソン大管長
「再びともに集い」
「リアホナ」および Ensign,
2010年11月号, 5-6

でも喜びを感じたいと望み、周りの状況にかかわらず幸福でいることができると知っていたおかげで、教会に行き続けることができました。「自分の信仰を捨て[る]」ことなどできないと分かっていた(アルマ 32:36)。やがて教会の中に、この移行の時期を助けてくれる友人ができました。そして福音に従った生活を続けるにつれて、証あかしと幸福が増していきました(アルマ 32:37 参照)。

自分自身やほかの人々が改宗したときの経験を通して、御霊はどこにいるだれの心にも触れることができるのだということ学びました。教会員になる見込みがあるのはこんな人だという理想的な人物像などないことを学びました。だれもがイエス・キリストの福音を必要としています。だれもがもっと主のようになる道の途中にいるのです。

そのことを理解したことが、ブラジル・サンパウロで宣教師として働いたときやブラジル・バレムで伝道部会長を務めたとき、そして一人の教会員としても助けとなりました。また、妻と一緒に子供たちを伝道の務めに備えさせるうでも助けとなりました。二人の子供がすでに専任宣教師として働きましたが、出発する前に、わたしは彼らに人を外見や生活様式で判断しないように言いました。「変わった人だからという理由でその人を見限ってはいけません」とわたしは彼らに言いました。「内面を見るようにしなさい。そこにもう一人のカルロスがいるかもしれないからだ。」

わたしたちは皆、神の子供であり、イエス・キリストの福音に従って生活することでもたらされる喜びを得る可能性は、ごくわずかな限られた人ではなくすべての人に開かれているのです。わたしはそのことを知っていることに感謝します。■

永遠を 映してみましよう



教義と聖約 131:1-4 ; 132:1-20 参照

わたしがだれの目にも

映らなくなったとき



匿名

ホ

テルの部屋に着いた途端、電話が鳴りました。わたしにはそれが生後9か月の妹ジョディについての悪い知らせだと分かりました。ジョディは生まれてからずっとこん睡状態が続いていて、24時間目を離さずに看護している必要があり、特別なチューブを用いて栄養を送らなければなりません。わたしたち家族は休息を必要としていたので、一時的にジョディを看護施設に預けていました。

わたしが電話に出ました。祖父からでした。祖父は毅然とした声で言いました。「お父さんに代わっておくれ。」

二人の会話はすぐに終わりました。わたしが恐れたとおりでした。ジョ



ないな」と思いました。葬儀の準備のため学校に行かないことを、きっと知っていたのでしょう。でもその次の日も、さらにその次の日も来てくれませんでした。学校の帰りも待っていてくれませんでした。

その間、家族は扶助協会やワードのほかの会員からたくさんの支援を受けました。でも鳥の煮込み料理は13歳のわたしの心の痛みをほとんど和らげてはくれませんでした。ミュウチャルに再び参加し始めると、アドバイザーが死後の生活についてレッスンをしました。わたしは泣きだしました。アドバイザーは下を向いて読み続けました。クラスメートは前を見詰めています。わたしは泣きじゃくりました。だれかが一緒に泣いてくれたらいいのに、どれほど思ったことでしょうか。

これらの出来事を振り返って痛切に感じるのは、友人たちは冷酷で思い

たことを受け止めようとしています。友情まで失わせることのないようにしてください。いつもどおりのことを行うことで、元気づけられます。

死後の生活について説教する必要がありとを感じる必要はない。そのようなレッスンが行われるときには、アルマの勧告に従ってください。「悲しむ者とともに悲しみ、慰めの要る者を慰め〔なさい。〕」(モーサヤ18:9)愛する人と再び会えることを、あなたの友人は恐らくすでに知っているでしょう。もし知らなければ、友人が自分の思いや心配事を口にすると、自然にそのような話題になるでしょう。そのときこそ救いの計画についてあなたの証^{あかし}を述べてください。

妹の死から1年後、友人の母親が亡くなりました。わたしは途方もない悲しみを覚え、「次に彼女に会ったら、どんなに気の毒に思っているかを伝えよう」と思いました。そして、自

デイが亡くなったのです。

翌日、家に着くと、わたしはほっとため息をつきました。スクールバスが坂の上に止まっています。友人たちがもうすぐやって来るはず。ようやく自分と同年代の人と痛みを分かち合うことができるのです。

ところが、家の前で友人たちを待って立っていると、奇妙なことが起こりました。わたしはまるで、だれの目にも映らなくなってしまったかのようでした。わたしは友人たちが道の反対側に渡り、おしゃべりをしているのをじっと見ていました。でも友人たちはわたしのことを見向きもしませんでした。

翌朝、友人たちはいつものように迎えに来てくれませんでした。「無理も

やりがなかったわけではないということです。痛みを抱えているわたしにどのように接すればよいか分からなかっただけなのです。悲しみの中で独りにしておいてほしいだろう、また、家族を失ったばかりなので楽しいことはしたくないだろうと思っていたのです。

以下は、わたしの友人たちやアドバイザーに知っておいてほしかったことです。

そばにいてあげる。短い手紙や花を届けてください。でも、何よりも、あなた自身を届けてください。肩を抱いて、気にかけていることを伝えてあげてください。そしてぜひ、故人との対面や葬儀に行ってください。

普段行っていることを一緒にする。あなたの友人はすでに愛する人を失っ

分自身の経験を思い起こし、友人がまさにそのとき、わたしを必要とすることが分かりました。でも彼女の家に向かって歩きながら、不安になりました。もしわたしに会いたくなかったらどうしよう。家族の人たちが遠慮してほしいと思うかもしれない。今は待って、後で話すべきだろうか。でも友人が玄関に出て来たとき、わたしが来たことを喜んでくれているのが分かりました。友人の父親と年上のきょうだいたちは葬儀の準備で忙しくしていました。わたしたちは散歩に出かけました。何を言えばよいか心配する必要はありませんでした。ほとんど友人の方から話してくれたからです。■

よく似た二人のしまい

教会機関誌

アダム・C・オルソン

ペルーのクスコに住むマリリア・Pとニコル・Pのしまいは、18か月しか年がはなれていません。そのような年の近いしまいがたいいそうであるように、彼女たちにも多くの共通点があります。二人とも魚をレモン汁やライム汁につけこんだセビーチェというペルー料理が大好きです。また、二人とも聖文の中でいちばん好きな物語はリーハイの夢の話です。そして「わが主よ、わが神」の賛美歌が二人とも大好きです。たとえそれが賛美歌にのっている唯一の歌だとしても、二人はあきることなく喜んで何度もその歌を歌うでしょう。



マリリアの好きなもの

- 好きな食べ物——セビーチェ
- 好きな聖句——リーハイの夢（1ニーファイ8章を見ましょう）
- 好きな賛美歌——「わが主よ、わが神」（「賛美歌」44番）
- 好きな科目——理科
- 趣味——歌、ダンス、自転車に乗ること



ニコルの好きなもの

- 好きな食べ物——セビーチェ
- 好きな聖句——リーハイの夢（1ニーファイ8章を見ましょう）
- 好きな賛美歌——「わが主よ、わが神」（「賛美歌」44番）
- 好きな科目——算数
- 趣味——バレーボール

いのりについてのあかし

二人とも天のお父様がいのりにこたえてくださるという強いあかしを持っています。

「わたしはこの教会が真実の教会だと知っています。おいのりすると、天のお父様がこたえてくださるからです」と10才のニコルは言います。「助けを求めると、天のお父様は助けてくださいます。」

ニコルは友達が重い病気にかかったときの話を話してくれました。医者は病気をどう治療すればいいかわからなかったため、その友達をペルーの首都リマに飛行機で連れて行くことにしました。「その子はわたしの親友だったので、リマに行ってもほしくありませんでした」とニコルは言います。「わたしは天のお父様に友達を祝福して下さるようにお願いしました。天のお父様はわたしのおいのりを聞いてくださり、友達の病気が治りました。」

11才のマリリアは、リーハイの夢の話で好きなところは、リーハイが暗やみの中一人でいることに気づいたときにおいのりし、「主がこたえてくださった」ところだと言います。

「わたしはこの教会が真実の教会だと知っています。おいのりしたときに心にそう感じたからです」とマリリアは言います。「神様はわたしのいのりを聞いてくださり、お祈りをするときにはそれに

絵/デニス・カピ | 写真/アダム・C・オルソン

こたえてくださいます。」

二人がリーハイのその話を好きなら、
一つ一つの理由は、ニーファイとサムが
従順だったことです。

ちがいを生かして家族を助ける

二人には似ているところがたくさん
ありますが、ちがったところもあります。
学校の勉強では、マリリアは理科が好き
ですが、ニコルは算数の方が好きです。
マリリアはダンスや歌、自転車に乗る
こと好きですが、ニコルはバレーボ
ールや動物が好きです。

マリリアは料理に興味があって、テ
レビの料理番組を見るのが好きです。

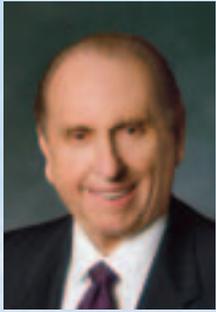


クスコは海拔約1万1,000フィート(3,400メー
トル)に位置する、世界で最も高い場所にある都市の一つ
です。クスコにはおよそ900年の歴史があり、アメリカ
大陸の中でも最も古くからある都市の一つです。

ニコルはほかの人に奉仕するために時
間を使い、人をすぐにゆるしてあげます。
二人は自分の特質や才能を使って
家族を助けています。

マリリアとニコルは、お母さん、お父
さんと二人の妹、そして一人の弟と一
緒にアンデス山脈の高地に住んでい
ます。家族への愛は、二人がともに持
ち合わせている最も大切なものの一
つです。そしてニーファイとサムが二人
とも従順になって家族を助けたいと
おもっていたように、マリリアとニコルは
自分たちの似ているところとちがって
いるところの両方が家族にとって祝
福となるように願っています。■





トーマス・S・
モンソン大管長

あなたをかかえて行くわ!

ある朝、車で仕事に向かう途中、次のような看板がかかっているのに気づきました。「価値ある奉仕をご提供します。」その言葉がわたしの頭からはなれませんでした。実際のところ価値ある奉仕とは、まさに主の奉仕なのです。

何年も前に、わたしはジェイミー・パーマーという美しい12才の少女を祝福する機会がありました。ジェイミーはがんと診断され、がんにおかされた足を治療するために、手術を何度も受けなければならないことを知らされました。ジェイミーの若い女性のクラスでは、険しい道に行くハイキングを前々から計画していましたが、それに参加することなど不可能だとジェイミーは思いました。

ジェイミーは友達に、自分を置いてハイキングに行くように言いました。きっと、心の中では落ちこんでいたことでしょう。

しかし若い女性の仲間たちは言いました。「だめよ、ジェイミー。あなたも一緒に行くのよ。」

「でも、わたしは歩けないのよ。」ジェイミーはそう返しました。

「じゃあ、わたしたちが頂上まであなたをかかえて行くわ。」そして若い女性たちは、その言葉どおりにしたのです。

そのすばらしい若い女性たちは、あの日を決して忘れないでしょう。あの日、愛にあふれた天のお父様は、彼女たちを見て、ほほえみながらうなずき、喜んでおられたはずです。

モルモン書の中で、わたしたちは高潔なベニヤミン王について読むことができます。ベニヤミン王は、はっきりとこう言いました。「そして見よ、わたしがこれらのことを語るのには、あなたがたに知恵を得させるため

である。すなわち、あなたがたがはらからのために務めるのは、とりもなおさず、あなたがたの神のために務めるのであるということをとらせるためである。」(モーサヤ2:17)

これこそ価値ある奉仕です。わたしたちはみんなこのような奉仕、すなわち主イエス・キリストの奉仕を行うようにめがけています。■

2006年10月の総大会での
説教から



わたしたちも奉仕しました

子供たちがほかの人のためにどうやって奉仕したかを見てみましょう。

裁縫をして奉仕する

アメリカ合衆国オクラホマ州に住む9才のサラは去年ハイチで起きた地震のことを聞いたとき、家を失ってしまった女の子たちのことを考えました。サラは誕生日にミシンをもらったばかりだったので、女の子たちのために簡単なスカートを作ることにしました。間ちがってぬってしまっただ糸をぬくのは、とてもにんたいがいる作業でした。しかしサラはすぐに18着の新しいスカートを作り上げました。そしてそれをハイチの女の子たちのために教会人道センターに送りました。



リュックサックで奉仕する

アメリカ合衆国オレゴン州に住む9才のアレックスと6才のノアは、学用品を必要としている子供たちのために15個のリュックサックに学用品をつめました。二人は協力してくれる友達や家族から募金してもらいました。「リュックサック募金をしているとき、心の中でいい気持ちがありました」とアレックスは言います。



自分から進んで行く

アメリカ合衆国カリフォルニア州に住むリッキーの支部ではピアノをひける人が必要でした。リッキーはまだ9才でしたが、自分から進んでピアノをひこうと思いました。ピアノは5年間習っていましたが、難しくてひけない賛美歌もいくつかありました。今では毎週、聖餐会で賛美歌を選んでひいています。「緊張しましたが、支部のために奉仕することは大切なことだと知っていました」とリッキーは言います。「賛美歌をひいているとおだやかな気持ちになります。」



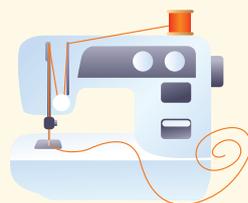
せっけんのためのクッキー

アメリカ合衆国ユタ州に住む7才のエリアナは、地域のステーキが地震の被害者に送る衛生キットのために300個のせっけんを必要としていることを聞きました。エリアナはお母さんと一緒にクッキーをたくさん作って、せっけんと交換してもらおう、そのクッキーを売ってせっけんを買うことにしました。近所の人たちはそれぞれ少なくとも12個のクッキーを注文してくれました。その結果、クーポンを使って172個のせっけんを買うことができました。「天のお父様は、わたしたちが自分の役割を果たしたいという望みを見ただけのように、わたしと家族を祝福して下さったことをわたしは知っています」とエリアナは言います。



絵合わせゲームで遊ぼう

子供たちの写真と、話の中に出てきたものに関する絵を線で結びましょう。話によっては、二つ以上の絵が当てはまることもあります。



あなたの意見を聞かせてください

だれか困っている人を助けるいい方法を見つけたら、それについてぜひ聞かせてください。3ページにあなたの意見を送る方法があるので、それを見てください。

このレッスンと かつどうを つかって、
しよとうきょうかいの 今月の テーマについて
もっと 学ぶことができます。

せいぶんは 天のおん父の 計画について 教えています

「見よ、人の ふしふめつと えいえんの いのちを もたらすこと、
これが わたしの わざであり、わたしの えいこうである。」(モーセ1:39)

アナ・マリア・コバーン、
クリスティーナ・フランコ



今まで行ったことのない町に行くときや、りょうするときは地図をたよりにして行きます。地図はわたしたちをみちびき、まよわないようにたすけてくれます。

天のお父さまはわたしたちの人生をみちびくために「地図」をよういしてくださいました。この「地図」とはせいぶんのことです。せいぶんはしんせいなもので、わたしたちがなぜちきゅうにいるのか、そしてどのように天のお父さまのところへもどるかについて知ることができるようにたすけてくれます。

わたしたち一人一人は天のお父さまのむすこ、むすめであり、わた

したちは生まれる前に天のお父さまと いっしょに くらしていたと、せいぶんに書いてあります。天のお父さまはわたしたちがすむためのちきゅうをつくってくださいました。そしてわたしたちのすくいぬしである イエス・キリストをちきゅうにおくってくださいました。イエス・キリストはわたしたちのためになくなり、わたしたちが間ちがったことをしたときや、かなしいとき、さみしいときにたすけてくださいます。

天のお父さまはわたしたちがイエス・キリストのようになれるようにいましめをあたえてくださいました。かみさまの計画にしたがうために、わたしたちは間ちがったことをしたときに くいあらためをし、バ

プテスマをうけ、わたしたちを毎日みちびいてくださる せいれいの たまものをうけなければなりません。天のお父さまの計画はしあわせの計画です。天のお父さまはわたしたちがかぞくと いっしょにご自分のところへもどり、ご自分とご自分のむすこである イエス・キリストと いっしょに くらすことをのぞんでおられます。

かつどう

65 ページにあるさんしょうせいくをよ読み、それぞれに合う絵と線でむすびましょう。かていの夕べでかぞくのだれかがすくい計画について話すとき、この絵をつかうとよいでしょう。■



ひのさかえの えいこう



きょうぎ せいやく
教義と聖約 93 : 29

そうせい
創世 1 : 1



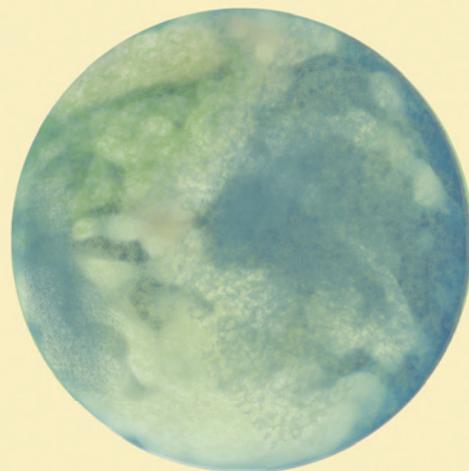
モーセ 5 : 4

3 ニーファイ 17 : 18 - 24

3 ニーファイ 22 : 13

アルマ 11 : 42

きょうぎ せいやく
教義と聖約 76 : 92 - 96



ぜんせでの せいかつ
生活



わたしたちのページ

ある日、教会からの帰り道に、何かかとてもうれしくて、聖霊がぼくと一緒にいてくださっていると感じました。そして、ぼくとぼくの家族の人生を変えた、このすばらしい教えを知らないすべての人に福音を伝えたいと思いました。家に着くと、自分の部屋に行ってモルモン書を読みました。いちばん好きな聖句はモーサヤ書第2章17節です。そこには、ほかの人のために何かするとき、それは天のお父様のためにしているのだと書かれています。

ロベルト・C, 10才 (ボリビア)



エレナ・Z, 9才 (ペラルーシ)

バプテスマをうけたとき、どれほどうれしかったか、ぜったいにわすれることはありません。お父さんがバプテスマをしてくれ、わたしのきょうだいたちがわたしのために歌を歌ってくれました。お母さんはあかしのしたいか、わたしに聞きました。わたしは前にならったしよとうきょうかいの歌を歌って自分の気持ちを伝えたいと答えました。「にじがすきです、雨上がりの新しいせかいを見てよう」「にじが好きです」『子供の歌集』103。歌っているとき、しんぞうがとび出てしまうかと思いました。あの日のかぞくの顔や、あの日にかんじた気持ちはぜったいにわすれません。その日は今まででいちばんとくべつな日でした。

エスター・F, 8才 (コスタリカ)



9才のマルセロ・Bはブラジルにすんでいます。マルセロにはすくいぬしについてのあかしがあります。そしてイエス・キリストが生きておられることと、いましめをまもっていれば天のお父さまのところへ帰れることを知っています。また『リアホナ』のこどものページを読むのが好きです。



ベネズエラのパルクシメトステーク、カブダレワードの初等協会の子供たちから、全世界の初等協会の子供たちに愛を送ります。みんな賛美歌を歌うのが大好きで、初等協会の友達や、預言者であるトーマス・S・モンソン大管長とモンソンしまいのためにおいのりをしています。



ジョシュア・A, 12才 (フィリピン)



ぼくの両親はぼくが生まれる前にバプテスマを受けたので、ぼくは生まれてからずっと教会に行っています。お父さんは、すばらしいことを行なった預言者ジョセフ・スミスやエジプトに売られたヨセフ（英語では「ジョセフ」と言います）から名前を取って、ぼくをジョセフと名付けました。ヨセフはエジプトでたくさんの人をききんから救い、預言者ジョセフ・スミスは地上にまことの教会を回復しました。この二人のすばらしいジョセフのおかげで、福音の中で生活しようという気持ちが強まります。

ぼくは初等協会が好きで、モルモン書のお話も大好きです。いちばん好きなのはアルマ書第8章で、そこではアルマが主に従ってアモナイハにもどり、アミュレクと一緒にアモナイハの人々に福音を教えます。ぼくもアルマのように、がまん強い心を持った宣教師になりたいです。

ジョセフ・O, 11才 (ガーナ)

「わたしたちのページ」に 絵や しゃしん、けいけんだんや あかし、手紙を おくりたい人は、けんめいの ところに「わたしたちの ページ」(Our Page)と書いて、電子メールで おくってください。おくり先は liahona@ldschurch.org です。

応募の際には、必ず子供の氏名、性別、年齢、それに加えて親の名前、ステーク、地方部、ワード、支部名を明記し、子供の写真や提出物の使用に対する許可書（電子メールでも可）を添えてください。紙面の都合上、あるいは明瞭な表現にするために、編集されることがあります。

クモと

しずかな 細かい声

「それは …… まるで ささやきの ような、
まったく やさしい しずかな 声で あり ……」
(ヒラマン 5:30)

ジョシュア・W・ホーキンス

じつわを もとに 書かれました。

「**ジ**ェーク、今日は ほくを さそってくれて
ありがとう。でも、もう お昼だから 帰ら
なくちゃ。」 そう 言いながら、ブリトン
は ジェークの 家を出ました。

さよならと 手を ふって、ジェークの 家から いく
もの どの道を通って 帰りかけたときの ことです。
ふと 目を やると ブリトンが 自分で かってに
「ジャングル」と よんでいる ところが見えました。
そこは ねったいしよくぶつが 生えているわけでも
ありませんし、野生の どうぶつが いるわけでも あり
ません。せの 高い 草と かれた ざっそうに
おおわれている ただの 小道です。でも そこは 家
への いちばんの 近道なのです。

ブリトンは、ちょっと 考えてから、その 土地の
まわりを とりかこんでいる さくの くの 間を、
体を くねらせて すばやく くぐりぬけました。

ブリトンが 小道を のしし 歩いて 行くと、小
えだや 下草が ピシッ! パシッ! と音を立てました。
あつたいように てらされた せなかには あせで
びっしょりです。そのとき かすかな 風が ふいてきま
ました。そこで ブリトンは 家まで 風を 切って ぜん
そくりよくで 走って 行くことに したのです。

小道は せまくなっていて、行く手には 小川が
あるはずですが。そこで ブリトンは 走るスピードを
上げました。まがり道を ぐるっと 回って 小川を





ひょいと とびこえようとした そのときです。とつぜん **止まれ!** という声^{こゑ}が聞こえたのです。

思わず^{おも} プリトンは 立ち止まって^{たど} 耳^{みみ}を すませました。聞こえてくるのは そよ風に そよぐ サワサワという草^{くさ}の 音^{おと}だけです。プリトンは 顔を^{かお}しかめました。その 声^{こゑ}は しずかでは ありましたが、まるで だれかが^{みみ} 耳もとで ささやいているかのように はっきりと 聞こえたのです。でも あたりには だれもいません。

なあんだと ちょっと かたを すぼめて 小川^{おがわ}を とびこえようとしたときです。プリトンは 思わず^{おも} こおりついてしまいました。小川^{おがわ}の そばの 小道^{こみち}を またぐように きよだいな クモの すが あみのように はりめぐらされていて、それが プリトンの 顔^{かお}の まん前^{まへ}で うすきみわるい 光^{ひかり}を はなっていたのです。そして その クモの すの まん

中^{なか}には 大きな クモが えものを まちかまえているではありませんか。

ほんの 少^{すこ}しの 間^{あいだ} プリトンは 大きく 目^めを 見^みひらいて クモを じっと 見^みつめていましたが、元来^{もと}た 道^{みち}を 走^{はし}って ジャングルを ぬけ出^だしました。そして、いつもの 道^{みち}を 通^{かえ}って 帰^{かえ}ることに したのです。

「お母さん! お母さん! ねえ、聞^きいて!」ものすごい いきおいで ドアを あけると、プリトンは お母^{かあ}さんの すがたを さがして 家^{いへ}の中^{なか}に とびこんで 行^いきました。そして、いきを 切^きらせながら、ジャングルで あったこと、耳^{みみ}もとに 聞^きこえてきた 声^{こゑ}、そして 顔^{かお}の まん前^{まへ}で クモに 出^でくわしたことを お母^{かあ}さんに 話^{はな}しました。

「お母さん、クモがね、こんな 近く^{ちか}に いたんだよ!」プリトンは、ゆびをつかって クモが どん^{おし}なに 近く^{ちか}に いたかを お母^{かあ}さんに 教^{おし}えてあげました。

「まあ、それは ぞっとしたでしょうね。ところで その声^{こゑ}は どこから 来^きたと 思^{おも}う?」とお母^{かあ}さんが 聞^ききました。

「分からない、だれも いなかった し。お母^{かあ}さんは ただの 風^{かぜ}の 音^{おと}だと 思^{おも}う?」と プリトンが 聞^ききました。

「かていの夕^{ゆう}べで しずかな 細^{ほそ}い

声^{こゑ}について 学^{まな}んだのを おぼえて いるかしら」と お母^{かあ}さんが たずね ました。

「うん。ときどき 天^{てん}の お父^{とう}さま は そういうふうにして ほくたちに 話^{はな}しかけられるんでしょ。」

お母^{かあ}さんは だいどころの テーブルの とりにある 本^{ほん}だなから せいてんを とり出^だして ヒラマン書^{しよ}を ひらきました。

「ここに しゆの 声^{こゑ}が ニーファイ 人^{じん}に どのように 聞^きこえたかが 書^かかれていますわ。『それは かみなり の ような 声^{こゑ}ではなく、大きな そうぞうしい 音^{おと}でもなく、まるで ささやきの ような、まったく やさしい しずかな 声^{こゑ}で あり』とある でしょ(ヒラマン5:30)」とお母^{かあ}さんが 言^いいました。

「それだよ! だれかが ささやいて いるみたいだった。ほくも その しずかな 細^{ほそ}い 声^{こゑ}を 聞^きいたよ。」

「そうよ。そして、あなたは その 声^{こゑ}に ちゃんと したがつたのよ。えらかったわね」と、お母^{かあ}さんが ほほえみながら 言^いいました。

プリトンは、お母^{かあ}さんに ほめられて うれしさの あまり お母^{かあ}さんに だきつきました。でも もっと うれ しかったのは、自分^{じぶん}が たしかに しずかな 細^{ほそ}い 声^{こゑ}を 聞^きけた こと でした。■



わ たしたちが いの れば、天^{てん}の おん父^{ちち}は そばに いく ださ、せいれいも その ささやく 声^{こゑ}が わ たしたちに とどきよりに いてくださいます。」

中央若い女性会会長第一顧問 イレイン・エス・ダルトン
「いつでも、どのようなことについても、
どのような所^{ところ}にいても」
『リアホナ』2008年5月号, 118

ぼくも せんきょうしに なれる

エスターリン・キンドレッド・リー

じつわを もとに 書かれました。

「あなたがたは
かみに つかえたいと のぞむならば、
その わざに めざれている。」
(教義と聖約 4:3)

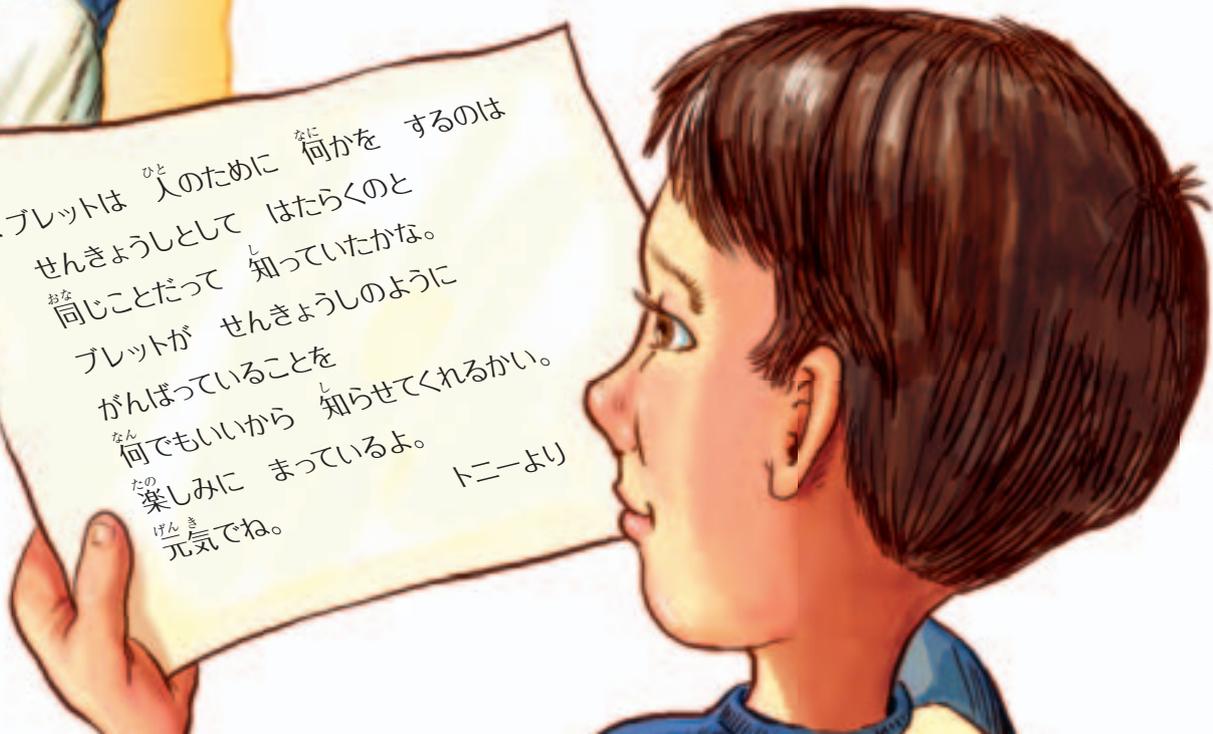
1. Brettは うきうきしていました。
せんきょうしをしている おにいさん
の トニーから 手紙が とど
いたのです。Brettは おにいさん
が でんどうに 出る前に 自分
も でんどうを
がんばると やくそく
していました。



3. お母さん、ぼくも ほかの
人の ために 何かをし
て おにいちゃんみたいに
でんどうしたいな。でも
何が できるかな。



2. Brettは 人のために 何かをするのは
せんきょうしとして はたらくのと
おなじことだって 知っていたかな。
Brettが せんきょうしのように
がんばっていることを
なんでもいから 知らせてくれるかい。
たの 楽しみに まっているよ。
げんき 元気だね。 トニーより



4.

ハンプトンさんが 土曜日におちば
そうじをするので お手つだいを
してくれる人が いると たすかるみ
たいよ。でんどうする よい きかい
じゃないかしら。

そうだね。そしたら
手紙で そのことを
おにいちゃんに つた
えられるね。



5. つぎの土曜日、ブレットは つくえに むかって
おにいさんに 手紙を 書きました。

おにいちゃんへ、おにいちゃんも ぼくと 同じように
楽しく でんどうしていると いいな と思います。
ぼくたちは 今日 ハンプトンさんの にわの そうじを
手つだいました。おれいに クッキーを
もらいました。お父さんが いっしょに
教会に 行きませんかと さそったら、
こんど いっしょに 行くことになりました。
だいすきだよ、 ブレットより

6. ブレットは その手紙と
ハンプトンさんの にわで
ひろった 1まいの 木の
はを いっしょに ふうと
うに 入れました。



親の皆さんへ

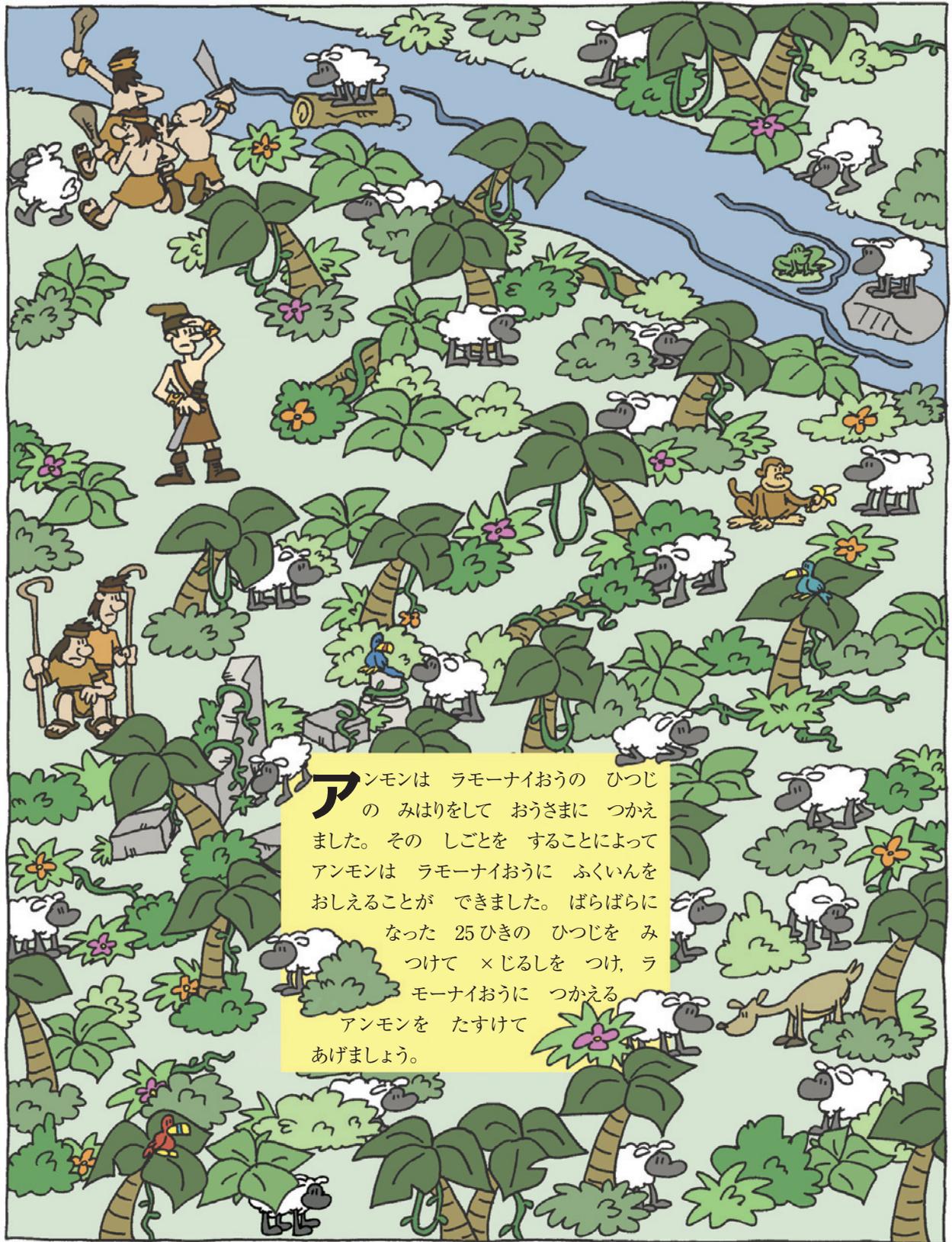
- ・ ラモーナイ王の羊を守るアンモンの絵を子供に見せ、その話をしてください(アルマ 17-18 章参照)。ブレットが奉仕したことで福音を分かち合うきっかけが作れたように、アンモンも王に仕えることによって証を分かち合う糸口を作ることができたと説明してください。72 ページにある「ラモーナイ王の ひつじを さがそう」という活動をしてみましょう。
- ・ 宣教師としてできることを、子供と一緒に考えてリストを作ってください。そのうちの幾つかを子供が達成できるよう目標を立てる際に助けましょう。

7. ぼくも せんきょうしに
なれるね!



ラモーナイおうの ひつじを さがそう

アリー・バン・デ・グラーフ



アンモンは ラモーナイおうの ひつじのみはりをして おうさまにつかえました。その しごとを することによって アンモンは ラモーナイおうに ふくいんをおしえることが できました。ばらばらになった 25ひきの ひつじを みつけて ×じるしを つけ、ラモーナイおうにつかえる アンモンを たすけてあげましょう。



イエス・キリストは わたしのために
ちきゅうを そうぞうされました

「みよ、ひとの ふしふめつと えいえんの いのちを もたらすこと、
これが わたしの わざであり、わたしの えいこうである。」

(モーセ 1: 39)

教会のニュース

訓練において 評議会の重要性が強調される

教会機関誌

アダム・C・オルソン

2010年11月の世界指導者訓練集会で、教会の新しい手引きが紹介され、教会の指導者は過度の責務を担っているビショップを支え、救いの業を進めるために効果的なワード¹評議会の重要性を強調した。

「『手引き』第2部』ではワード評議会とその会員の役割を広げてビショップの仕事の軽減することを目指しています」と十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老は語る。その役割には「ワード全体にとって重要な事柄について」ビショップを支援したり、「活発化や定着を助けることによって、救助の役割において」支援することが含まれる。

評議会の重要性

11月の訓練で、十二使徒定員会のクエンティン・L・クック長老は「教会は中央、地域、ステーク、ワードの各レベルにおける評議会によって管理されてい[る]」ことと「新しい手引きでは教会において評議会の果たす役割を飛躍的に高めてい[る]」ことを説明した。

クック長老は、ビショップが教会の諸事を行ううえで重要となるワードレベルにおける3つの基本的な評議会と、新しい手引きが用いられることでこれらの評議会がどのような影響を受けるかを語った。これらの評議会にはビショップリック、神権指導者会、ワード評議会が含まれる。

ビショップリックの働きは従来とほとんど変わらない。神権役員会は定期的な会合を継続し、これまでワード福祉委員会によって扱われていた項目のうちの幾つかを扱うことになる一方で、ワード評議会の開催頻度が増すため、神権役員会の集

会時間は恐らく短縮されるだろうとクック長老は語った。

新しい手引きによって「鍵を持つ^{かぎ}ビショップの下でワードを管理運営するワード評議会の役割が引き上げられ[る]」とクック長老は語る。

ワード評議会を向上させる

手引きでは、ビショップが委任できる事柄を提示し、彼を支える評議会の構成員の役割を拡大することでワード評議会を向上させている。

「ワード評議会のおもな働きはワードにおける救いの業にあります」とクック長老は語る。「現在、多くの問題が直接ビショップに持ち込まれています。ビショップは福祉、定着、再活発化などについてその多くをワード評議会の構成員や個人に委任することによって、この状況を変えることが望まれています。」

クック長老は、ビショップがこれまでどおり「イスラエルの判士を必要とする問題」を扱う一方で、悔い改めようとしている会員の同意を得て、依存症から立ち直らせるための支援や、また経済的問題、家族の問題、そのほかの問題を抱えて助けを必要としている人を支援するために「長期のカウンセリング」をほかの人に委任することができると語っている。

「ワード評議会の構成員はその働きのほとんどをワード評議会集会以外の場所で行うこととなります」とクック長老は語る。「彼らはそれぞれの顧問、ホームティーチャー、訪問教師、そのほかの人々と協力して、助けを必要としている人々に手を差し伸べ、彼らを教え導きます。」

クック長老はビショップやワード評議会にかかる重荷を軽減するために、定員会や組織内で適切に扱われるべき問題を神権指導者と補助組織指導者が認識し解決に努めるよう促した。

すべての評議会構成員がかかわっている

放送では、十二使徒定員会のM・ラッセル・バ

「ワード評議会の

おもな働きは
ワードにおける
救いの業にあります。」

十二使徒定員会
クエンティン・L・クック長老

ラード長老, ジェフリー・R・ホランド長老, デビッド・A・ベドナー長老, 七十人会長会のウォルター・F・ゴンサレス長老, 中央扶助協会会長のジュリー・B・ベック姉妹によるパネルディスカッションで, 評議会にはすべての構成員が貢献することが重要であると強調された。

「ワードに与えられる啓示はすべてビショップを通じて来るといった間違った考えが皆にはあると思うのです」とベドナー長老は語る。「ビショップは自分が鍵を持っていることを認めて, それを断言しなければなりません, だからといって, 啓示を受けるのはビショップだけとは限りません。」

ベドナー長老は, 聖霊の導きによって評議会が機能するように, 管理役員が決定を下したならば, 一致することが重要であると強調した。

ホランド長老は, 評議会において女性の価値が文化的に軽視されることがないように注意を促した。「評議会であたしたちは時々, 出席している女性に発言の機会を与えていないことがあります」

次の世界指導者訓練集会は2011年2月12日に開催される。そこではステーキ会長とビショップの責任, 定員会と補助組織の仕事, 十分な会員と指導者がいないために, 教会のすべてのプログラムを実践することができないユニットの特別なチャレンジに焦点を当てる。

と彼は語る。「わたしたちは絶対に女性の助けが必要です。」

賢い指導者は耳を傾けて聴くということがパネルディスカッションでは強調された。

「識別の賜物^{たまもの}は話しているときより聞いているときにもっと効果的に働きます」とベドナー長老は語る。

さらにバラード長老は, 聴くという原則は評議会に参加するすべての会員に当てはまること, いかなる参加者も会話を独り占めするべきではないことを付け加えた。

「教会の評議システムに〔御霊^{みたま}〕があれば, 御業^{わざ}は前進し, さらに多くの御父の子供たちを助けることができます」とバラード長老は語る。「これは……わたしたちが努力を傾けている一つの偉大な業なのです。」■

注

1. ワード, ビショップ, ビショップリックは支部, 支部会長, 支部会長会にも当てはまる。ステーキ, ステーキ会長, ステーキ会長会は地方部, 地方部会長, 地方部会長会にも当てはまる。

効果的なワード評議会

次に挙げるのは2010年11月の世界指導者訓練集会で教えられた, 効果的な評議会の運営に関する特別な勧告です。

- 個人, 家族, 組織の必要にこたえるために組織が一致協力する。
- 定期的な(これまで使用していた手引きに書かれているよりも頻繁に)会合を持つが, 通常は1時間から1時間半以内で終える。
- 内密事項を守る。

効果的な評議会とは――

- 集会の中で, 日程の調整や活動の計画, そのほかの管理業務に費やす時間は最小限に抑える。
- 個人や家族を強めることを中心とする。
- 評議会の構成員全員に意見を出すように招き, その後, ビショップの決定事項を一致して支持する。



新しい LDS.org が利用可能になる

教会機関誌

ブレンナ・オラブソン

現在の LDS.org が開設されてからおよそ 5 年が経過し、データベース化された資料はすべて末日聖徒イエス・キリスト教会の会員に直接提供できるようになった。しかしそれ以降インターネットの環境は著しく変化しており、技術能力が向上するにつれて、LDS.org の可能性も向上している。

新しい LDS.org は、LDS.org 3.0 と称され、インターネットの強みを取り入れた設計となっており、見た目も魅力的で、会員にとっての利便性も向上し、分かりやすくなっている。

そのサイトにはまだ開発中の部分もあるが、新しいサイトの立ち上げによって教会指導者はサイトの運営方法について重点的に取り扱うこととなった。

「長年 LDS.org を運営してきましたが、その内容は利用者の必要よりも、情報の発信者である教会の各部門の必要によって決められてきました」と七十人のクレグ・C・クリステンセン長老は語る。「このサイトを設計するときに、『教会員は何を必要としているのか、そして教会はどのように会員を助けることができるのか』と、わたしたちは問いかけました。」

LDS.org 3.0 は生ける預言者の教えを強調すること、容易にオンラインで福音の学習ができるようにすること、福音を分かち合う方法を提供すること、資料を見つけやすくすること、数か国の言語で内容を提供できるようにすることに焦点を当てている。

生ける預言者の教え

インターネット上ではあまりにも多くの声の人々の注意を引こうと競合し合っているが、新しい LDS.org は預言者の声を前面に出すことに焦点を当てた。

LDS.org のディレクター、リー・ギボンズは現代の預言者と使徒の働きおよび彼らが今日教えて



新しい LDS.org は現代の預言者の教えに焦点を当て、オンライン学習に必要な偉大なツールを提供し、高度の検索機能も兼ね備えている。

いる事柄の絞った「入り口」を創設することで、彼らの教えを際立たせることがねらいであると述べている。

サイトにある「預言者と使徒は今日語る」のコーナーでは最近語られたメッセージを掲載するとともに、大管長会や十二使徒定員会の会員たちの生活や働きから得られた個人的な洞察も提供している。

オンラインによる福音学習のツール

LDS.org の前のバージョンでは聖典と教会のほかの資料へアクセスすることができたが、新しいサイトではオンラインによる学習ツールを提供している。

そのサイトに登録すると、利用者は聖句を強調表示したり、下線を引いたり、メモを取ったり、学習記録をつけたり、後で使用するためにファイルの中に資料を整理して保存することが可能になる。このような機能はサイトの学習分野のすべてのコーナーで利用可能となっており、それには聖典、

総大会、レッスンの手引き、教会機関誌やさらに多くの分野が含まれている。

福音を分かち合う

新しいサイトは、映像、音声、写真、福音の美術作品、福音のメッセージを伝える画像など、様々なメディアを使用している。しかしその内容は教会員だけが恩恵を受けるものではない。それは福音のように分かち合うべきものである。サイトの内容の大部分は人気のソーシャルネットワークのサイトや電子メールとつながっており、利用者は容易に内容を分かち合ったり、福音についてもっと学べるように友人を招くことが可能になっている。

「単に機会があるというだけでなく、会員がもっと分かち合うよう行動に移しなさいという呼びかけなのかもしれません」とギボンズ兄弟は語る。「わたしたちはそれを可能にしようとしています。」

新たな検索能力

改善されたもう一つの重要な機能はサイトの検索能力である。サイトのほぼすべてのページの上にある検索欄は、推奨される結果を短いリストにして提供し、頻繁に検索される多くの項目から特に選ばれた項目をすぐに表示できるように表示している。また、検索用語に合致したすべての資料が一覧表となって表示される。

検索結果のページにはよりの確な検索結果を得られるように同意語も提示し、さらに絞り込み検索もできる。

言語

新しいLDS.orgは世界中に広がる教会のウェブサイトであり、翻訳が完了し承認されれば11の言語で順次公開されることになる。教会員のおよそ90パーセントがこの11の言語のうちのいずれかを話している。その11の言語は広東語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、日本語、韓国語、標準中国語、ポルトガル語、ロシア語、スペイン語である。■

新神殿会長が着任

2010年11月1日から、53人の新たな神殿会長とその夫人が世界中の神殿で奉仕している。現在134の神殿が世界で儀式を行っており、さらに23の神殿が建設の発表がなされるか建築中である。

アイダホ州ツインフォールズ神殿

カール・E・ネルソン、ベバリー・C・ネルソン

アイダホ州レックスバーク神殿

クラー・O・スーソン、アン・スーソン

アラスカ州アンカレジ神殿

メルビン・R・パーキンス、シャロン・V・パーキンス

アラバマ州バーミングハム神殿

ケント・R・バン・カンペン、ジェニエル・R・バン・カンペン

アルバータ州エドモントン神殿

ブライス・D・カード、キャスリーン・カード

イリノイ州シカゴ神殿

ポール・W・キャスルトン、アン・P・キャスルトン

イリノイ州ノーブー神殿

スベンサー・J・コンディー、ドロシア・S・コンディー

イングランド・ロンドン神殿

C・レイモンド・ロウリー、アイリーン・M・ロウリー

ウクライナ・キエフ神殿

B・ジョン・ガルブレイス、キャロル・ガルブレイス

オーストラリア・パース神殿

ジェフェリー・J・リディコート、レスリー・M・リディコート

オーストラリア・メルボルン神殿

マルコルム・R・マリス、ルスジェ・M・マリス

オハイオ州コロバス神殿

エドワード・J・ブランツ、キャロル・B・ブランツ

オレゴン州ポートランド神殿

マイロン・G・チャイルド、ジェラルディン・T・チャイルド

オレゴン州メドフォード神殿

デビッド・J・テイビス、ポーリーン・テイビス

カリフォルニア州フレズノ神殿

ポール・B・ハンセン、ジュディス・H・ハンセン

韓国ソウル神殿

ソン・ビュンジョン、ヤン・ギーヤン

中国香港^{ホンコン}神殿

ジョン・M・アキ、リディア・C・アキ

チリ・サンティアゴ神殿

フリオ・E・オテイ、エレナ・オテイ

テキサス州ダラス神殿

ロバート・C・パッカード、タルメージ・M・パッカード

テネシー州ナッシュビル神殿

R・ロイド・スミス、ジュディー・R・スミス

テネシー州メンフィス神殿

T・エバン・ネベカー、ロウ・アン・W・ネベカー

デンマーク・コペンハーゲン神殿

H・ヒョルト・ニールセン、ハイブロック、エレン・ハイブロック

ドミニカ共和国・サントミンゴ神殿

ラリー・K・ベイアー、ジョアン・W・ベイアー

トンガ・ヌクアロファ神殿

ピタ・F・ホボアテ、ラニ・A・ホボアテ

ナイジェリア・アバ神殿

アレクサンダー・A・オデュム、セサ・A・オデュム*

ニュージーランド・ハミルトン神殿

ジェームズ・ダンロップ、フランシス・M・ダンロップ

ニューヨーク州マンハッタン神殿

W・ブレアー・ガルフ、スザンヌ・J・ガルフ

ネバダ州リノ神殿

フランクリン・B・ワズワース、ジョイス・C・ワズワース

ネブラスカ州ウィンタークォーターズ神殿

マウリー・W・スクーフ、ジョアン・スクーフ

ノースカロライナ州ローリー神殿

J・ミッチェル・スコット、Z・スー・スコット

バハマ州ハリファクス神殿

ダグラス・M・ロビンソン、キャロル・アン・ロビンソン

パナマ・パナマシティ神殿

D・チャド・リチャードソン、エリザベス・B・リチャードソン

ブラジル・カンピーナス神殿

ジョージ・A・オークス、ジャネット・N・オークス

ブラジル・クリチバ神殿

ホセ・M・アリアス、アイダ・C・アリアス

フロリダ州オーランド神殿

デビッド・T・ハルバーセン、ラナ・W・ハルバーセン

ベネズエラ・カラカス神殿

ルイス・M・ベティット、ジュアナ・P・ベティット



ペルー・リマ神殿

ロバート・W・リース、ケイ・リース

ポリビア・コチャバンバ神殿

リー・W・クレイク、コニー・C・クレイク

ミシガン州デトロイト神殿

フリップ・G・バルシファー、マーガレット・K・バルシファー

南アフリカ・ヨハネスバーグ神殿

ケネス・S・アームストロング、ムリエル・D・アームストロング

ミネソタ州セントポール神殿

C・ケント・ヒュー、カレン・J・ヒュー

メキシコ・グアタハラ神殿

ハイメ・F・ヘレラ、M・テレサ・ヘレラ

メキシコ・シウダーファレス神殿

マニュエル・アライス、エルサ・M・アライス

メキシコ・タンピコ神殿

バリー・R・ウダル、リサ・L・ウダル

メキシコ・トゥストラグティエレス神殿

ホルヘ・D・アレビラガ、イルマ・テル・トロ・アレビラガ

メキシコ・メリダ神殿

ゼニフ・メヒア、エリザベス・メヒア

メキシコ・モンテレー神殿

C・ファン・アントニオ・マチュカ、イサベル・S・マチュカ

ユタ州セントジョージ神殿

ブルース・C・ヘーフェン、マリー・K・ヘーフェン

ユタ州ドレーパー神殿

ラッセル・E・トューラー、クリスティン・C・トューラー

ユタ州プロボ神殿

ロバート・H・デインズ、ジャネット・L・デインズ

ワシントン州コロンビアリバー神殿

T・デインズ・ムーディー、パトリス・A・ムーディー

ワシントン州シアトル神殿

ドナルド・E・ピュー、ジェイン・H・ピュー

ワシントン州スポケーン神殿

チャールズ・H・レヒト、エリザベス・M・レヒト

アイダホ州

ツインフォールズ神殿は

2010年11月1日に

新たな神殿会長を

迎えた53の

神殿のうちの一つである。

**今年の初めに
着任した神殿会長夫妻。*

ニュースより

**オンラインストアにより
資料の入手が
さらに容易になる**

1400万人の教会員の多くにとって、教会の教材を入手するために、130ある小売店のどれか一つに足を運ぶのは容易なことではない。それゆえ教会の配送サービスは店に来てもらうのではなく届けることにした。現在、新たなオンラインストアが会員に教材を届けている。

Store.lds.orgによって福音の学習教材、音楽、視聴覚教材、芸術作品、ガーメント、神殿着、家庭と家族の資料、ほかの教材が簡単に注文できるようになった。速達の場合は少々費用がかかるが、教材は世界中無料で送付される。

このサイトを訪問した人は自分の国を入力する。それぞれの国に特化したオンラインストアが開設されると、購入可能な商品はその国の第一言語で示されるとともに、すべての値段が地元の通貨単位で示されるようになる。サイトから直接ダウンロードできる無料教材もある。

新しいサイトはldscatalog.comに取って代わり、はじめに英語、スペイン語、ロシア語で立ち上げられた。数か月後には、ほかの言語でも利用できるようになる。その言語を順に示すとポルトガル語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、日本語、韓国語、中国語となる。■

読者からの便り

模範になろうと努める

『リアホナ』を読むことが大好きです。そこには預言者の言葉があります。モルモン書が真実であることや祈りについて証^{あかし}があります。自分の生活に福音があることを感謝しています。そしてまだ主の言葉を知らない若い人たちへの模範になろうと努力しています。

タチアナ・G、15歳（ウルグアイ）

平安がわたしの魂を貫く

わたしはまだあなたがたの教会の会員ではありませんが、ついに真理を見いだすことができ、喜び、愛、平安で満たされています。友人が『リアホナ』とモルモン書をくれました。そこに書かれてあることが真実だと分かって、この教会は良い教会ではないとわたしに言ってくる人たちがいるので、読むことをためらっていました。

しかしキリストの真実性を感じてから、再び読み始めました。現在とても平安な思いがわたしの魂を貫いていきます。その教えは明確で、心を高めてくれます。またその御業に御霊の存在があります。わたしが住んでいる所には教会はありませんが、回復された福音がわたしの町にやって来て、バプテスマを受けられるよう主が門戸を開いてくださるように祈っています。

コナン・アルフリード（コートジボワール）

ご意見、ご感想を liahona@ldschurch.org にお送りください。掲載されるお手紙は、紙面の都合上、あるいは明瞭な表現にするために編集されることがあります。■

世界の出来事

日本語の合本がオンラインに

日本語の3大聖典（モルモン書、教義と聖約、高価な真珠）が1冊に収められた合本がオンライン scriptures.lds.org/jpn で利用できる。同サイトで音声再生も可能になっており、まもなくCDも利用可能になる。聖典のサイトには脚注、地図、写真が掲載されていて、読者が聖文に印を付いたり、キーワードを検索したりすることもできる。聖典サイトは現在19の言語で利用できる。

青少年用のリソースガイドが教師に役立っている

2011年にアロン神権と若い女性のレッスンで使用するテキスト『アロン神権3』と『若い女性3』を補足する新しいリソースガイドが用意されている。ガイドでは教師に最近の総大会の引用、話し合いのための質問、補足としての参照聖句、活動のアイデアを提供している。これらはテキストのレッスンに関連したもので、レッスンを活気づけ、若人が今日直面している問題に、より関連付けて提供している。手引きは教会配送センターかオンライン resourceguides.lds.org で27の言語で入手できる。

教会は現在新約聖書プロジェクトの配役を行っている

LDS モーション・ピクチャー・スタジオの新約聖書映画制作

に当たり、世界中から参加者を募るため、教会はウェブサイト casting.lds.org を立ち上げた。このサイトを通じて、関心のある教会員は新約聖書プロジェクトを含むすべての教会映画やビデオ作品に俳優またはエキストラとして参加申し込みができる。撮影はアメリカ合衆国ユタ州ソルトレーク・シティで2011年の春から夏まで続く。

教義と聖約の新しい学習 DVD が利用可能

新しい4枚組DVDが教義と聖約および教会歴史の学習を支援する。その4枚組DVDにはチャートメニュー、末日の預言者や使徒の説教、絵画、学習活動などが収められている。また、2005年12月からジョセフ・スミス記念館で上映してきた『レガシー』、『主の山』、『ジョセフ・スミス——回復の預言者』などが収録されている。『教義と聖約および教会歴史視覚資料DVD』は英語版、ポルトガル語版、スペイン語版が利用可能となっている。オンライン store.lds.org か電話1-800-537-5971から注文可能。地元の配送センターへ問い合わせることも可能。■

家庭の夕べのためのアイデア

今月号には、家庭の夕べで活用できる記事や活動が載っています。以下に幾つか例を挙げます。

「御霊の声を聞き分け、理解することを学ぶ」24ページ および「クモと しずかな 細い声」68ページ——これらの記事は御霊の促しに従うことの大切さを教えてくれます。これらの記事を読み聞かせる前に、この記事の中に、御霊の導きに気づくどのような方法が語られているかを見つけるよう勧めてください。その記事を読んだ後、あなたが御霊を感じたときのことについて話してもよいでしょうし、家族に話させてもよいでしょう。



「なくした物を見つけるたとえ」32ページ——霊的に迷い出た人を捜し出すことの重要性を家族に教えるために、かくれんぼをしてもよいでしょう。かくれんぼの後、この記事の中から一つか二つの話を読み、いなくなった人を捜し出すことについて、あなたが学んだことを分かち合ってください。フェローシップできる隣人や友人を挙げるとよいでしょう。その後、教会に戻るよう彼らに勧める方法について話し合ってください。

「福音はすべての人のためのもの」54ページ——この記事は「教会員になりそうな理想的プロフィールを持っている人などいない」ことを教えてくれます。この概念を教えるために、缶詰のラベルを取り替えるか塩を入れるビンに砂糖を入れるとよいでしょう。家族に缶詰を食べるか塩をなめるか選ばせてください。そのあと、ゴドイ長老の記事を読んでください。家族で、たとえ未来の教会員の「理想的プロフィール」に合致していなくても、福音を分かち合うことができる人を思い浮かべてください。

「あなたをかかえて行くわ!」62ページ——家族でこの記事を読み、どのようなときに家族がほかの人を助けてきたのか、どのようなときに奉仕を受けてきたのか話し合うことができます。その後どのように奉仕したらよいのか考えてください。今後行う家庭の夕べの活動として計画を実践することができます。■

花婿の婚宴の席

教会機関誌

メリッサ・メルル

結 婚披露宴に一人で行くのは気の進むことではありません。しかしあるとき旧友の招待を受けたわたしは、彼とその新妻を祝う絶好の機会を逸してはならないと思いました。

結婚式当日、披露宴が始まる直前に会場に到着したわたしは、空席を見つけたので、すでに着席していた女性の一人に、そこがまだ空いているか尋ねました。

「ご招待されていらっしゃるのかしら？」彼女はげんそうな目をしながらそう尋ねました。

彼女がなぜそのような態度でそう尋ねたのか、わたしには、まったく見当が付きませんでした。招待客のリストをチェックする人もいませんでしたし、座席が指定されているわけでもありません。まして時間に遅れたわけでもなく、相応の身なりをして行ったつもりです。何がおかしいのでしょうか。

きこちなくほほえみながら、「花婿の友人でして」と言って、彼女に納得してもらいました。彼女はうなずき、わたしは席に着きました。そして、6組のカップルと和やかに会話をしようと努めたのです。ただでさえ気後れする状況で出席したわたしは、その女性の一言でますます居心地が悪くなりました。だれか知っている人はいないかと必死で会場の中を目で追ってみました。花婿以外に知っている顔は見当たりませんでした。

ところが、ある出来事が起こりました。招待客でいっぱいになった会場の前列で、花嫁の隣に座っていた花婿が、すっと立ち上がるや、後方にいたわたしを見て、一呼吸してから、にっこりとほほえみ、おもむろに胸に手を当てたのです。それはあ



その途端、ほっとして幸せな気持ちでいっぱいになりました。ほかの人がどう思おうと、わたしは花婿に招かれたれっきとした招待客の一人なのです。

たかも、「来てくれてありがとう。いろいろやり繰りして来てくれたんだろうね。あなたがこの場に参列してくれてほんとうにうれしいよ」と言っているようでした。

その途端、ほっとして幸せな気持ちでいっぱいになりました。ほかの人がどう思おうと、わたしは花婿に招かれたれっきとした招待客の一人なのです。わたしはほほえんで、同じように胸に手を当てて返礼しました。わたしがどれほど二人の結婚を祝い、その喜びを分かち合いたいと思っているかが、友人に伝わればと願いました。それまで感じていた居心地の悪さは、わずか10秒足らずの無言のあいさつで吹き飛んでしまいました。そして残りの時間をくつろいだ気分で楽しむことができたのです。

後日、扶助協会のレッスンの準備をしていたとき、マタイによる福音書第22章を開いて、一人の王がその息子、すなわち救い主のために婚宴の準備をされる部分を読んでいました。この部分について預言者ジョセフ・スミスは次のように教えています。「主の戒めを守り、最後まで主の掟のうちに歩む人々が、この栄えある婚宴で席に着くのを許される唯一の人々です。……信仰を守り通した人は義の冠を受

け、白い衣を身にまとい、婚宴の席に着くのを認められ、あらゆる苦難から解放され、キリストとともに地上において治めるでしょう。」¹ この約束は、いかなる時にも力を与えてくれますが、その週の前半にあの出来事を経験したわたしにとってはとりわけ意義深いものでした。

そのレッスンをしている最中にわたしは、イエス・キリストの招きを受けて主と喜びを共にし、主の婚宴の席に着くための唯一の必要条件は、従順であるということに気づきました。その婚宴の招待客は、自分が確かにその場に招かれているという確信があるので、決して不安を覚えることはありません。わたし自身完璧に従順かと言えば今はまだほど遠い状態にありますが、いつの日か、花婿にお目にかかる者としてふさわしく成長し、(主の御心に完璧に従順な心を持った)胸に手を当てて、「この場にすることができてほんとうに幸せです」と言えるようになりたいと思います。■

注

1.『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』165, 166



キリストの言葉

「木製の塀のそばで遊ぶ子供たち」
アン・マリー・オボーン画

「また、なぜ、着物のことで思いわずらうのか。野の花が
どうして育っているか、考えて見るがよい。働きもせず、紡ぎ
もしない。

しかし、あなたがたに言うが、栄華をきわめた時のソロモン

でさえ、この花の一つほどにも着飾ってはいなかった。

きょうは生えていて、あすは畑に投げ入れられる野の草でさ
え、神はどのように装って下さるのなら、あなたがたに、それ以
上よくして下さらないはずがあるうか。」(マタイ6:28-30)



ルカ書第15章のたとえで、羊はいなくなり、銀貨はなくなり、放蕩^{ほうとう}息子は財産を使い果たします。しかし、羊飼いは荒れ野を捜し、女は家中を掃き、父親は息子を赦しその帰りを待ちます。わたしたちも同じように、トーマス・S・モンソン大管長の「道を迷い出た人々に手を差し伸べ、大切な彼らを救い出すことができ、一人も失われることが〔ないように〕」という呼びかけを心に留めましょう。「なくしたものを見つけるたとえ」(32ページ)から救助に関する4つの経験を読んでください。

